

第5章 要介護認定者調査結果

1 概況等

(1) 調査対象者の属性

○ 要支援・要介護認定者（以下、「認定者」と言う。）の年齢構成は、前回調査（平成28年度）に比べて高年齢化傾向がみられます。（75歳以上の後期高齢者割合：86.1%、前回：76.8%）また介護度も前回調査に比べ、要介護3～5の中・重度者の割合が増加し30.1%（前回21.2%）となっています。（問3、5）

表 前回(平成28年度)と今回の比較表(性別・年齢構成・要介護度・住まい・家族構成(4区分))

(%)				
性別	(n)	男性	女性	無回答
今回調査	954	37.8	60.8	1.4
平成28年度調査	990	33.4	62.8	3.7

(%)									
年齢構成	(n)	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	
今回調査	954	4.2	8.7	15.5	23.9	25.6	21.1	1.0	
		前期高齢者			後期高齢者				
		12.9			86.1				
平成28年度調査	990	7.5	12.7	18.5	23.0	19.3	16.0	3.0	
		前期高齢者			後期高齢者				
		20.2			76.8				

(%)									
要介護度	(n)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
今回調査	954	10.7	9.9	24.3	21.1	14.9	8.6	6.6	4.0
平成28年度調査	990	21.0	16.1	18.6	19.8	9.1	7.4	4.7	3.3

(%)						
住まい	(n)	一戸建て・持ち家	一戸建て・賃貸住宅 その他	共同住宅・持ち家	共同住宅・賃貸住宅 その他	無回答
今回調査	954	73.5	2.2	7.4	5.8	11.1
平成28年度調査	990	66.2	4.6	7.6	5.7	15.9

(%)						
家族構成(4区分)	(n)	一人暮らし	夫婦二人暮らし	その他の同居世帯	その他(施設入居など)	無回答
今回調査	954	15.0	20.9	56.3	6.8	1.0
平成28年度調査	990	18.2	25.4	49.6	3.7	3.1

(2) 介護、生活支援について

- 上記傾向に伴い、介護サービスについても利用状況・利用意向の変化がみられ、短期入所サービス（30.6%：前回 26.3%）、施設サービス（22.1%：前回 18.2%）へのニーズが高まってきています。（問 10）
- さらに、介護保険サービス以外の生活支援ニーズも増加傾向がみられ、中・重度者の現状を反映して「病院への送迎」、「病院への付き添いや薬の受け取り」、「買い物」など、外出に伴う支援希望割合が増えつつあります。今後介護給付とともに、認定者の在宅生活を続けるため外出支援を中心に日常生活支援体制を構築していく必要があります。（問 11）
- 認定者の世帯構成は、「単身（一人暮らし）」、「夫婦のみ」の世帯を合わせて 35.9%となっており、認定者の半数（50.0%）は今後も在宅で介護を受けることを希望しています。
一方、中心介護者に「介護に負担や悩みはあるか」を聞いたところ、56.9%が「負担や悩みを感じる」となっており、認定者自身の生活とともに、介護家族への支援を充実していくことが重要となっています。（問 4、問 4-1、問 17、問 29）

(3) 医療について

- 長期治療・療養が必要になった場合の在宅医療の希望は、前回と同様半数を超えている一方、在宅医療を利用した在宅生活が継続可能かについては、介護度に関わらず「（生活継続が）できないと思う」が「できると思う」を上回っています。また、家族への肉体的、精神的負担、緊急時や救急時の対応が難しいなどの意見が多くあげられており、「介護、生活支援について」同様、介護家族への支援を充実していくことが重要となっています。（問 13、問 14、問 14-1）
- 「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」と回答した人は、「訪問看護（看護師の訪問）」、「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が他のサービス等に比べて高く、市が重点的に取り組むべきことでは、「在宅医療の充実」を望む率が高く、在宅生活を継続するうえで、訪問診療や訪問看護等の医療的ケアの充実を検討する必要があります。（問 15、問 24）

(4) 在宅生活と施設について

- 認定者の居住環境をみると、手すりや段差解消などのバリアフリー化は約7割となっており、介護度が低いうちから重度化に備えた取組が進んでいることがわかります。（問 19）
- 今後介護を受けたい場所としては、介護度別では、入所基準となっている「要介護3」で「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」の割合が高く、中心介護者が充実を望むことも「要介護3」で「特別養護老人ホームなどの施設整備」が高くなっていることから、施設整備の充実が重要となります。（問 17、問 31）

(5) 介護保険料と利用者負担について

- 介護保険料の負担感については、66.4%が「負担であるが、支払うことは可能」とし、今後の充実を望むサービスとして、「施設サービス（特別養護老人ホーム）」が30.9%、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師など）」「通所サービス」が2割台（25.6%、23.0%）で続いており、効果的な組み合わせによるサービス提供のしくみづくりが必要と思われます。（問22、問23）
- 保険料段階別では、「第六段階（年額75,989円）」と「第七段階（年額82,322円）」で「負担であり、支払うことが困難」が1割台であり、保険料段階を検討するうえで、これらの意見を踏まえる必要があります。（問22）

(6) 今後の高齢者施策等について

- 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市として重点的に取り組むべきことでは、一般高齢者調査結果と同様、「家族介護者への支援」が半数を超え、「在宅医療の充実」「特別養護老人ホームなど介護保険施設整備」が約半数で続いていることから、本人及び介護家族からの要望として重視していくことが求められます。（問24）
- 認知症についての支援要望では、「認知症の進行具合に合わせた医療機関や相談先が掲載されているガイドブック」（40.1%）、「認知症専門の通いサービス」（39.6%）が約4割で、総合的な情報提供や認知症高齢者の通所サービスニーズが表れているといえます。（問25）
- 年齢では、要介護3～5の認定者数、「訪問介護、通所介護、短期入所等の居宅サービスを利用している」、市が重点的に取り組むべきと考えるもののうち「身体介護や生活援助などの介護サービスの充実」で、「70歳～74歳」がその他の年齢より割合が高くなっており、その年齢になるまでの介護予防が重要といえます。（問5、問7、問24）

(7) 中心介護者について

- 中心となっている介護者からの相談・協力ニーズは、前回に比べ「ケアマネジャー」をあげる割合が半数を超えるとともに（52.8%：前回39.2%）、「医師、医療機関」も30.8%（前回11.2%）と約3割となっていることをふまえ、医療と介護の連携がますます重要となりつつあるといえます。（問30）

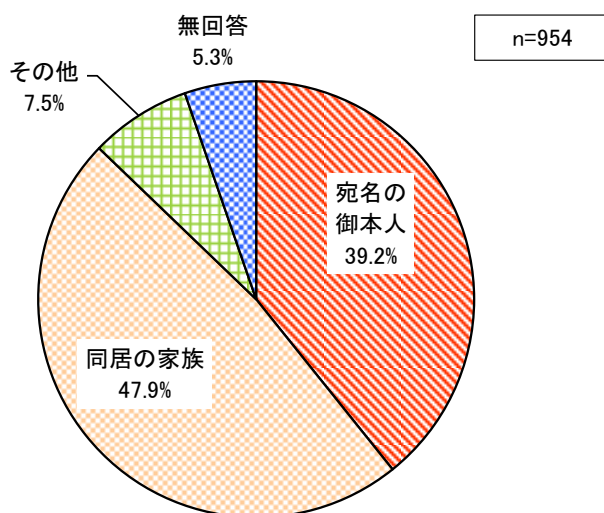
2 各設問の結果

(1) 調査対象者の属性

問1 この調査票に御回答いただいているのは、どなたですか。(ひとつだけ○)

回答者は、「宛名の御本人」が39.2%、「同居の家族」が47.9%となっています。

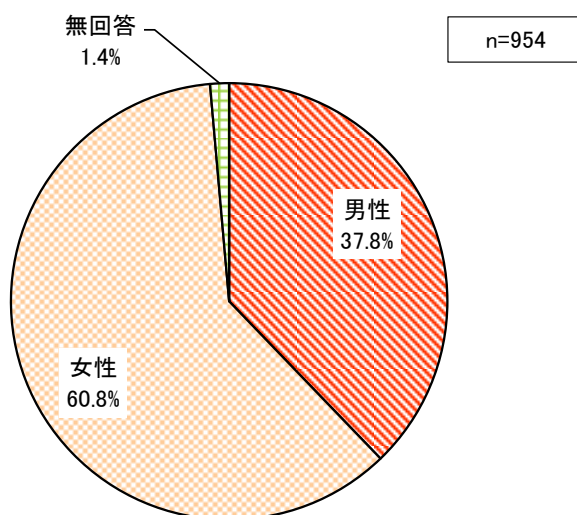
図表 5.1 回答者



問2 宛名の御本人様の性別をお答えください。(ひとつだけ○)

性別は、「男性」が37.8%、「女性」が60.8%となっています。

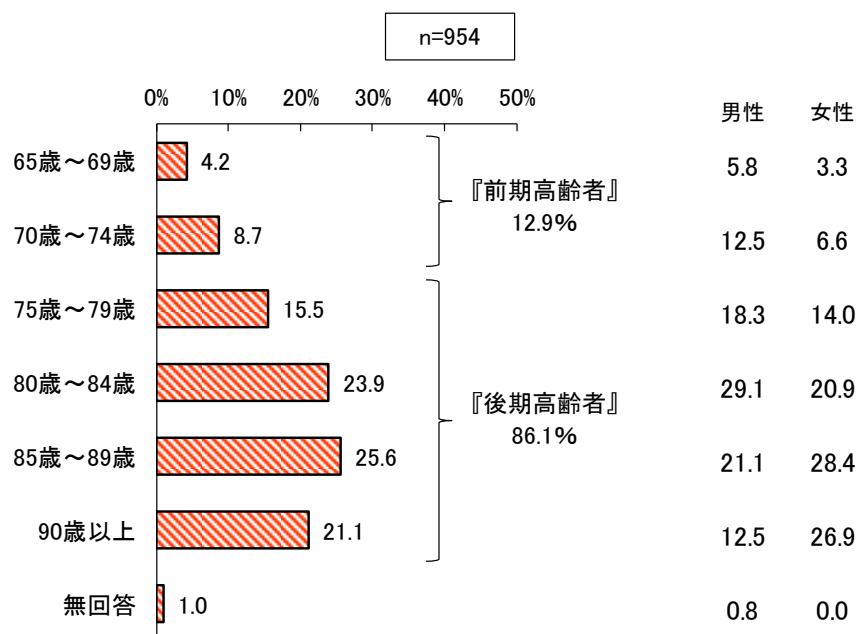
図表 5.2 性別



問3 宛名の御本人様の令和元年11月1日現在の満年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

年齢構成は、65歳～74歳の『前期高齢者』は12.9%、75歳以上の『後期高齢者』は86.1%となっています。また、85歳以上は46.7%となっています。

図表 5.3 年齢構成



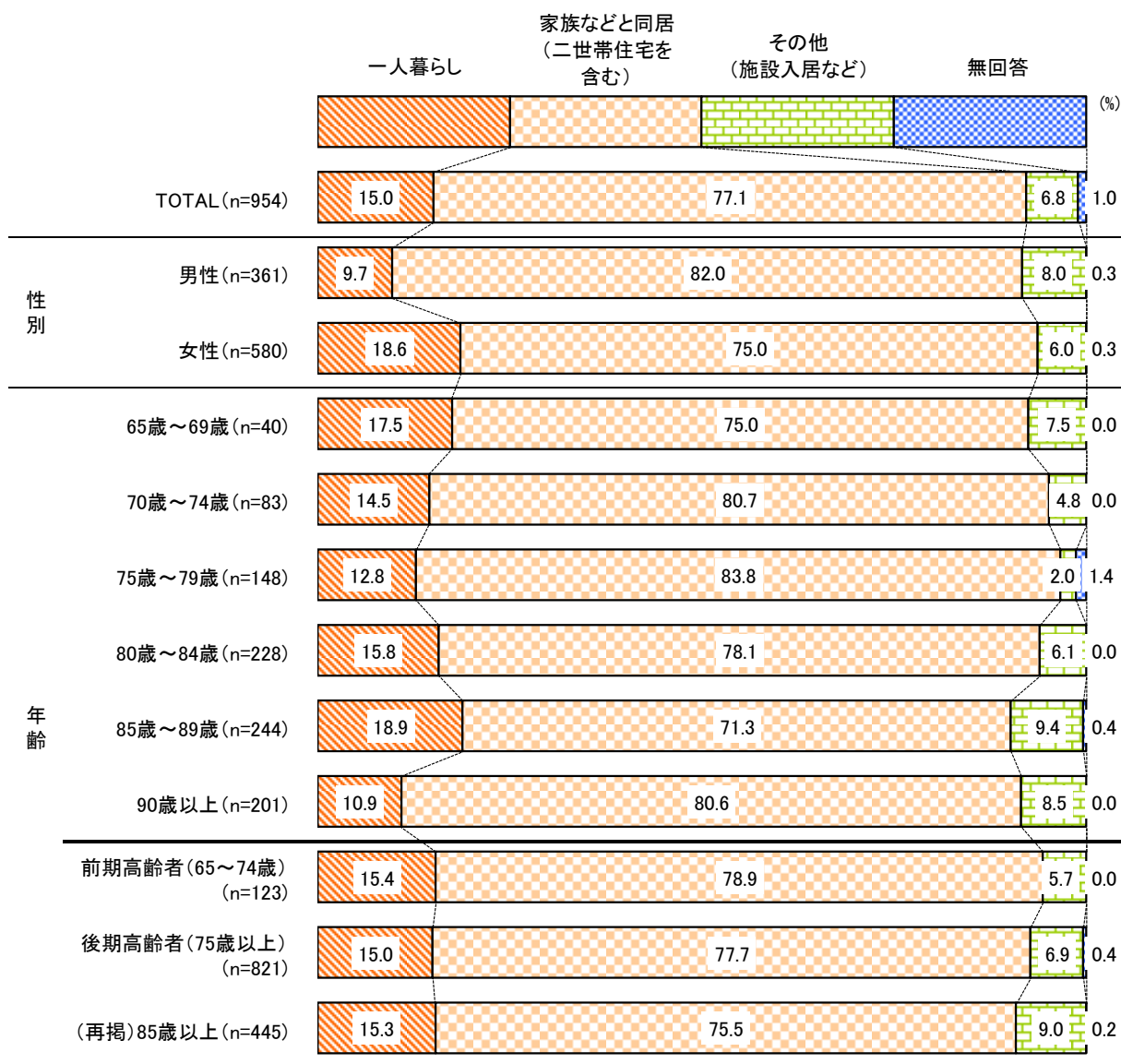
問4 現在の家族構成を、以下の中からお答えください。(ひとつだけ〇)

家族構成は、「一人暮らし」が15.0%、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が77.1%、「その他（施設入居など）」が6.8%となっています。

性別では、「女性」で「一人暮らし」が18.6%と「男性」(9.7%)を上回っています。

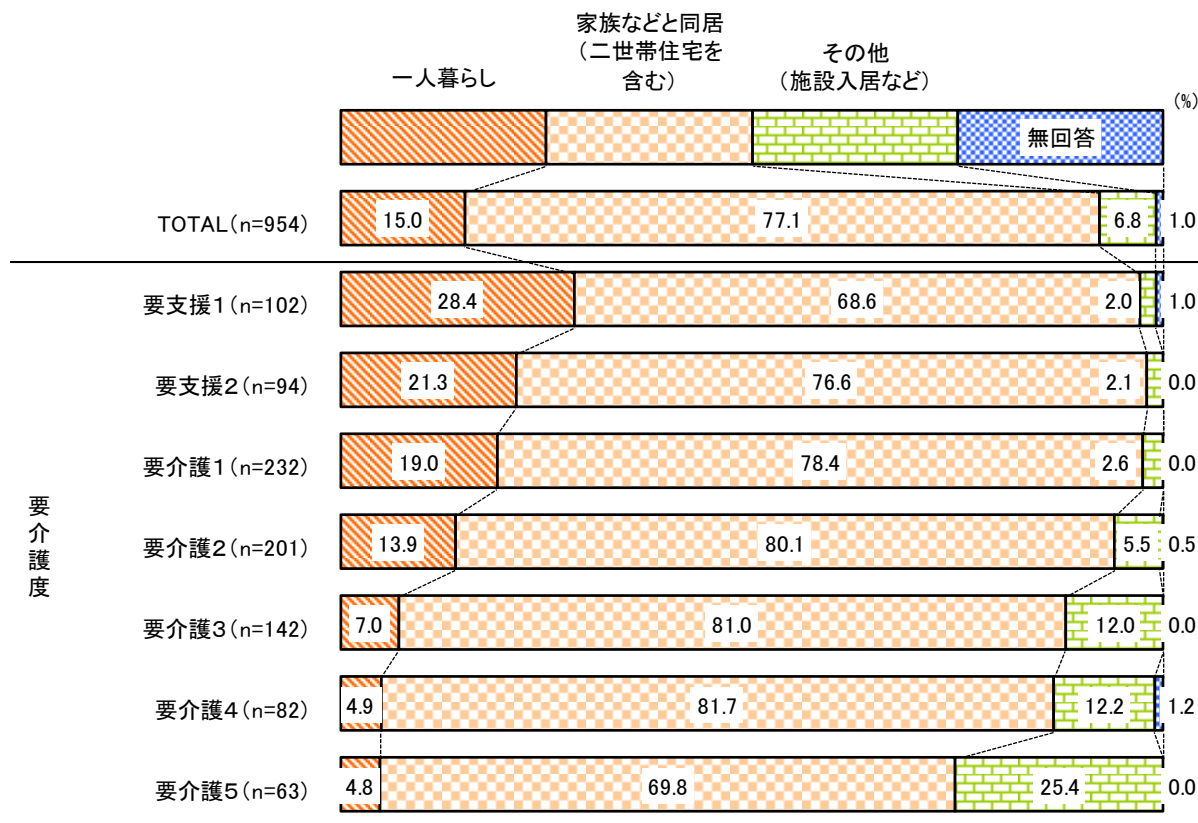
年齢別では、他の年齢と比べて、「85歳～89歳」で「一人暮らし」が18.9%と最も高く、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が71.3%と最も低くなっています。

図表 5.4 家族構成



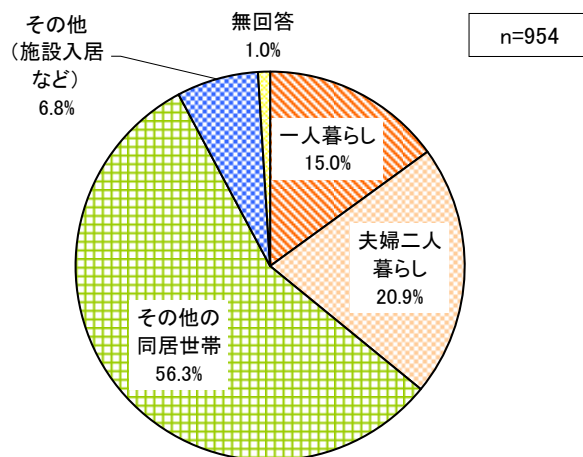
介護度別では、「一人暮らし」の割合が「要支援1」(28.4%)、「要支援2」(21.3%)、「要介護1」(19.0%)となっており、他の介護度に比べて高くなっています。また、介護度が上がるにつれて、「一人暮らし」の割合は低くなっています。

図表 5.5 家族構成



家族構成のうち、「家族など同居 (二世帯住宅を含む)」について、同居者数、同居者の続柄を踏まえて、改めて整理し直し、家族構成を4区分に分類したものをみると、「その他の同居世帯 (夫婦のみ以外の同居)」が 56.3% (537 人) が最も多く、次いで「夫婦二人暮らし」が 20.9% (199 人)、「一人暮らし」が 15.0% (143 人) の順となっています。

図表 5.6 家族構成(4区分)



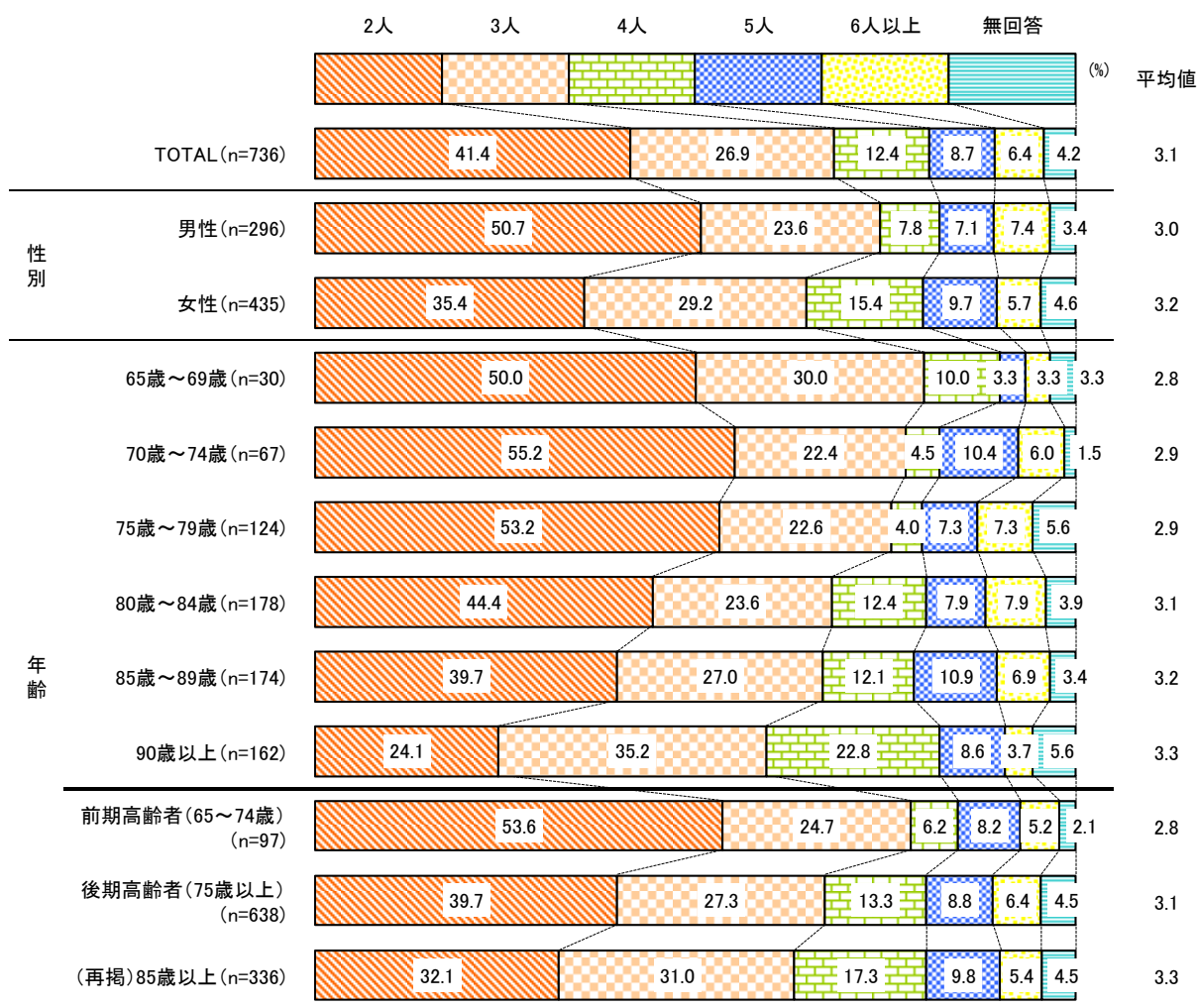
問4-1 問4で2に○をつけた方にうかがいます。御自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

同居者数の構成は、「2人」が41.4%と最も多く、次いで「3人」が26.9%、「4人」が12.4%、「5人」が8.7%、「6人以上」が6.4%となっています。平均同居人数は、3.1人となっています。

性別では、「女性」が同居者数は多い傾向にあり、「2人」が35.4%、次いで「3人」が29.2%となっています。「男性」では「2人」が50.7%となっています。

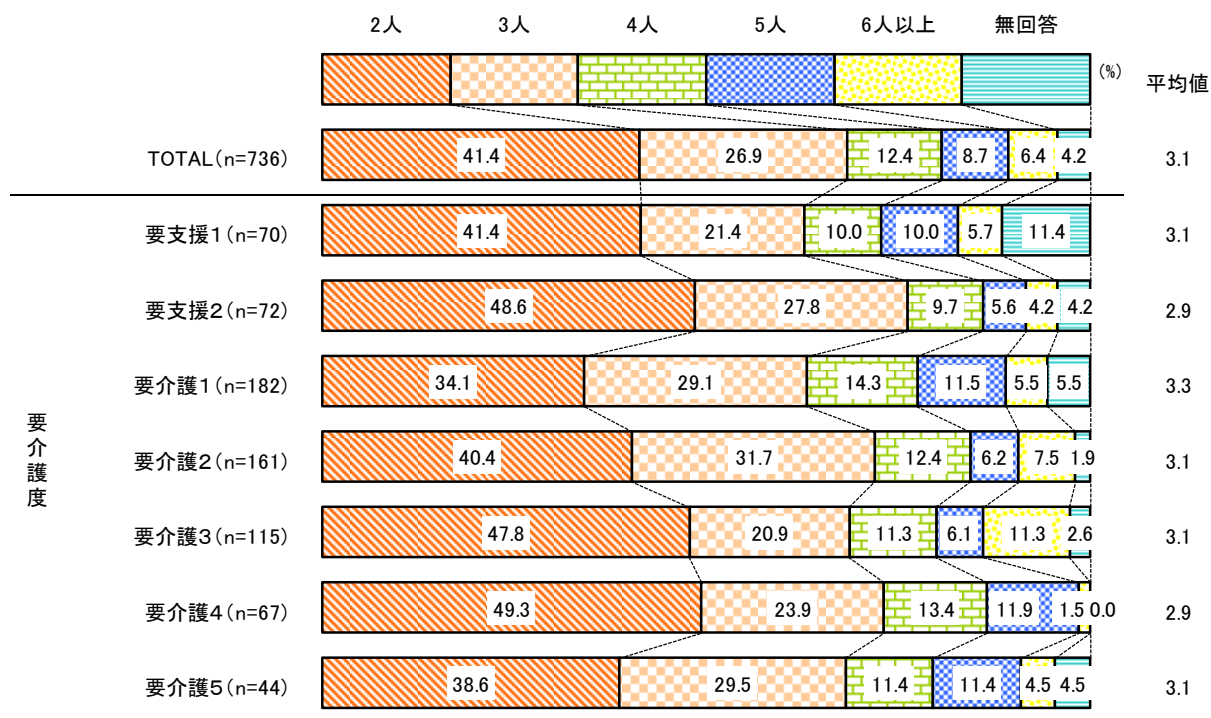
年齢別では、高齢年齢ほど「2人」が少ない傾向がみられ、「90歳以上」では「2人」は24.1%となっています。

図表 5.7 同居者数



介護度別では、「要支援2」は「2人」が多く、48.6%となっています。「要介護1」～「要介護4」では、介護度が上がるほど「2人」が増える傾向がみられ、「要介護4」では「2人」が49.3%と他の介護度と比べて最も高くなっています。

図表 5.8 同居者数

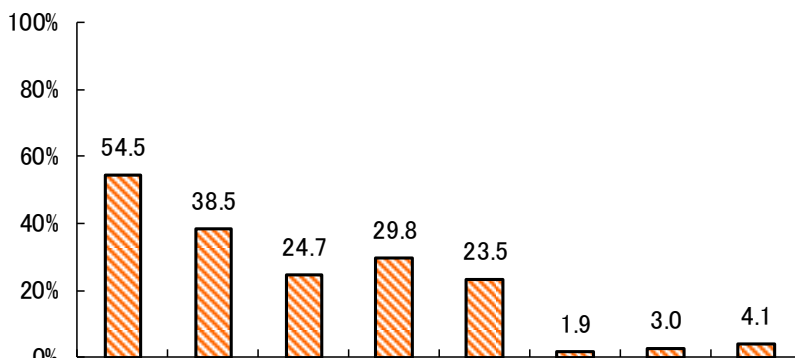


第5章 要介護認定者調査結果

現在の同居者は、「配偶者(夫・妻)」が54.5%で最も多く、次いで「息子」が38.5%、「息子・娘の配偶者」が29.8%、「娘」が24.7%、「孫」が23.5%の順となっています。

性別では、「男性」は「配偶者(夫・妻)」が80.7%と、「女性」の「配偶者(夫・妻)」(36.8%)を大きく上回っています。「女性」の同居者は「息子」(43.4%)、「娘」(28.7%)、「息子・娘の配偶者」(40.0%)、「孫」(27.6%)となっており、いずれも「男性」を上回っています。

図表 5.9 現在の同居者



		(単位: %)	n	配偶者(夫・妻)	息子	娘	息子・娘の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
TOTAL			736	54.5	38.5	24.7	29.8	23.5	1.9	3.0	4.1
性別	男性		296	80.7	31.4	18.6	14.5	17.2	2.4	3.0	4.4
	女性		435	36.8	43.4	28.7	40.0	27.6	1.6	3.0	3.7
年齢	65歳～69歳		30	86.7	20.0	23.3	10.0	10.0	0.0	10.0	3.3
	70歳～74歳		67	89.6	28.4	17.9	11.9	10.4	6.0	4.5	0.0
	75歳～79歳		124	64.5	32.3	15.3	12.9	16.1	5.6	1.6	7.3
	80歳～84歳		178	64.0	37.6	24.7	22.5	24.2	0.6	0.0	3.9
	85歳～89歳		174	48.3	39.1	28.2	32.8	25.9	0.6	1.1	5.2
	90歳以上		162	22.2	50.6	31.5	58.6	34.0	0.6	6.8	2.5
	前期高齢者(65～74歳)		97	88.7	25.8	19.6	11.3	10.3	4.1	6.2	1.0
	後期高齢者(75歳以上)		638	49.2	40.3	25.5	32.6	25.5	1.6	2.4	4.5
	(再掲) 85歳以上		336	35.7	44.6	29.8	45.2	29.8	0.6	3.9	3.9

「その他の同居世帯」における家族構成別では、「息子」(52.7%)が最も多く、次いで「息子・娘の配偶者」(40.8%)、「配偶者(夫・妻)」(37.6%)の順となっています。

図表 5.10 現在の同居者

(単位：%)		n	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	息子・娘の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	無回答
TOTAL		736	54.5	38.5	24.7	29.8	23.5	1.9	3.0	4.1
その他の同居世帯		537	37.6	52.7	33.9	40.8	32.2	2.6	4.1	5.6

介護度別では、いずれの介護度も同居者は「配偶者(夫・妻)」が最も多くなっています。

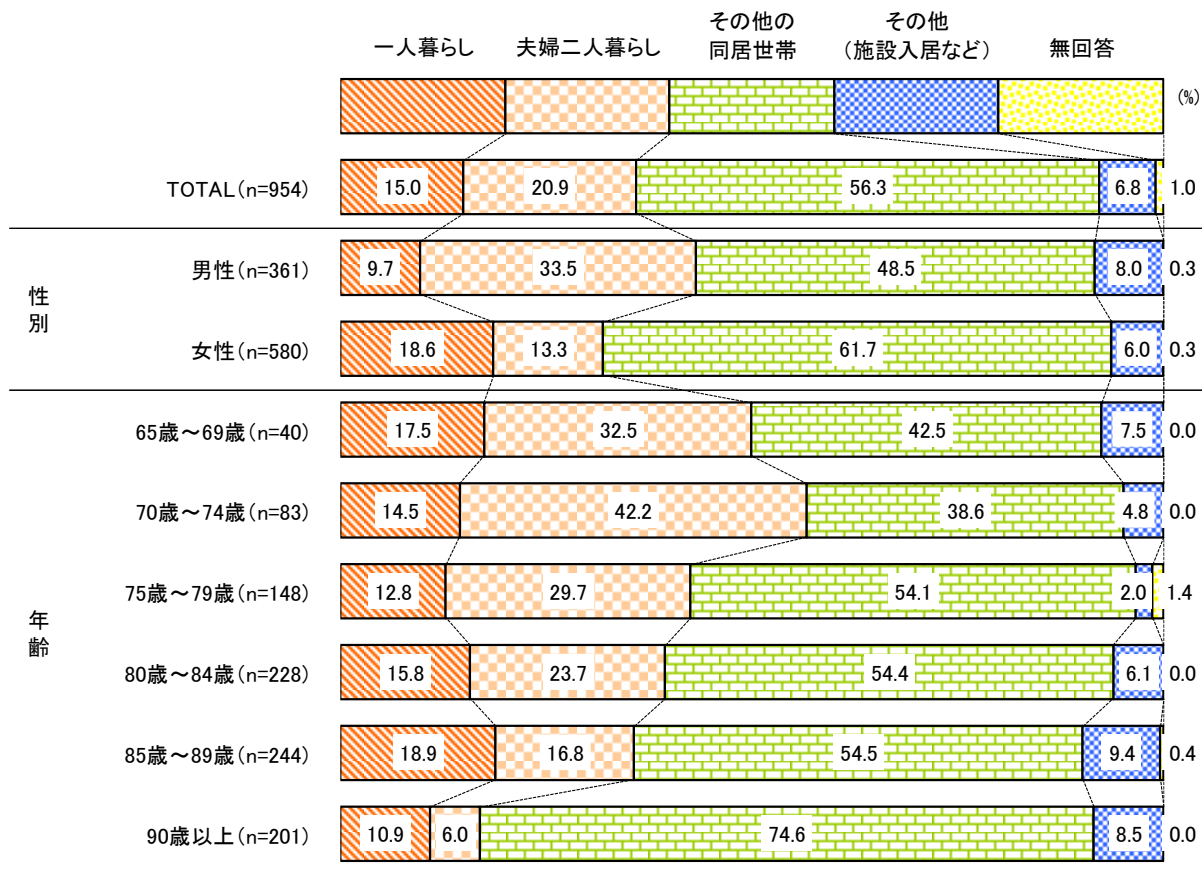
図表 5.11 現在の同居者

(単位：%)		n	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	息子・娘の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	無回答
TOTAL		736	54.5	38.5	24.7	29.8	23.5	1.9	3.0	4.1
要 介 護 度	要支援1	70	67.1	41.4	15.7	21.4	25.7	1.4	0.0	4.3
	要支援2	72	52.8	33.3	18.1	22.2	13.9	1.4	0.0	8.3
	要介護1	182	52.7	37.4	29.7	36.8	25.3	2.7	4.4	3.3
	要介護2	161	47.2	35.4	28.6	34.2	23.0	1.9	5.0	3.7
	要介護3	115	60.0	37.4	27.0	27.0	27.8	2.6	1.7	1.7
	要介護4	67	55.2	43.3	17.9	25.4	19.4	1.5	4.5	4.5
	要介護5	44	63.6	40.9	22.7	29.5	20.5	0.0	2.3	6.8

家族構成4区分 (問4、問4-1回答より構成)

性別では、「男性」で「夫婦二人暮らし」が33.5%と、「女性」(13.3%)を上回っています。
 年齢別では、高年齢ほど「夫婦二人暮らし」は低く、「90歳以上」では、6.0%となっています。

図表 5.12 家族構成



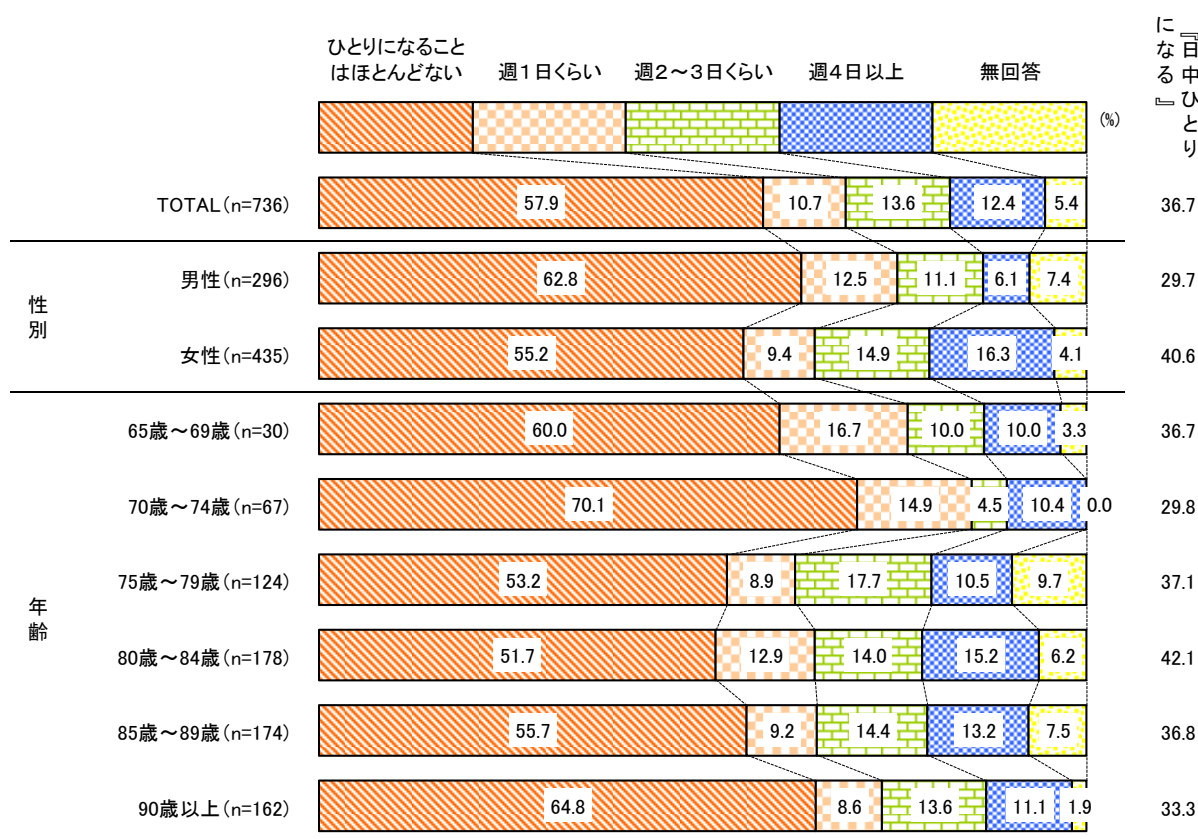
問 4-2 引き続き、問4で2に○をつけた方にうかがいます。宛名の御本人様は日中、家にひとりであることがどのくらいありますか。(ひとつだけ○)

日中の独居状況については、「ひとりになることはほとんどない」が 57.9%と最も多くなっています。次いで「週2～3日くらい」が 13.6%、「週4日以上」が 12.4%、「週1日くらい」が 10.7%の順となっています。「週1日くらい」から「週4日以上」までを合計した「日中ひとりになる」割合は、36.7%と3人に1人の割合となっています。

性別では、「女性」は「週4日以上」が 16.3%と、「男性」の「週4日以上」(6.1%)を10ポイントと大きく上回っています。

年齢別では、いずれの年齢も「ひとりになることはほとんどない」が最も多くなっていますが、一方で、「週4日以上」は1割台となっています。

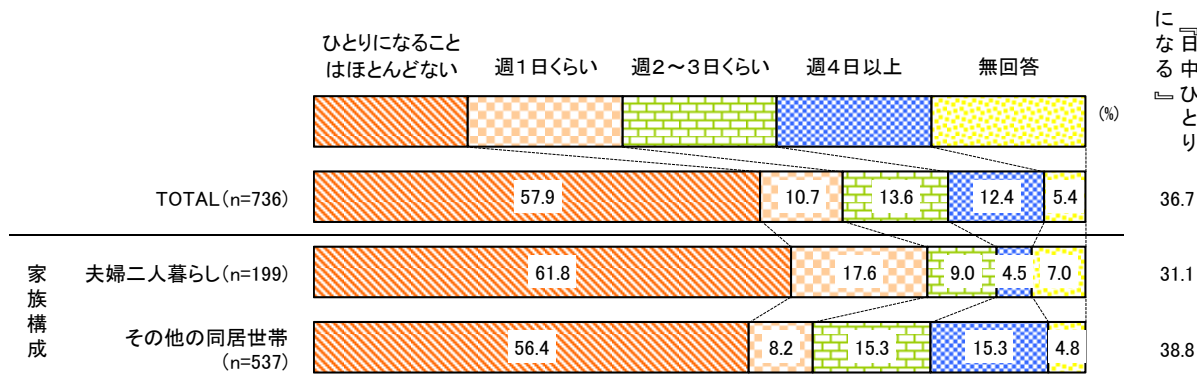
図表 5.13 日中の独居状況について



第5章 要介護認定者調査結果

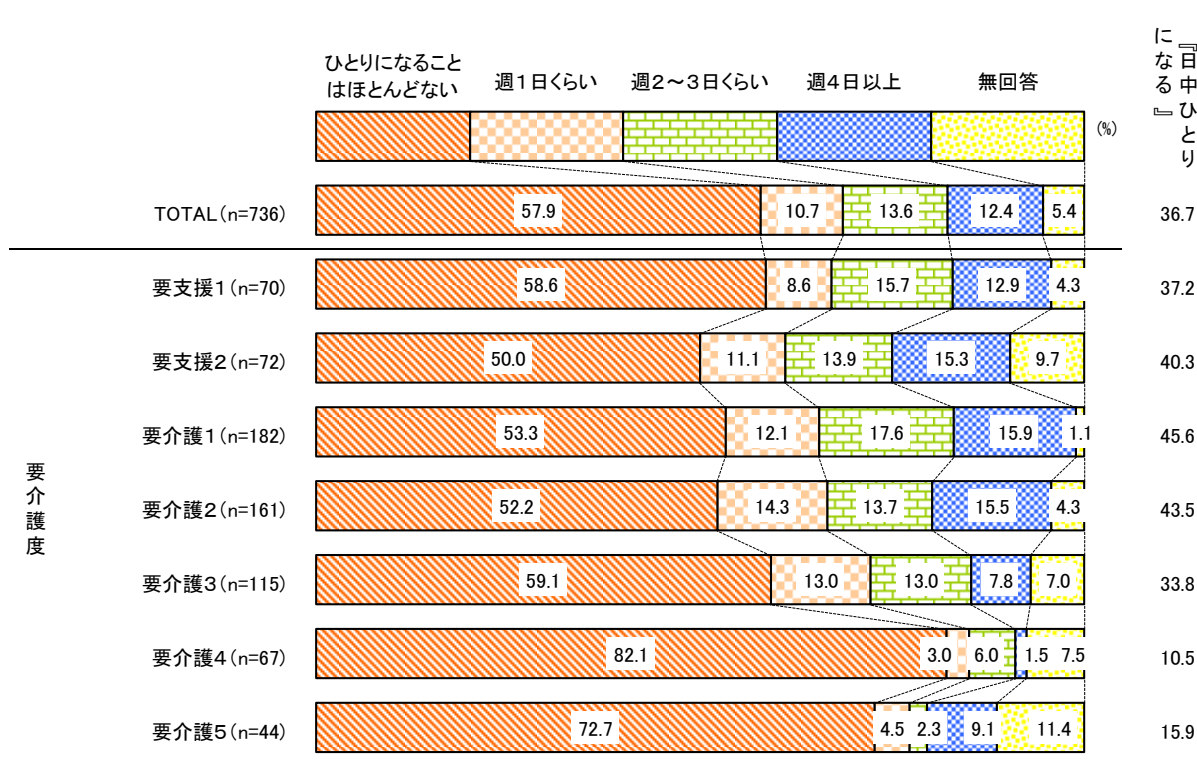
家族構成別では、「その他の同居世帯」は、「週4日以上」が15.3%となっており、「夫婦二人暮らし」よりも10ポイント以上と大きく上回っています。

図表 5.14 日中の独居状況について



介護度別では、「ひとりになることはほとんどない」は「要介護5」で72.7%、「要介護4」で82.1%ですが、「要支援1」～「要介護3」は5割台と低く、おおむね介護度が上がると高くなっています。一方で「週4日以上」は「要支援2」～「要介護2」が15%台となっています。

図表 5.15 日中の独居状況について



(2) 介護、生活支援について

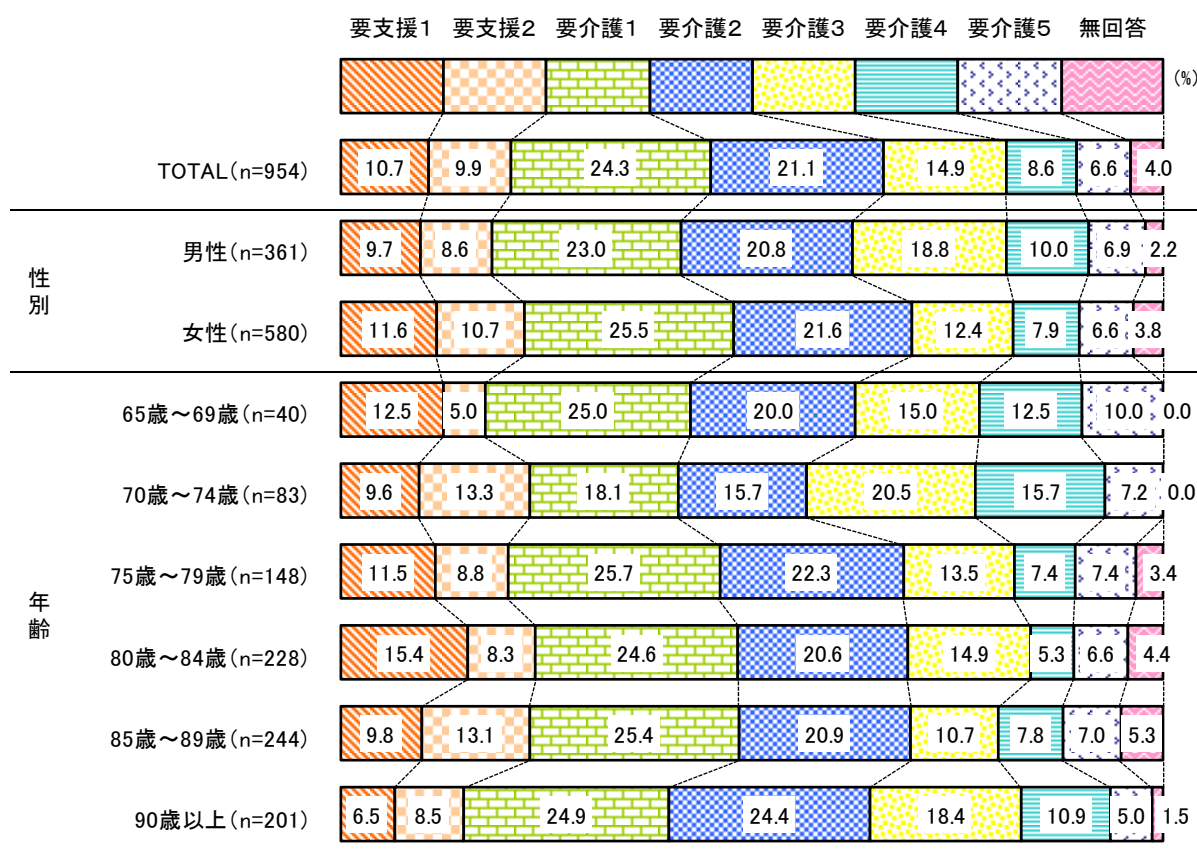
問5 現在の要介護度は次のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

「要支援1」、「要支援2」を合わせた『要支援』は20.6%、「要介護1」、「要介護2」を合わせると45.4%、「要介護3」～「要介護5」を合わせると30.1%となっています。

性別では、「要介護3」～「要介護5」は、「男性」(35.7%)に対し、「女性」(26.9%)と、男性の方が高くなっています。

年齢別では、「65歳～69歳」と75歳以上が、「要介護3」～「要介護5」が2割～3割台であるのに対し、「70歳～74歳」は43.4%と他の年齢よりも高くなっています。

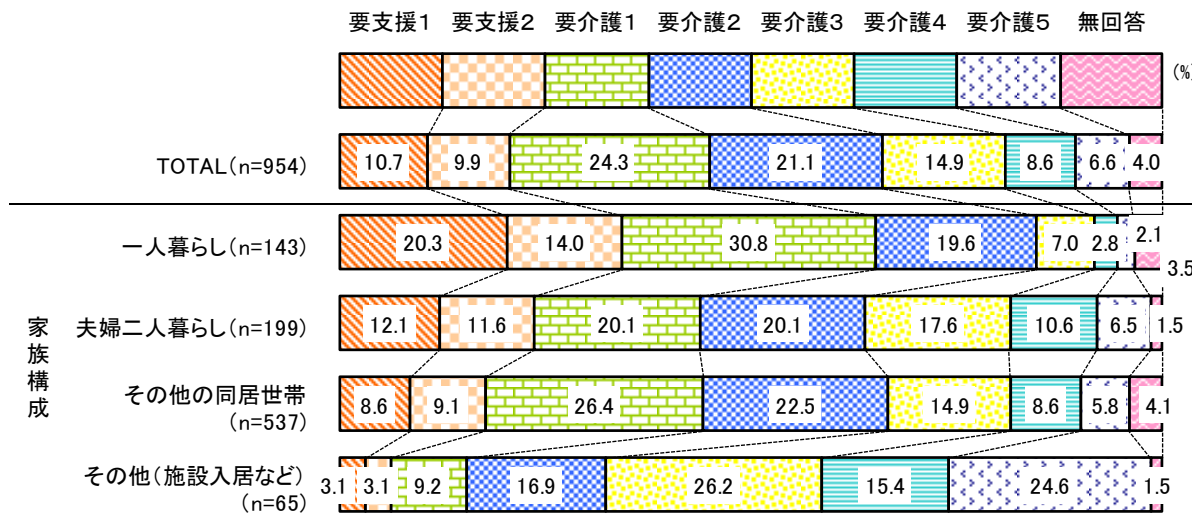
図表 5.16 現在の要介護度



第5章 要介護認定者調査結果

家族構成別では、「一人暮らし」のうち、「要支援1」、「要支援2」を合わせた『要支援』は34.3%と多く、また「要介護1」も30.8%と他の家族構成に比べて高くなっています。「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」では、「要介護1」、「要介護2」は2割台となっており、他の介護度より高くなっています。

図表 5.17 現在の要介護度



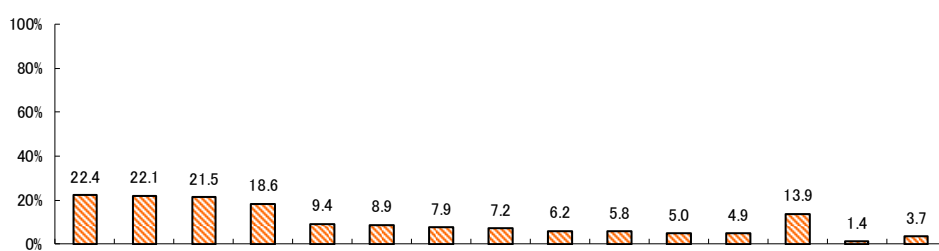
問6 介護が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

介護が必要となった主な原因については、「認知症（アルツハイマー病等）」（22.4%）、「骨折・転倒」（22.1%）、「高齢による衰弱」（21.5%）、「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」（18.6%）の順で、約2割となっています。

性別では、「男性」は「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」が29.4%で最も多く、「女性」では「骨折・転倒」が27.9%で最も多くなっています。

年齢別では、「前期高齢者（65～74歳）」は、「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」が38.2%で最も多く、「後期高齢者（75歳以上）」は、「高齢による衰弱」が24.2%、「認知症（アルツハイマー病等）」が24.0%、「骨折・転倒」が23.9%と、いずれも前期高齢者より10ポイント以上高くなっています。

図表 5.18 介護が必要となった主な原因



(単位：%)

		n	マ ー 認 知 症 （ ア ル ツ ハ イ マ ー 病 等 ）	骨 折 ・ 転 倒	高 齢 に よ る 衰 弱	脳 卒 中 （ 脳 出 血 ・ 脳 こ う そ く 等 ）	心 臓 病	糖 尿 病	脊 椎 損 傷	関 節 の 病 気 （ リ ウ マ チ 等 ）	が ん （ 悪 性 新 生 物 ）	視 覚 ・ 聴 覚 障 害	腫 ・ 呼 吸 器 の 病 気 （ 肺 炎 等 ）	パ ー キ ン ソ ン 病	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
TOTAL		954	22.4	22.1	21.5	18.6	9.4	8.9	7.9	7.2	6.2	5.8	5.0	4.9	13.9	1.4	3.7
性別	男性	361	21.6	13.3	17.2	29.4	10.8	10.5	6.4	0.8	10.2	7.2	6.9	8.3	14.7	1.1	2.2
	女性	580	23.4	27.9	24.7	11.9	8.6	8.1	9.0	10.9	3.8	5.0	4.0	2.9	13.8	1.6	3.4
年齢	65歳～69歳	40	17.5	7.5	2.5	57.5	7.5	7.5	10.0	0.0	7.5	5.0	0.0	5.0	7.5	0.0	0.0
	70歳～74歳	83	12.0	14.5	4.8	28.9	4.8	14.5	4.8	10.8	9.6	1.2	2.4	12.0	18.1	0.0	2.4
	75歳～79歳	148	16.9	18.9	10.8	20.3	6.1	16.2	10.1	6.8	4.7	5.4	6.1	8.8	14.2	2.7	4.1
	80歳～84歳	228	22.8	24.6	14.0	18.4	12.3	7.0	9.2	8.8	7.9	6.1	4.8	6.1	14.5	1.8	4.4
	85歳～89歳	244	27.9	23.8	27.5	16.0	9.4	8.2	8.6	9.8	6.1	8.2	5.7	2.5	13.5	1.2	1.6
	90歳以上	201	25.9	26.9	41.8	9.0	11.4	5.0	5.0	3.0	4.0	5.0	6.0	0.5	13.9	1.0	3.0
	前期高齢者（65～74歳）	123	13.8	12.2	4.1	38.2	5.7	12.2	6.5	7.3	8.9	2.4	1.6	9.8	14.6	0.0	1.6
	後期高齢者（75歳以上）	821	24.0	23.9	24.2	15.7	10.1	8.5	8.2	7.3	5.8	6.3	5.6	4.1	14.0	1.6	3.2
	（再掲）85歳以上	445	27.0	25.2	33.9	12.8	10.3	6.7	7.0	6.7	5.2	6.7	5.8	1.6	13.7	1.1	2.2

第5章 要介護認定者調査結果

家族構成別では、「一人暮らし」は、「骨折・転倒」が 32.9%で最も多く、「夫婦二人暮らし」は、「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」が 24.6%で最も多く、「その他の同居世帯」は、「認知症（アルツハイマー病等）」が 24.6%で最も多くなっています。

図表 5.19 介護が必要となった主な原因

		n	認知症（アルツハイマー病等）	骨折・転倒	高齢による衰弱	脳卒中（脳出血・脳こうそく等）	心臓病	糖尿病	脊椎損傷	関節の病気（リウマチ等）	がん（悪性新生物）	視覚・聴覚障害	腫・肺炎等）	呼吸器の病気（肺炎等）	パーキンソン病	その他	わからない	無回答
(単位：%)																		
TOTAL		954	22.4	22.1	21.5	18.6	9.4	8.9	7.9	7.2	6.2	5.8	5.0	4.9	13.9	1.4	3.7	
家族構成	一人暮らし	143	11.2	32.9	28.0	9.8	9.8	6.3	10.5	6.3	5.6	3.5	4.2	2.1	17.5	2.1	2.8	
	夫婦二人暮らし	199	20.6	14.1	12.6	24.6	8.0	15.1	9.5	8.0	8.0	6.5	3.5	10.1	13.1	1.0	1.5	
	その他の同居世帯	537	24.6	22.9	23.5	19.0	10.2	8.0	7.1	7.6	5.4	6.3	5.6	3.5	14.5	1.3	3.4	
	その他（施設入居など）	65	38.5	20.0	21.5	16.9	7.7	4.6	3.1	4.6	9.2	4.6	7.7	7.7	6.2	1.5	1.5	

介護度別では、「要介護2」では「認知症（アルツハイマー病等）」が 32.3%で最も多く、「要介護3」では「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」が 31.7%で最も多く、「要介護4」では「骨折・転倒」が 29.3%で最も多くなっています。

図表 5.20 介護が必要となった主な原因

		n	認知症（アルツハイマー病等）	骨折・転倒	高齢による衰弱	脳卒中（脳出血・脳こうそく等）	心臓病	糖尿病	脊椎損傷	関節の病気（リウマチ等）	がん（悪性新生物）	視覚・聴覚障害	腫・肺炎等）	呼吸器の病気（肺炎等）	パーキンソン病	その他	わからない	無回答
(単位：%)																		
TOTAL		954	22.4	22.1	21.5	18.6	9.4	8.9	7.9	7.2	6.2	5.8	5.0	4.9	13.9	1.4	3.7	
要介護度	要支援1	102	6.9	20.6	13.7	11.8	8.8	2.9	13.7	10.8	4.9	6.9	3.9	2.9	16.7	2.9	5.9	
	要支援2	94	8.5	28.7	21.3	13.8	9.6	12.8	13.8	14.9	3.2	5.3	1.1	2.1	17.0	1.1	5.3	
	要介護1	232	25.9	22.4	23.3	15.1	10.3	8.6	6.5	6.9	6.9	5.2	5.2	3.9	17.2	2.2	0.4	
	要介護2	201	32.3	24.4	27.4	15.4	11.4	8.5	8.5	7.0	7.0	8.0	4.0	3.0	15.9	1.0	0.0	
	要介護3	142	26.8	18.3	22.5	31.7	8.5	10.6	7.0	3.5	10.6	3.5	6.3	9.2	7.0	0.7	1.4	
	要介護4	82	23.2	29.3	14.6	23.2	7.3	9.8	2.4	4.9	3.7	4.9	4.9	12.2	8.5	1.2	1.2	
	要介護5	63	25.4	12.7	20.6	30.2	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8	6.3	11.1	6.3	15.9	0.0	1.6	

在宅医療の希望状況別では、「希望する」は、「骨折・転倒」(22.0%)、「高齢による衰弱」(20.4%)、「脳卒中(脳出血・脳こうそく等)」(19.4%)がそれぞれ約2割となっています。

「希望しない」は、「認知症(アルツハイマー病等)」が30.6%と最も多い疾病となっています。

「現在、在宅医療を受けている」は、「脳卒中(脳出血・脳こうそく等)」が28.4%と最も多い疾病となっています。

図表 5.21 介護が必要となった主な原因

		n	認知症(アルツハイマー病等)	骨折・転倒	高齢による衰弱	脳卒中(脳出血・脳こうそく等)	心臓病	糖尿病	脊椎損傷	関節の病気(リウマチ等)	がん(悪性新生物)	視覚・聴覚障害	腫・呼吸器の病気(肺炎等)	パーキンソン病	その他	わからない	無回答
(単位: %)																	
TOTAL		954	22.4	22.1	21.5	18.6	9.4	8.9	7.9	7.2	6.2	5.8	5.0	4.9	13.9	1.4	3.7
在宅医療の希望状況	希望する	501	18.6	22.0	20.4	19.4	8.6	10.0	9.8	6.2	6.4	6.0	3.8	6.2	13.6	1.8	3.6
	希望しない	301	30.6	23.9	23.9	15.0	12.0	8.3	5.6	8.3	5.3	6.0	6.0	2.3	14.6	0.7	3.0
	現在、在宅医療を受けている	81	17.3	17.3	19.8	28.4	8.6	8.6	3.7	9.9	12.3	4.9	9.9	7.4	16.0	1.2	1.2

在宅生活の継続可能性別では、「できると思う」は、「骨折・転倒」(24.0%)、「高齢による衰弱」(21.5%)、「脳卒中(脳出血・脳こうそく等)」(20.5%)がいずれも2割を超えています。

「できないと思う」は、「認知症(アルツハイマー病等)」が26.3%と最も多い疾病となっており、次いで「高齢による衰弱」(21.9%)、「骨折・転倒」(21.1%)がともに2割を超えています。

図表 5.22 介護が必要となった主な原因

		n	認知症(アルツハイマー病等)	骨折・転倒	高齢による衰弱	脳卒中(脳出血・脳こうそく等)	心臓病	糖尿病	脊椎損傷	関節の病気(リウマチ等)	がん(悪性新生物)	視覚・聴覚障害	腫・呼吸器の病気(肺炎等)	パーキンソン病	その他	わからない	無回答
(単位: %)																	
TOTAL		954	22.4	22.1	21.5	18.6	9.4	8.9	7.9	7.2	6.2	5.8	5.0	4.9	13.9	1.4	3.7
在宅生活の継続可能性	できると思う	391	17.4	24.0	21.5	20.5	11.0	8.4	9.5	7.9	5.9	4.9	4.6	5.6	13.0	1.5	3.8
	できないと思う	502	26.3	21.1	21.9	17.1	8.8	9.8	6.8	6.8	7.0	7.2	5.6	4.6	14.9	1.2	3.0

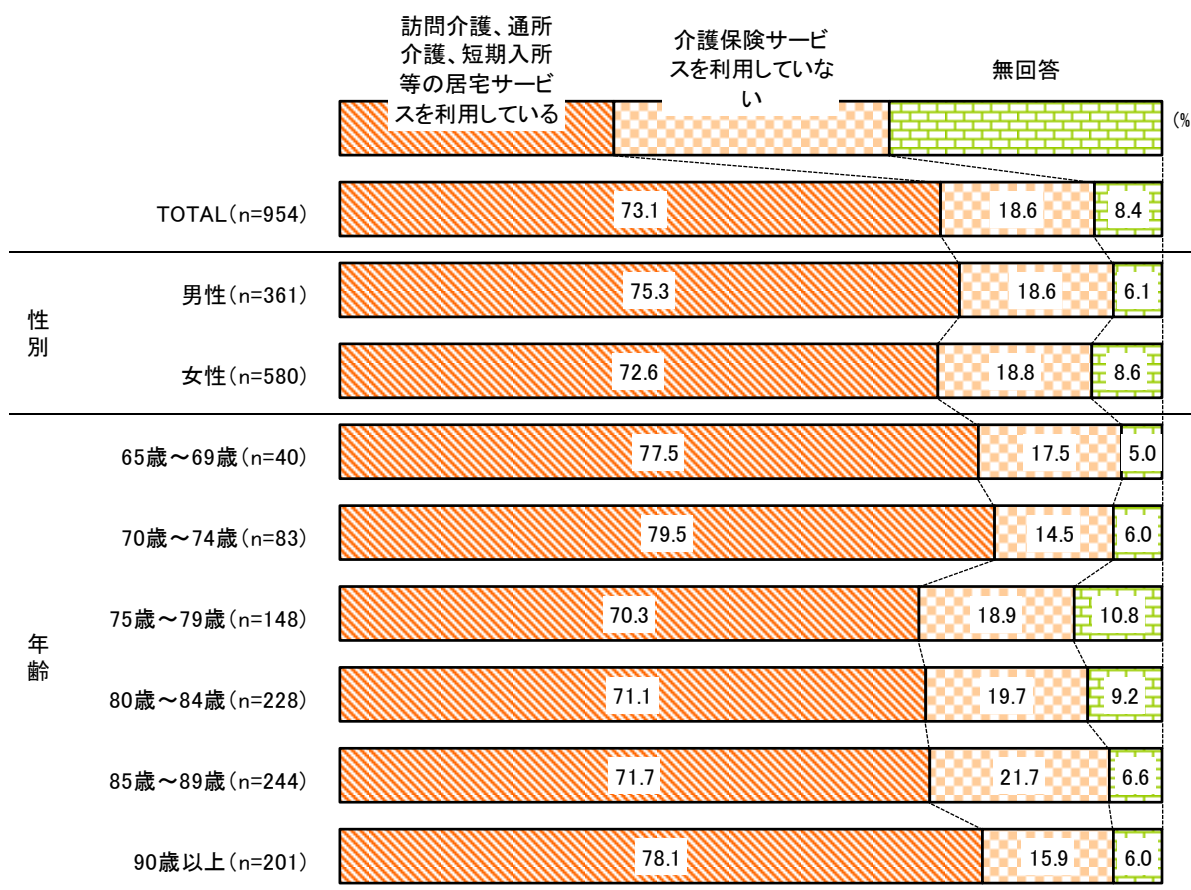
問7 現在、宛名の御本人様はどのような介護保険サービスを利用していますか。(ひとつだけ○)

現在の介護保険サービスの利用状況については、「訪問介護、通所介護、短期入所等の居宅サービスを利用している」が73.1%、「介護保険サービスを利用していない」が18.6%となっています。

性別では、大きな違いはみられません。

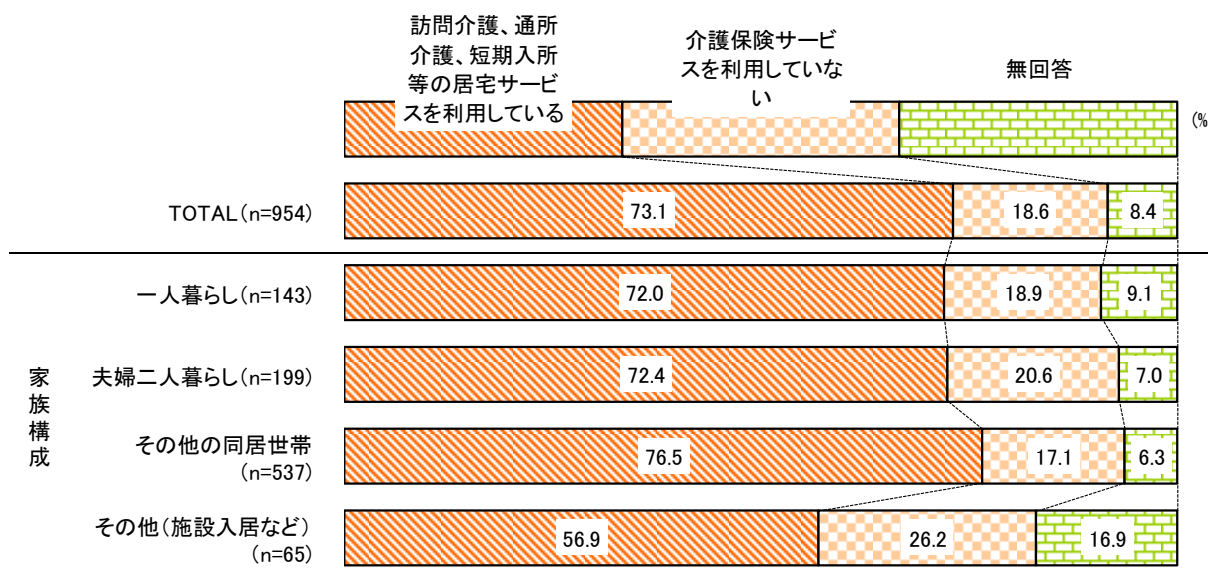
年齢別では、「75歳～79歳」以降、「85歳～89歳」まで、「介護保険サービスを利用していない」が約2割となっています。

図表 5.23 現在の介護保険サービスの利用状況について



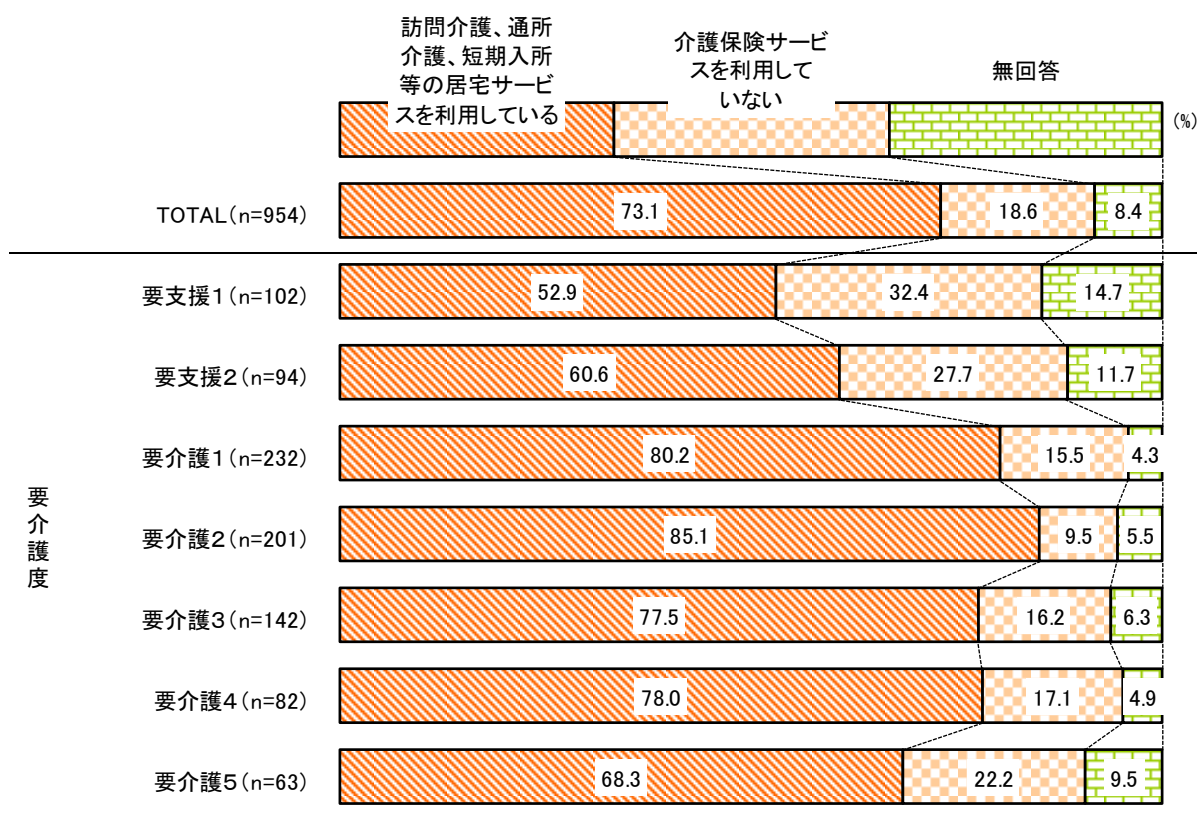
家族構成別では、「介護保険サービスを利用していない」は「夫婦二人暮らし」で20.6%、「その他（施設入居など）」で26.2%と他の家族構成より高くなっています。

図表 5.24 現在の介護保険サービスの利用状況について



介護度別では、「要介護2」は、「訪問介護、通所介護、短期入所等の居宅サービスを利用している」が85.1%となっています。一方、「要支援1」は、「介護保険サービスを利用していない」が32.4%と他の介護度より高くなっています。

図表 5.25 現在の介護保険サービスの利用状況について

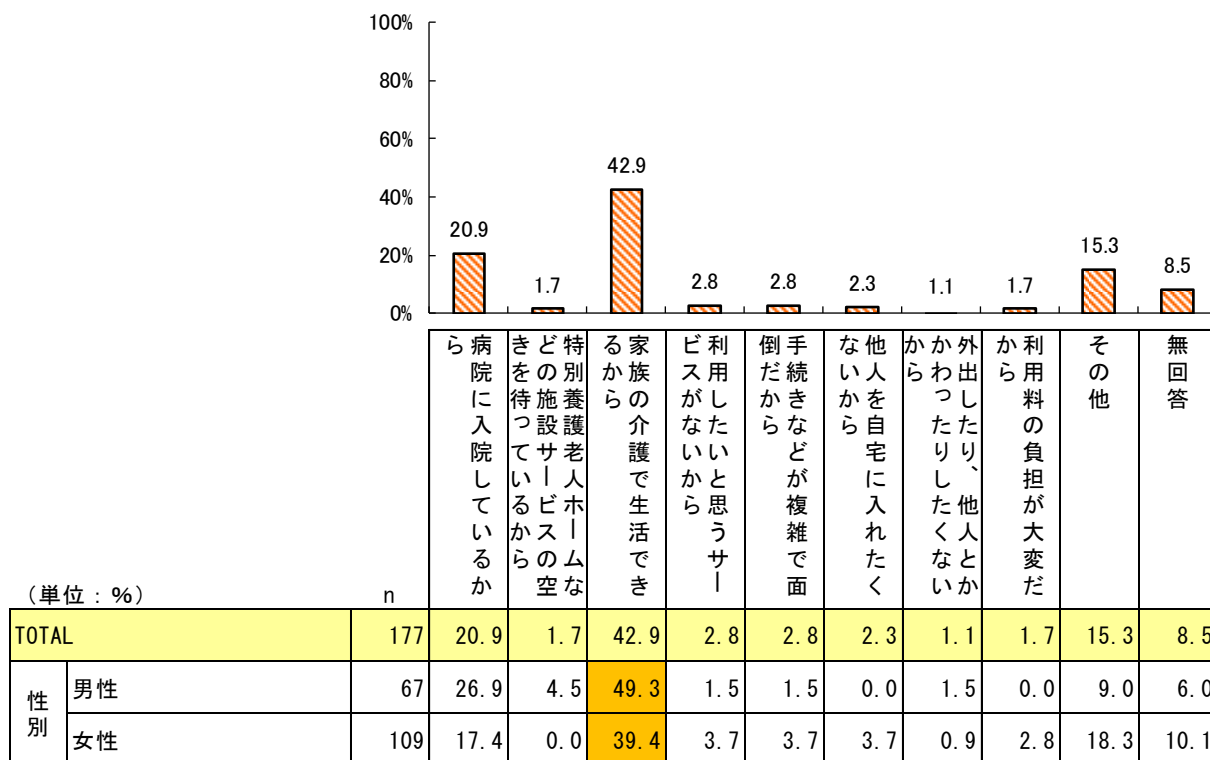


問7-1 問7で2に○をつけた方にうかがいます。介護保険サービスを利用していない理由をうかがいます。最もあてはまるものに○をつけてください。(ひとつだけ○)

「介護保険サービスを利用していない」方の理由については、「家族の介護で生活できるから」が42.9%、「病院に入院しているから」が20.9%の順となっています。

性別では、「男性」は「家族の介護で生活できるから」が49.3%と約半数になっています。「女性」は、「家族の介護で生活できるから」が39.4%と約4割になっており、「男性」よりも約10ポイント下回っています。

図表 5.26 介護保険サービスを利用していない理由



家族構成別では、「その他（施設入居など）」を除くいずれも、「家族の介護で生活できるから」が最も多く、「夫婦二人暮らし」は、63.4%となっており、「その他の同居世帯」の47.8%を上回っています。

図表 5.27 介護保険サービスを利用していない理由

			ら病 院に 入院 して いる か	きど のを 待っ てい るか ら	特別 養護 老人 ホーム の空 室な い	る家 族の 介護 で生 活で き	ビ利 用し たい と思 うサ ー	倒手 だ続 きな どが 複雑 で面	ない 他人 を自 宅に 入れ たく	かか わつ たり した く人 とか	外出 した り、 他人 とか	から 利用 料の 負担 が大 変だ	そ の 他	無 回 答
(単位：%)		n												
TOTAL		177	20.9	1.7	42.9	2.8	2.8	2.3	1.1	1.7	15.3	8.5		
家族 構 成	一人暮らし	27	11.1	0.0	22.2	0.0	7.4	11.1	0.0	7.4	25.9	14.8		
	夫婦二人暮らし	41	14.6	2.4	63.4	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	12.2	2.4		
	その他の同居世帯	92	14.1	1.1	47.8	5.4	2.2	1.1	1.1	1.1	15.2	10.9		
	その他（施設入居など）	17	88.2	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0		

介護度別では、「要支援1・2」は、「家族の介護で生活できるから」が44.1%、「要介護1・2」は、58.2%と多くなっています。一方、「要介護3～5」では、「病院に入院しているから」が54.9%と最も多くなっています。

図表 5.28 介護保険サービスを利用していない理由

			ら病 院に 入院 して いる か	きど のを 待っ てい るか ら	特別 養護 老人 ホーム の空 室な い	る家 族の 介護 で生 活で き	ビ利 用し たい と思 うサ ー	倒手 だ続 きな どが 複雑 で面	ない 他人 を自 宅に 入れ たく	かか わつ たり した く人 とか	外出 した り、 他人 とか	から 利用 料の 負担 が大 変だ	そ の 他	無 回 答
(単位：%)		n												
TOTAL		177	20.9	1.7	42.9	2.8	2.8	2.3	1.1	1.7	15.3	8.5		
(3 区分) 要 介 護 度	要支援1・2	59	3.4	1.7	44.1	1.7	3.4	3.4	0.0	3.4	23.7	15.3		
	要介護1・2	55	12.7	0.0	58.2	3.6	3.6	3.6	1.8	0.0	10.9	5.5		
	要介護3～5	51	54.9	3.9	27.5	0.0	2.0	0.0	2.0	2.0	5.9	2.0		

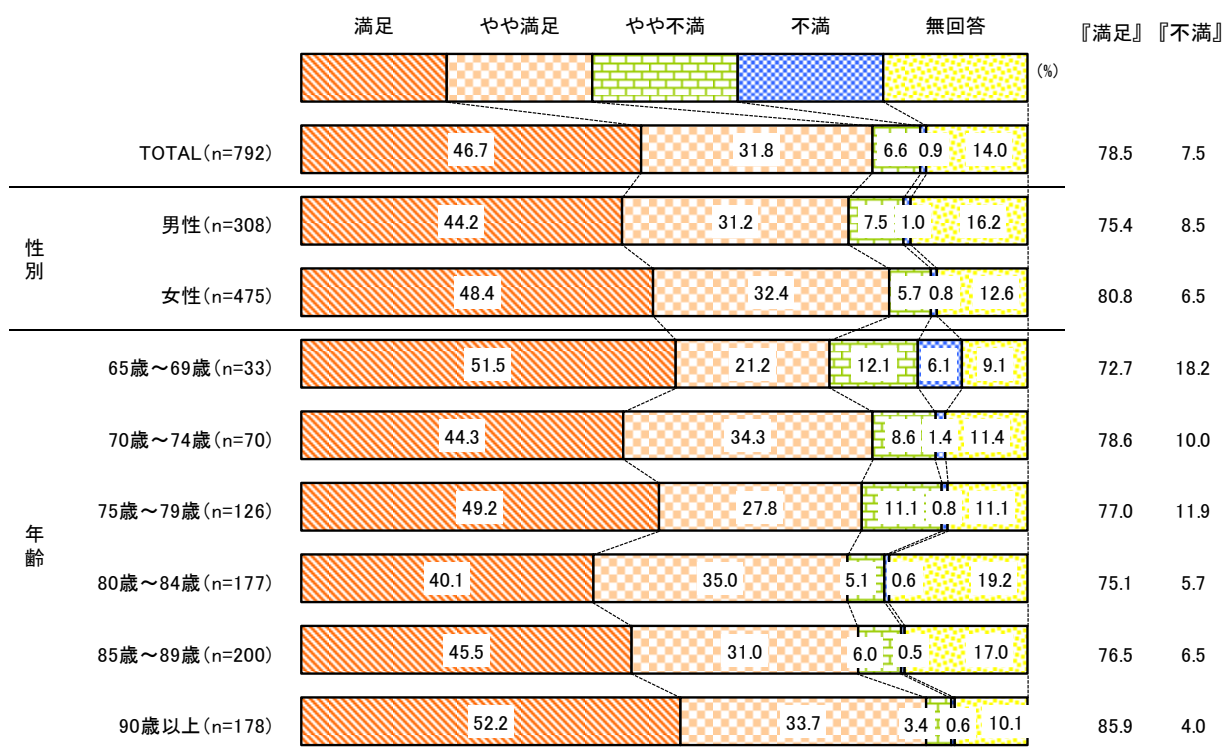
問8 現在受けている、または、これまで受けたことのある居宅サービス全般の満足度はいかがですか。(ひとつだけ○)

現在受けている、または、これまで受けたことのある居宅サービス利用者(792人)の、サービスの満足度については、「満足」(46.7%)、「やや満足」(31.8%)を合わせた『満足』の割合が78.5%、「やや不満」(6.6%)、「不満」(0.9%)を合わせた『不満』の割合が7.5%となっています。

性別では、『満足』の割合が、「男性」が75.4%、「女性」が80.8%とそれぞれ約8割となっています。

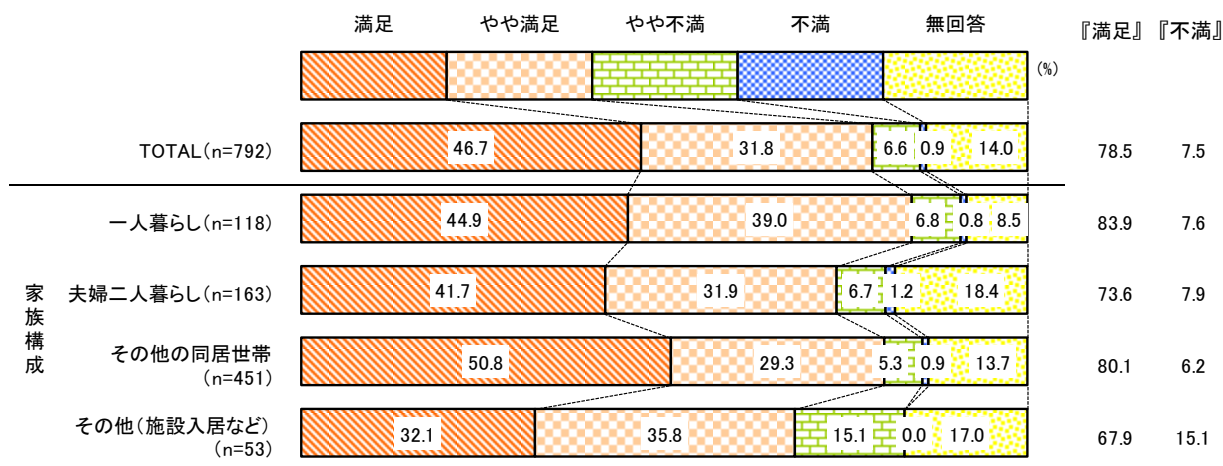
年齢別では、「90歳以上」で、『満足』の割合が85.9%となっており、他の年齢よりも高い満足度を示しています。

図表 5.29 これまで受けたことのある居宅サービス全般の満足度



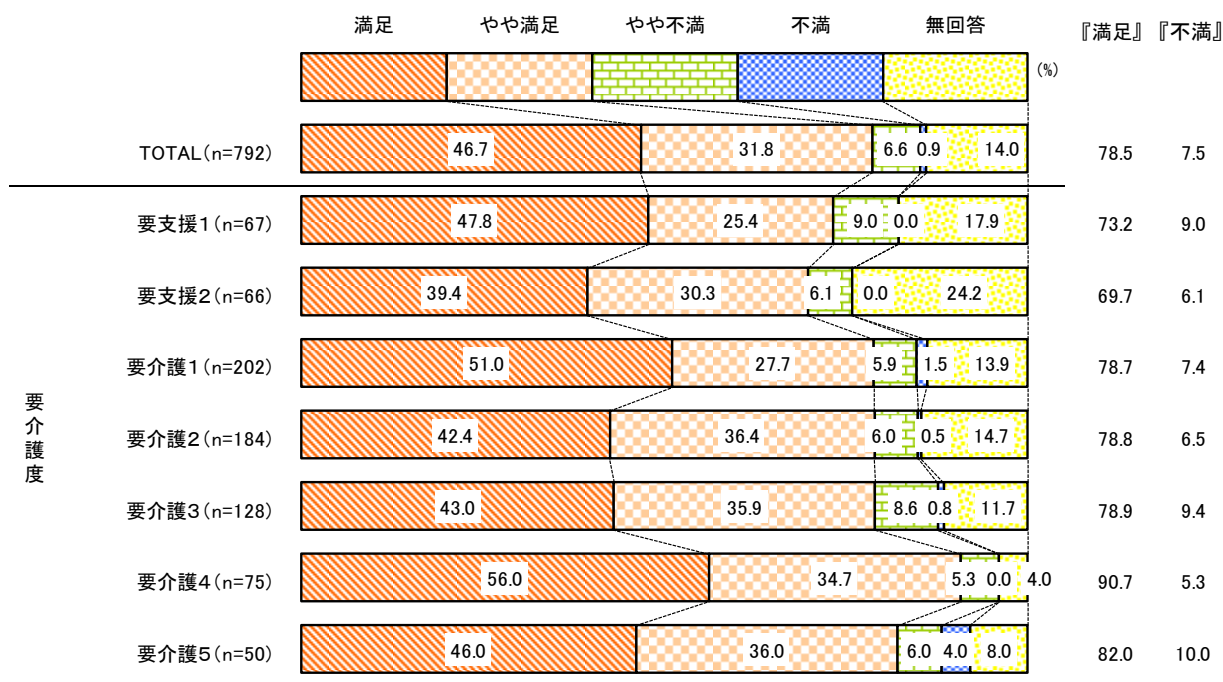
家族構成別では、「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』であるとする割合は、「一人暮らし」が83.9%、「その他の同居世帯」が80.1%、「夫婦二人暮らし」が73.6%の順になっています。

図表 5.30 これまで受けたことのある居宅サービス全般の満足度



介護度別では、「要支援2」～「要介護4」までは「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』の割合が、介護度が上がるにつれて高くなっており、「要介護4」は90.7%と、他の介護度と比べて最も高い満足度となっています。

図表 5.31 これまで受けたことのある居宅サービス全般の満足度

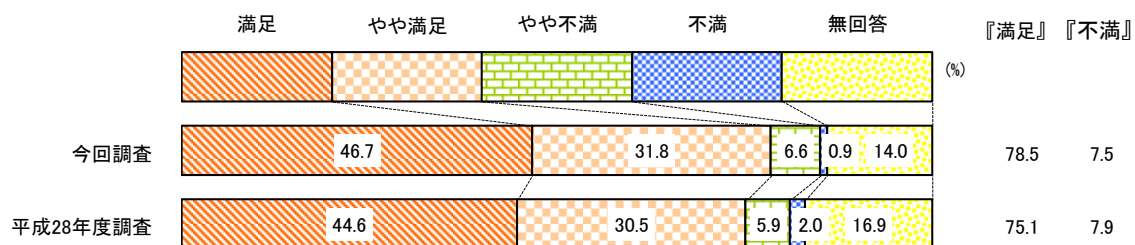


第5章 要介護認定者調査結果

(経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、『満足』が78.5%と約3ポイント増加しています。

図表 5.32 これまで受けたことのある居宅サービス全般の満足度

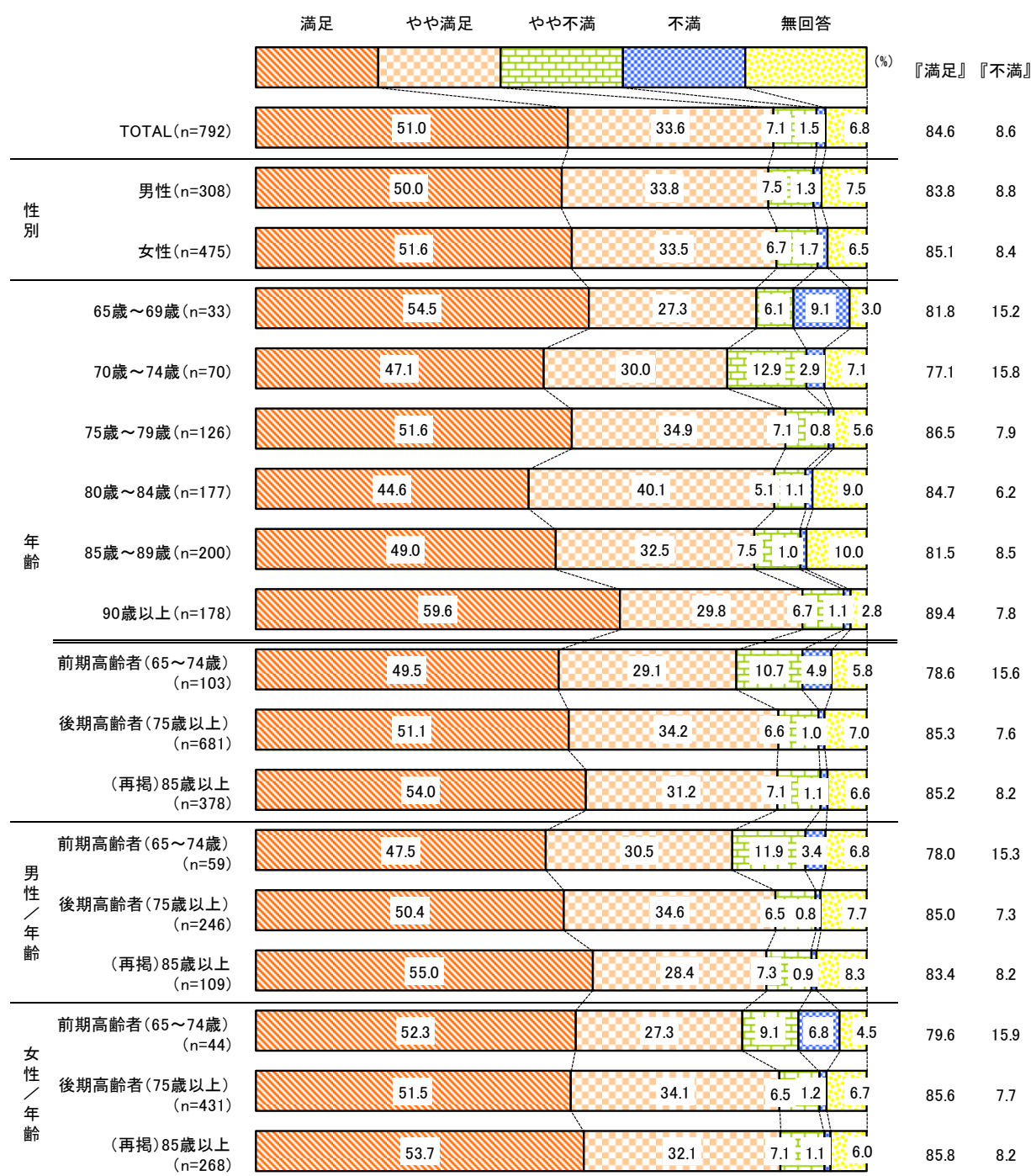


問9 今までに利用した介護保険サービス提供事業者に対する満足度はいかがですか。(ひとつだけ○)

今までに利用した介護保険サービス提供事業者に対する満足度については、「満足」(51.0%)、「やや満足」(33.6%)を合わせた『満足』の割合が84.6%、「やや不満」(7.1%)、「不満」(1.5%)を合わせた『不満』の割合が8.6%となっています。

性別では、『満足』の割合が、「男性」が83.8%、「女性」が85.1%とそれぞれ8割台となっています。

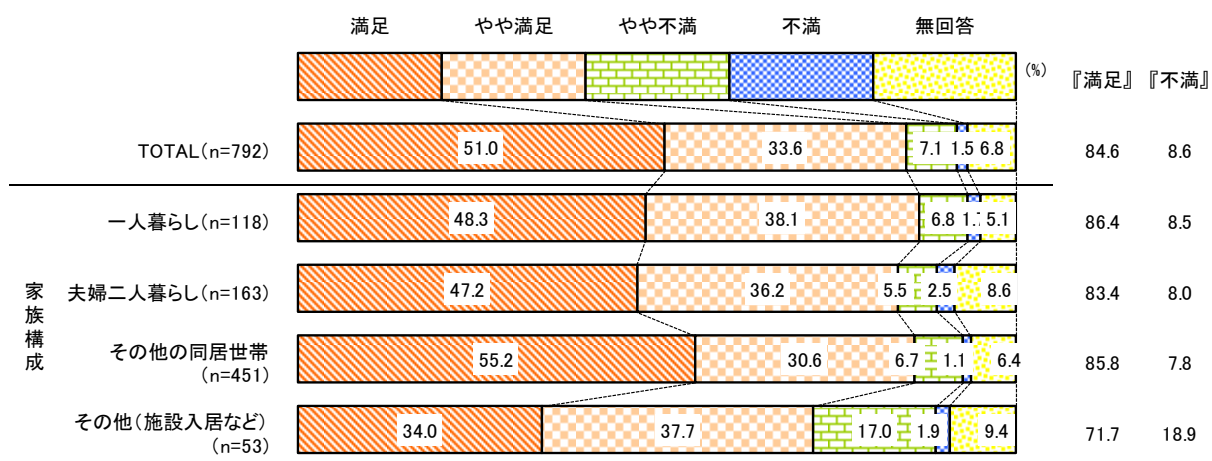
図表 5.33 今までに利用した介護保険サービス提供事業者に対する満足度



第5章 要介護認定者調査結果

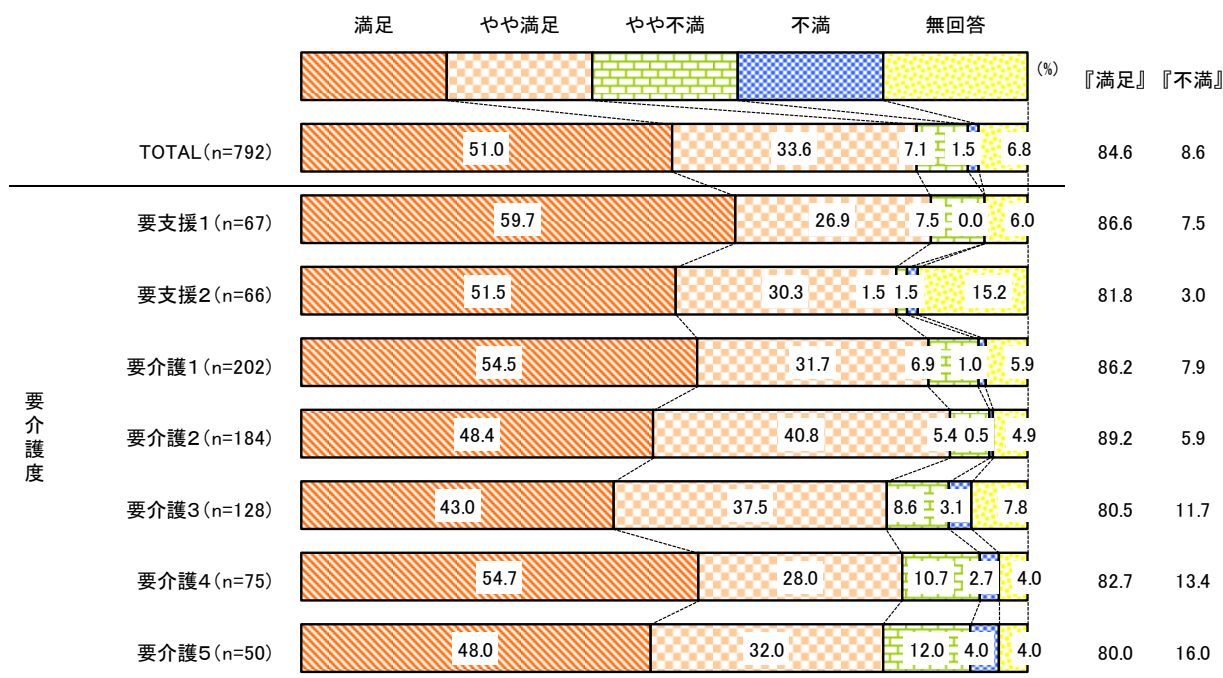
家族構成別では、いずれの家族構成も大きな差はみられませんが、「その他の同居世帯」は、「満足」が55.2%と高くなっています。

図表 5.34 今までに利用した介護保険サービス提供事業者に対する満足度



介護度別では、「要介護2」は「満足」、「やや満足」を合わせた『満足』の割合が89.2%と他の介護度より高くなっています。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合が、介護度が上がるにつれて高くなっています。

図表 5.35 今までに利用した介護保険サービス提供事業者に対する満足度

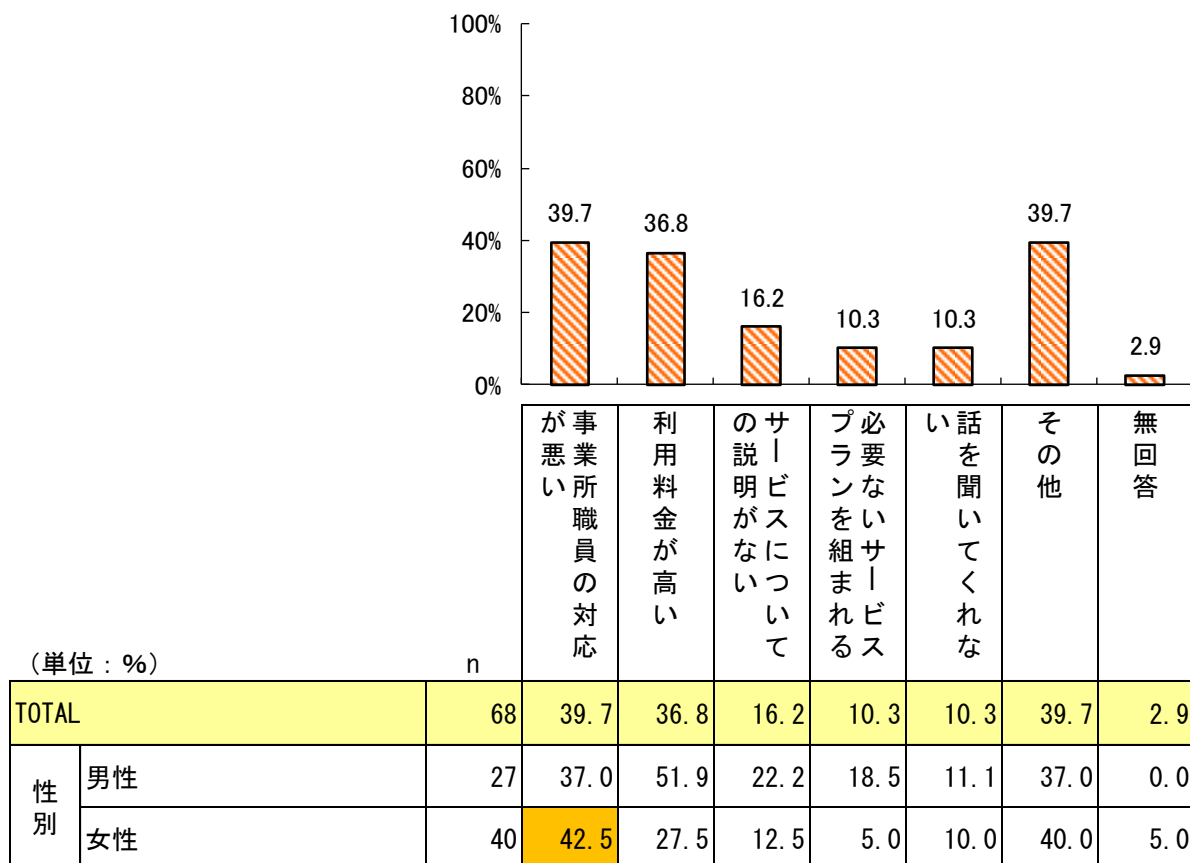


問 9-1 問9で3または4に○をつけた方にうかがいます。具体的にはどのような点に不満をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

利用サービスに「やや不満」、「不満」とする方(68人)について、不満の内容をみると、「事業所職員の対応が悪い」が39.7%と最も多く、次いで「利用料金が高い」が36.8%、「サービスについての説明がない」が16.2%となっています(その他を除く)。

性別では、「女性」は、「事業所職員の対応が悪い」が42.5%で最も多くなっています。

図表 5.36 利用サービスに「やや不満」、「不満」の理由



第5章 要介護認定者調査結果

介護度別に不満の内容をみると、「事業所職員の対応が悪い」が、「要介護3～5」で48.5%と最も多くなっています。

図表 5.37 利用サービスに「やや不満」、「不満」の理由

		n	が事業所職員の対応が悪い	利用料金が高い	の説明がなについて	プ必要なを組まれる	い話を聞いてくれな	その他	無回答
(単位：%)									
TOTAL		68	39.7	36.8	16.2	10.3	10.3	39.7	2.9
(3区分)	要支援1・2	7	14.3	71.4	0.0	28.6	0.0	57.1	0.0
	要介護1・2	27	33.3	37.0	18.5	11.1	14.8	37.0	3.7
	要介護3～5	33	48.5	30.3	18.2	6.1	9.1	39.4	3.0

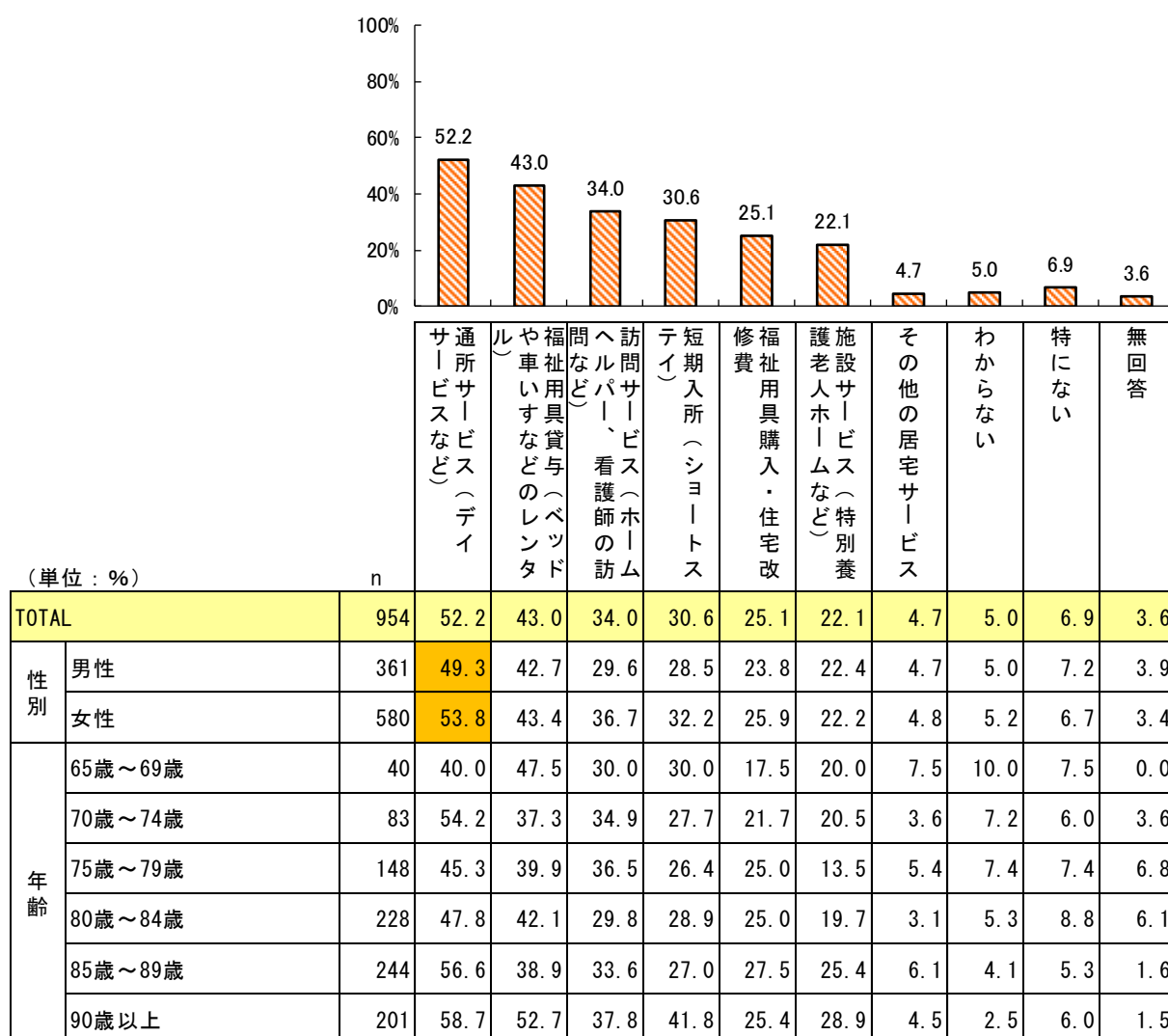
問 10 宛名の御本人様が今後利用したい又は利用し続けたい介護保険サービスはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

今後利用を希望する介護保険サービスについては、「通所サービス（デイサービスなど）」が52.2%で最も多く、次いで「福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）」(43.0%)、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」(34.0%)、「短期入所（ショートステイ）」(30.6%)の順となっています。

性別では、男女とも「通所サービス（デイサービスなど）」が最も多くなっています（「男性」(49.3%)、「女性」(53.8%)）。

年齢別では、高年齢ほど、「通所サービス（デイサービスなど）」や「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」等の利用希望が高い傾向がみられます。

図表 5.38 今後利用を希望する介護保険サービスについて



第5章 要介護認定者調査結果

家族構成別では、「一人暮らし」は「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が51.7%となっています。「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」は、「通所サービス（デイサービスなど）」が5割台と最も多く、また、「その他の同居世帯」で「福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）」が47.1%と他の家族構成より高くなっています。

図表 5.39 今後利用を希望する介護保険サービスについて

		n	通所サービスなど（デイサービス）	福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）	訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）	短期入所（ショートステイ）	福祉用具購入・住宅改修費	施設老人ホームなど（特別養護老人ホームなど）	その他の居宅サービス	わからない	特になし	無回答
(単位：%)												
TOTAL		954	52.2	43.0	34.0	30.6	25.1	22.1	4.7	5.0	6.9	3.6
家族構成	一人暮らし	143	47.6	33.6	51.7	17.5	25.2	15.4	4.9	4.9	10.5	1.4
	夫婦二人暮らし	199	52.8	45.7	35.2	28.1	26.6	17.1	4.5	6.0	6.0	4.5
	その他の同居世帯	537	57.5	47.1	31.1	37.2	26.3	21.2	5.0	4.7	5.8	3.4
	その他（施設入居など）	65	15.4	23.1	15.4	12.3	10.8	61.5	3.1	6.2	12.3	6.2

介護度別では、「要支援1」～「要介護3」は「通所サービス（デイサービスなど）」が最も多くなっています。「要介護4」、「要介護5」は、「福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）」が最も多くなっています。

図表 5.40 今後利用を希望する介護保険サービスについて

		n	通所サービスなど（デイサービス）	福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）	訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）	短期入所（ショートステイ）	福祉用具購入・住宅改修費	施設老人ホームなど（特別養護老人ホームなど）	その他の居宅サービス	わからない	特になし	無回答
(単位：%)												
TOTAL		954	52.2	43.0	34.0	30.6	25.1	22.1	4.7	5.0	6.9	3.6
要介護度	要支援1	102	39.2	24.5	20.6	14.7	15.7	6.9	3.9	7.8	14.7	5.9
	要支援2	94	42.6	38.3	34.0	13.8	21.3	14.9	6.4	9.6	7.4	4.3
	要介護1	232	59.5	44.8	37.1	30.6	28.0	20.3	5.2	3.9	6.9	0.4
	要介護2	201	63.2	44.3	33.8	37.8	24.9	24.4	2.5	3.5	4.0	2.5
	要介護3	142	54.2	50.7	37.3	45.1	32.4	31.7	5.6	4.9	5.6	2.8
	要介護4	82	43.9	54.9	35.4	31.7	28.0	30.5	4.9	4.9	3.7	4.9
	要介護5	63	34.9	44.4	42.9	34.9	19.0	33.3	7.9	4.8	4.8	9.5

介護が必要となった主な原因別では、いずれも「通所サービス（デイサービスなど）」が最も多くなっています。次いで、「福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）」がおおむね多くなっています（「認知症（アルツハイマー病等）」の原因を除く）。

図表 5.41 今後利用を希望する介護保険サービスについて

		n	通所サービス（デイサービスなど）	福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）	訪問サービス（ヘルパー、看護師の訪問など）	短期入所（ショートステイ）	福祉用具購入・住宅改修費	施設老人ホームなど（特別養護老人ホームなど）	その他の居宅サービス	わからない	特にない	無回答
(単位：%)												
TOTAL		954	52.2	43.0	34.0	30.6	25.1	22.1	4.7	5.0	6.9	3.6
介護が必要となった主な原因	脳卒中（脳出血・脳こうそく等）	177	58.2	52.0	32.2	33.9	23.2	21.5	4.0	5.1	6.2	2.3
	心臓病	90	53.3	45.6	38.9	27.8	21.1	23.3	6.7	1.1	8.9	2.2
	がん（悪性新生物）	59	54.2	49.2	44.1	42.4	33.9	23.7	5.1	5.1	6.8	0.0
	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	48	50.0	37.5	33.3	31.3	35.4	16.7	8.3	8.3	4.2	2.1
	関節の病気（リウマチ等）	69	47.8	47.8	40.6	26.1	37.7	18.8	8.7	5.8	7.2	1.4
	認知症（アルツハイマー病等）	214	62.6	34.6	30.4	44.9	22.9	39.7	4.2	6.1	2.3	2.8
	パーキンソン病	47	53.2	48.9	44.7	31.9	36.2	23.4	8.5	0.0	8.5	8.5
	糖尿病	85	55.3	48.2	41.2	30.6	23.5	27.1	8.2	4.7	4.7	2.4
	視覚・聴覚障害	55	52.7	41.8	38.2	32.7	34.5	27.3	5.5	5.5	3.6	3.6
	骨折・転倒	211	56.9	49.3	34.6	28.9	28.9	25.1	6.2	5.2	3.3	3.8
	脊椎損傷	75	50.7	42.7	34.7	21.3	22.7	9.3	6.7	6.7	6.7	1.3
	高齢による衰弱	205	57.6	48.3	41.0	35.6	27.3	26.8	2.4	2.4	6.3	3.9
	その他	133	41.4	42.9	33.8	21.8	28.6	18.0	8.3	6.8	8.3	2.3
わからない	13	38.5	30.8	15.4	23.1	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	15.4	

第5章 要介護認定者調査結果

保険料段階別では、「通所サービス（デイサービスなど）」と「福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）」がおおむね多くなっています（「第六段階」では、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」も多い）。

図表 5.42 今後利用を希望する介護保険サービスについて

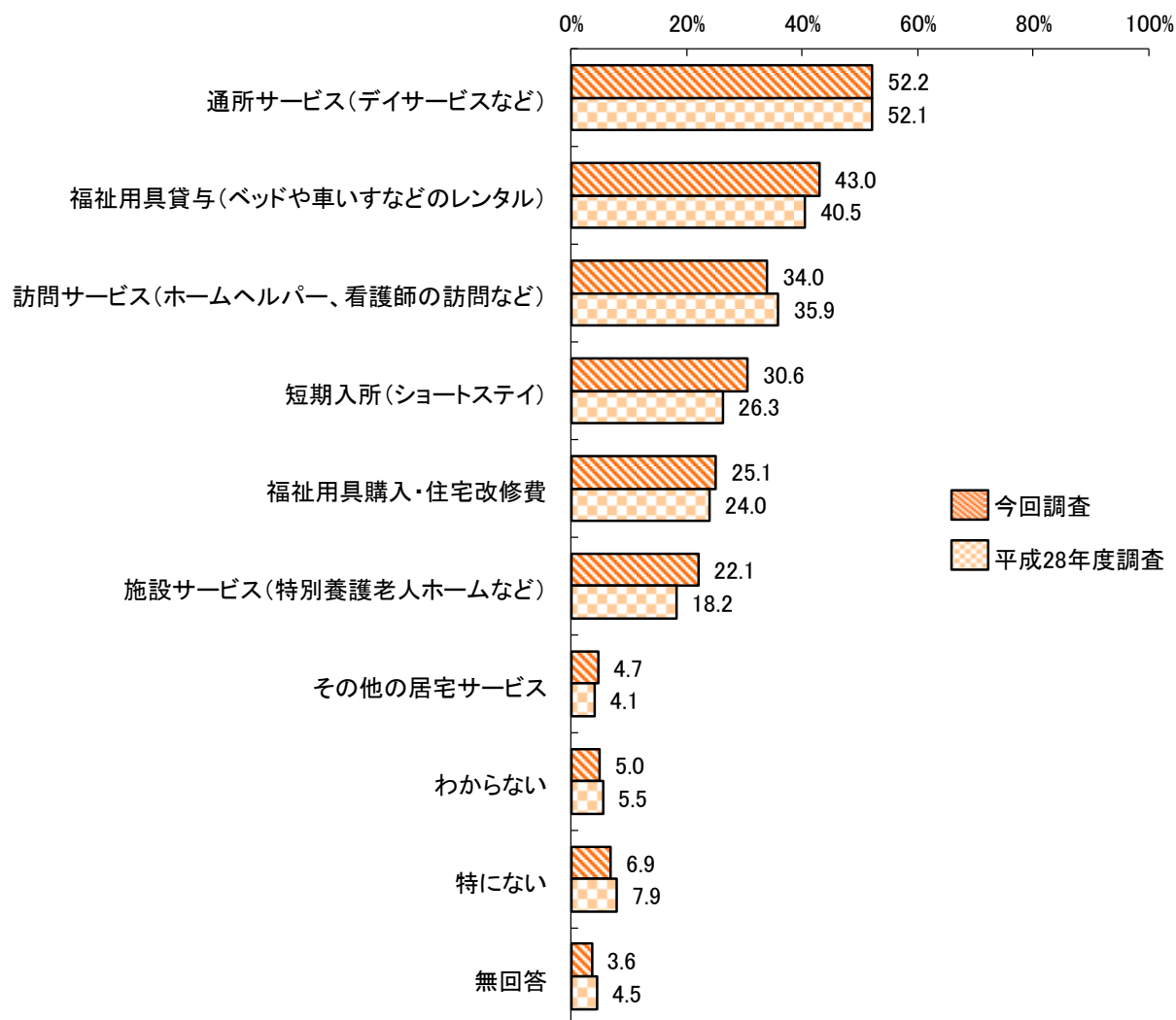
		n	通所サービス（デイサービスなど）	福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）	訪問サービス（ヘルパー、看護師の訪問など）	短期入所（ショートステイ）	福祉用具購入・住宅改修費	施設老人ホームなど（特別養護老人ホームなど）	その他の居宅サービス	わからない	特にない	無回答
(単位：%)												
TOTAL		954	52.2	43.0	34.0	30.6	25.1	22.1	4.7	5.0	6.9	3.6
介護保険料段階	第一段階(年額23,747円)	107	51.4	42.1	30.8	32.7	25.2	20.6	5.6	5.6	7.5	2.8
	第二段階(年額31,979円)	74	43.2	37.8	35.1	25.7	25.7	25.7	6.8	9.5	6.8	1.4
	第三段階(年額45,910円)	71	50.7	50.7	35.2	32.4	29.6	28.2	8.5	2.8	4.2	4.2
	第四段階(年額56,992円)	121	62.8	53.7	33.9	43.8	30.6	24.8	3.3	2.5	4.1	4.1
	第五段階(年額63,324円)	68	45.6	55.9	35.3	26.5	25.0	29.4	4.4	8.8	5.9	0.0
	第六段階(年額75,989円)	45	48.9	35.6	35.6	24.4	17.8	24.4	0.0	6.7	11.1	4.4
	第七段階(年額82,322円)	40	60.0	50.0	47.5	30.0	30.0	20.0	2.5	2.5	7.5	0.0
	第八段階(年額85,488円)	59	61.0	45.8	33.9	42.4	27.1	23.7	5.1	5.1	5.1	3.4
	第九段階(年額101,319円)	65	58.5	44.6	32.3	32.3	24.6	21.5	1.5	1.5	9.2	0.0
	第十段階(年額107,651円)	23	47.8	52.2	21.7	17.4	8.7	21.7	0.0	8.7	4.3	0.0
	第十一段階(年額120,316円)	4	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	第十二段階(年額132,981円)	9	55.6	33.3	22.2	33.3	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0
	第十三段階(年額145,646円)	5	20.0	40.0	40.0	60.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	第十四段階(年額158,310円)	2	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「通所サービス(デイサービスなど)」は前回とほぼ同じ割合となっています。「福祉用具貸与(ベッドや車いすなどのレンタル)」、「短期入所(ショートステイ)」、「福祉用具購入・住宅改修費」、「施設サービス(特別養護老人ホームなど)」、「その他の居宅サービス」は、前回よりやや増えています。

一方、「訪問サービス(ホームヘルパー、看護師の訪問など)」は、前回よりやや少なくなっています。

図表 5.43 今後利用を希望する介護保険サービスについて

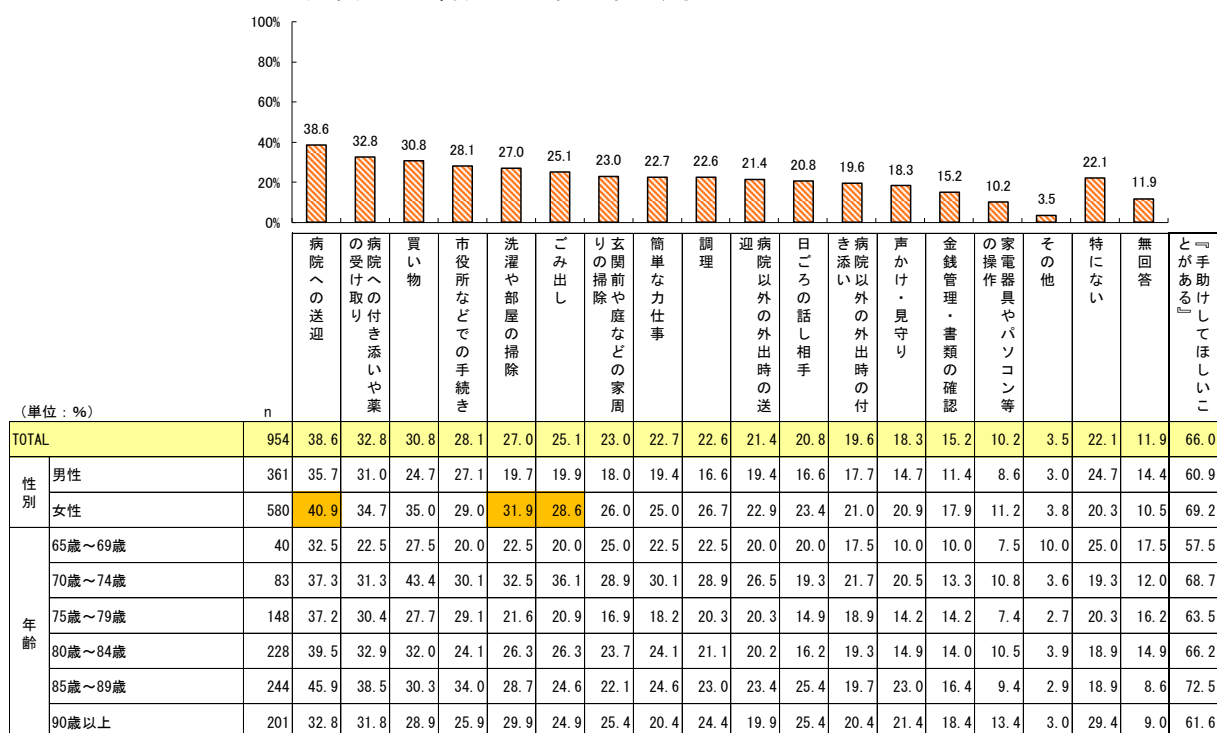


問 11 宛名の御本人様が普段の生活の中で、手助けしてほしいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

普段の生活の中で、手助けしてほしいことについては、『手助けしてほしいことがある』（「特にない」「無回答」を除く合計）は66.0%となっています。具体的には、「病院への送迎」が38.6%で最も多く、次いで「病院への付き添いや薬の受け取り」が32.8%、「買い物」が30.8%、「市役所などでの手続き」が28.1%といずれも約3割となっています。

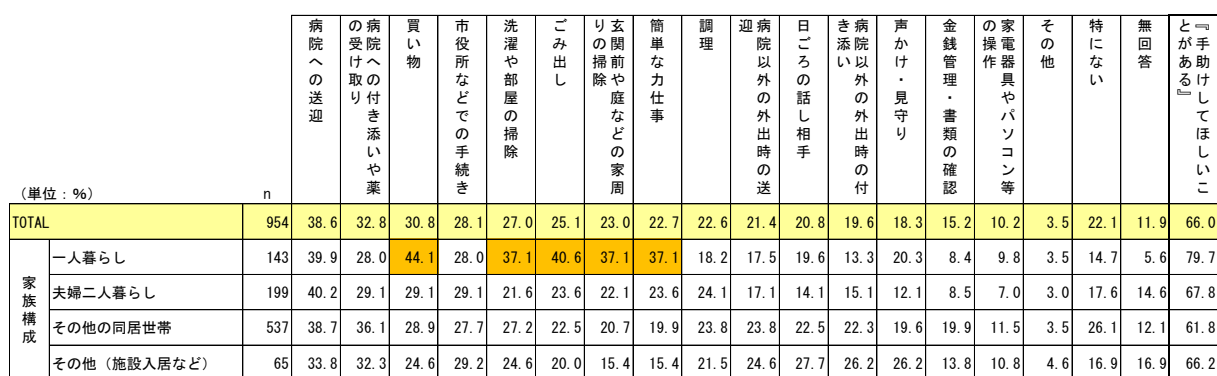
性別では、「女性」は、「病院への送迎」（40.9%）、「洗濯や部屋の掃除」（31.9%）、「ごみ出し」（28.6%）など、「男性」に比べて手助けしてほしい項目が多岐にわたっています。

図表 5.44 普段の生活の中で、手助けしてほしいこと



家族構成別では、「一人暮らし」は手助けしてほしい項目が多く、「買い物」（44.1%）、「ごみ出し」（40.6%）、「洗濯や部屋の掃除」、「玄関前や庭などの家周りの掃除」、「簡単な力仕事」（いずれも37.1%）などが、他の家族構成と比べて高くなっています。

図表 5.45 普段の生活の中で、手助けしてほしいこと



介護度別では、いずれの介護度も「病院への送迎」が最も多くなっています。

図表 5.46 普段の生活の中で、手助けしてほしいこと

(単位：%)		n	病院への送迎	病院への受け取り	病院への付き添いや薬の受け取り	買い物	市役所などでの手続き	洗濯や部屋の掃除	ごみ出し	玄関前や庭などの家周りの掃除	簡単な力仕事	調理	迎	病院以外の外出時の送	日ごろの話し相手	病室以外での外出時の付き添い	声かけ・見守り	金銭管理・書類の確認	家電器具やパソコン等の操作	その他	特になし	無回答	『手助けしてほしいことがある』
TOTAL		954	38.6	32.8	30.8	28.1	27.0	25.1	23.0	22.7	22.6	21.4	20.8	19.6	18.3	15.2	10.2	3.5	22.1	11.9	66.0		
要介護度	要支援 1	102	25.5	15.7	21.6	16.7	16.7	16.7	18.6	17.6	9.8	9.8	10.8	6.9	7.8	5.9	12.7	2.9	27.5	13.7	58.8		
	要支援 2	94	37.2	25.5	35.1	26.6	24.5	22.3	21.3	24.5	18.1	23.4	14.9	19.1	10.6	11.7	7.4	0.0	25.5	12.8	61.7		
	要介護 1	232	40.1	38.8	38.4	30.6	32.3	28.9	23.3	24.6	26.3	22.4	25.0	20.7	19.8	19.4	12.1	3.9	20.7	6.9	72.4		
	要介護 2	201	41.8	36.8	30.8	30.3	30.3	26.4	25.4	27.4	23.9	23.9	19.4	25.4	21.4	17.4	11.4	6.0	20.4	11.9	67.7		
	要介護 3	142	45.1	40.1	30.3	33.8	30.3	32.4	30.3	25.4	30.3	26.1	22.5	21.8	23.2	15.5	9.2	0.7	22.5	7.7	69.8		
	要介護 4	82	37.8	28.0	31.7	25.6	22.0	24.4	20.7	19.5	28.0	19.5	29.3	19.5	23.2	18.3	9.8	4.9	15.9	19.5	64.6		
要介護 5	63	41.3	34.9	22.2	28.6	22.2	15.9	15.9	12.7	17.5	23.8	23.8	20.6	22.2	15.9	6.3	4.8	20.6	23.8	55.6			

中心介護者の続柄別では、いずれも「病院への送迎」、「病院への付き添いや薬の受け取り」がおおむね多くなっています。

図表 5.47 普段の生活の中で、手助けしてほしいこと

(単位：%)		n	病院への送迎	病院への受け取り	病院への付き添いや薬の受け取り	買い物	市役所などでの手続き	洗濯や部屋の掃除	ごみ出し	玄関前や庭などの家周りの掃除	簡単な力仕事	調理	迎	病院以外の外出時の送	日ごろの話し相手	病室以外での外出時の付き添い	声かけ・見守り	金銭管理・書類の確認	家電器具やパソコン等の操作	その他	特になし	無回答	『手助けしてほしいことがある』
TOTAL		954	38.6	32.8	30.8	28.1	27.0	25.1	23.0	22.7	22.6	21.4	20.8	19.6	18.3	15.2	10.2	3.5	22.1	11.9	66.0		
中心介護者	配偶者（夫・妻）	320	34.4	29.1	24.4	25.3	19.4	21.3	19.7	19.1	18.4	17.5	13.8	16.6	11.6	10.0	5.6	4.4	23.4	15.6	61.0		
	息子	152	46.1	39.5	32.2	27.6	32.2	30.9	24.3	21.7	30.3	24.3	22.4	18.4	18.4	18.4	11.8	2.6	22.4	7.9	69.7		
	娘	242	43.0	37.6	36.8	34.7	34.7	29.3	25.6	27.3	27.7	28.5	28.1	26.4	25.6	21.9	15.3	3.3	19.8	9.5	70.7		
	息子・娘の配偶者	97	39.2	38.1	37.1	29.9	30.9	20.6	26.8	27.8	24.7	26.8	24.7	23.7	20.6	20.6	19.6	2.1	24.7	11.3	64.0		
	孫	7	42.9	57.1	28.6	57.1	57.1	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	85.7		
	兄弟・姉妹	18	50.0	44.4	50.0	27.8	22.2	38.9	16.7	22.2	27.8	11.1	11.1	27.8	11.1	5.6	0.0	0.0	11.1	11.1	77.8		
	介護サービスのヘルパー	22	54.5	40.9	59.1	36.4	31.8	50.0	50.0	36.4	27.3	31.8	27.3	22.7	18.2	18.2	9.1	4.5	4.5	18.2	77.3		
	施設等の職員	22	31.8	36.4	27.3	36.4	27.3	18.2	9.1	22.7	18.2	27.3	31.8	36.4	40.9	22.7	4.5	4.5	22.7	9.1	68.2		
	その他	9	33.3	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	55.6	0.0	44.4		
	介護している人はいない	14	42.9	28.6	50.0	35.7	42.9	28.6	28.6	50.0	7.1	21.4	28.6	14.3	28.6	0.0	7.1	0.0	21.4	0.0	78.6		

(3) 医療について

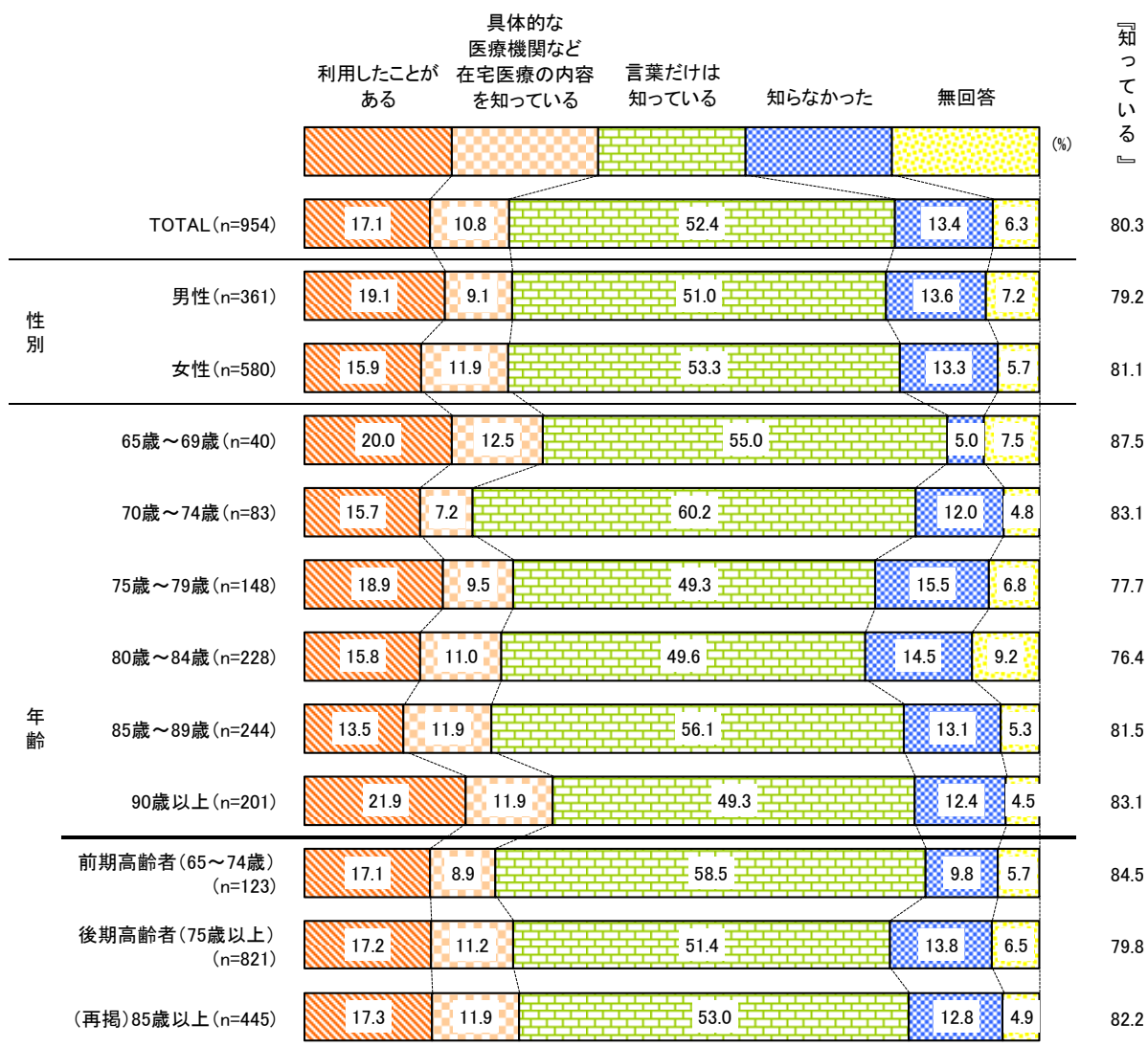
問12 宛名の御本人様は在宅医療について知っていますか。(ひとつだけ〇)

在宅医療の認知状況については、「利用したことがある」(17.1%)、「具体的な医療機関など在宅医療の内容を知っている」(10.8%)を合わせた『在宅医療の内容を知っている』割合は27.9%となっています。さらに、「言葉だけは知っている」(52.4%)を合わせると、『在宅医療を知っている』割合は80.3%となっています。

性別では大きな違いはみられません。

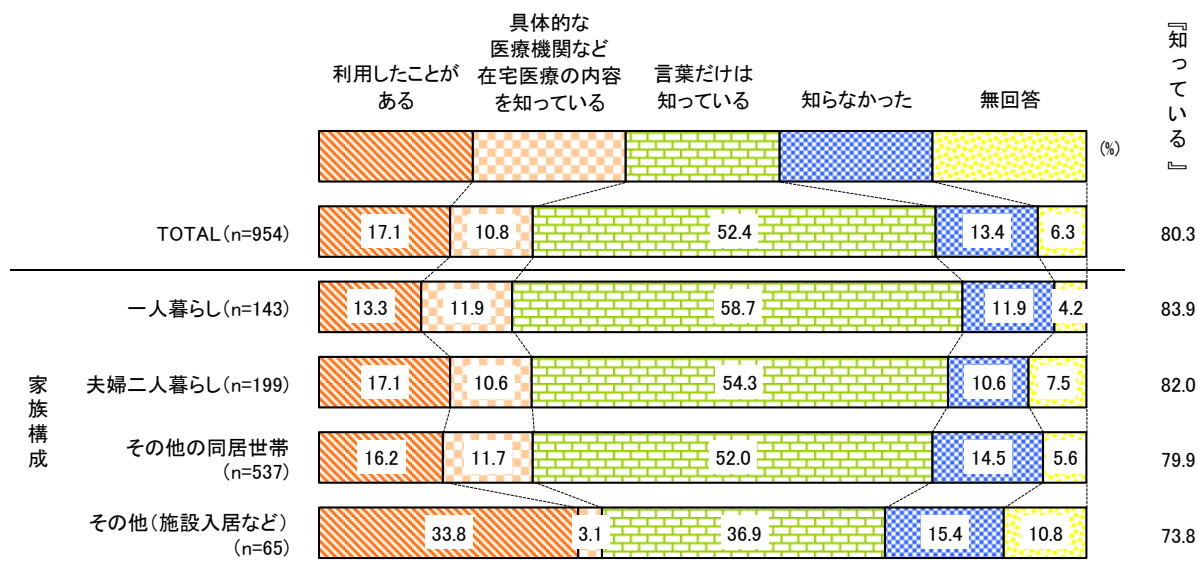
年齢別では、「90歳以上」では、「利用したことがある」(21.9%)、「具体的な医療機関など在宅医療の内容を知っている」(11.9%)を合わせて『在宅医療を知っている』割合は33.8%と他の年齢より高くなっています。

図表 5.48 在宅医療の認知状況



家族構成別では、「一人暮らし」、「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」において、「利用したことがある」、「具体的な医療機関など在宅医療の内容を知っている」、「言葉だけは知っている」を合わせて『在宅医療を知っている』割合は、「一人暮らし」で83.9%、「夫婦二人暮らし」で82.0%、「その他の同居世帯」で79.9%となっています。

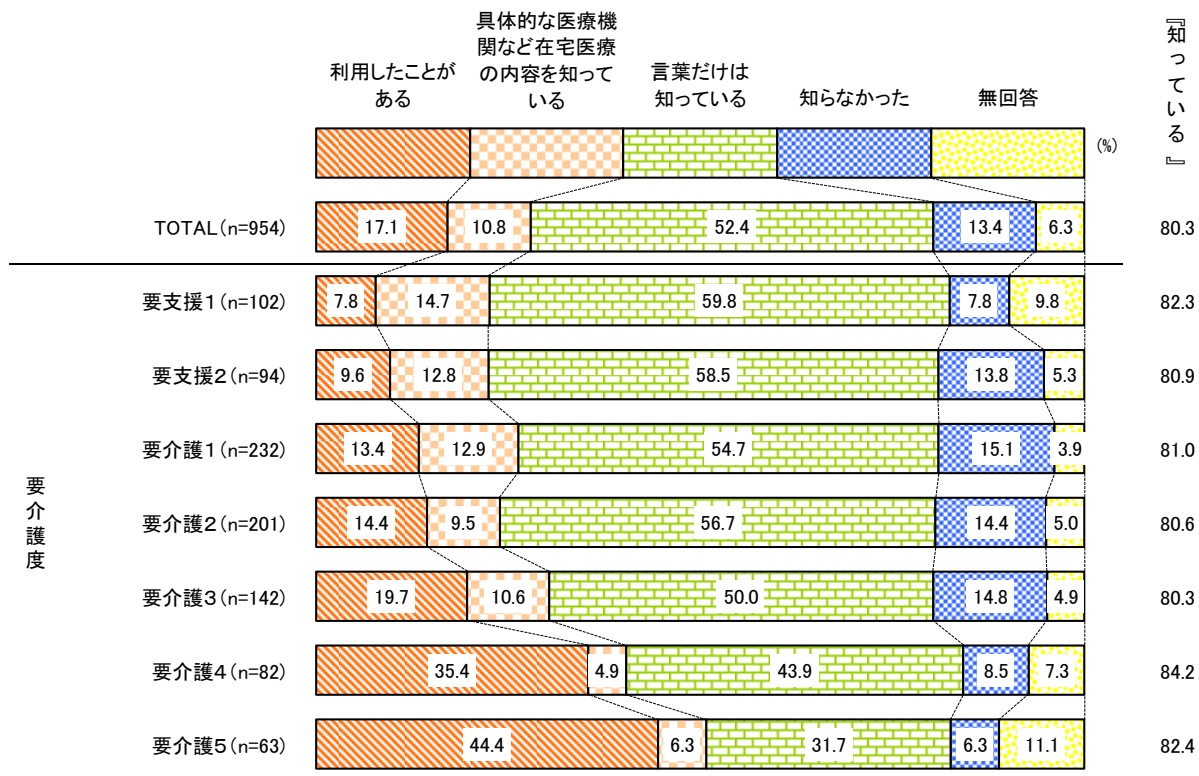
図表 5.49 在宅医療の認知状況



第5章 要介護認定者調査結果

介護度別では、「要介護4」、「要介護5」において、「利用したことがある」は、「要介護4」で35.4%、「要介護5」で44.4%と介護度が上がるにつれて「利用したことがある」が高くなる傾向にあります。

図表 5.50 在宅医療の認知状況

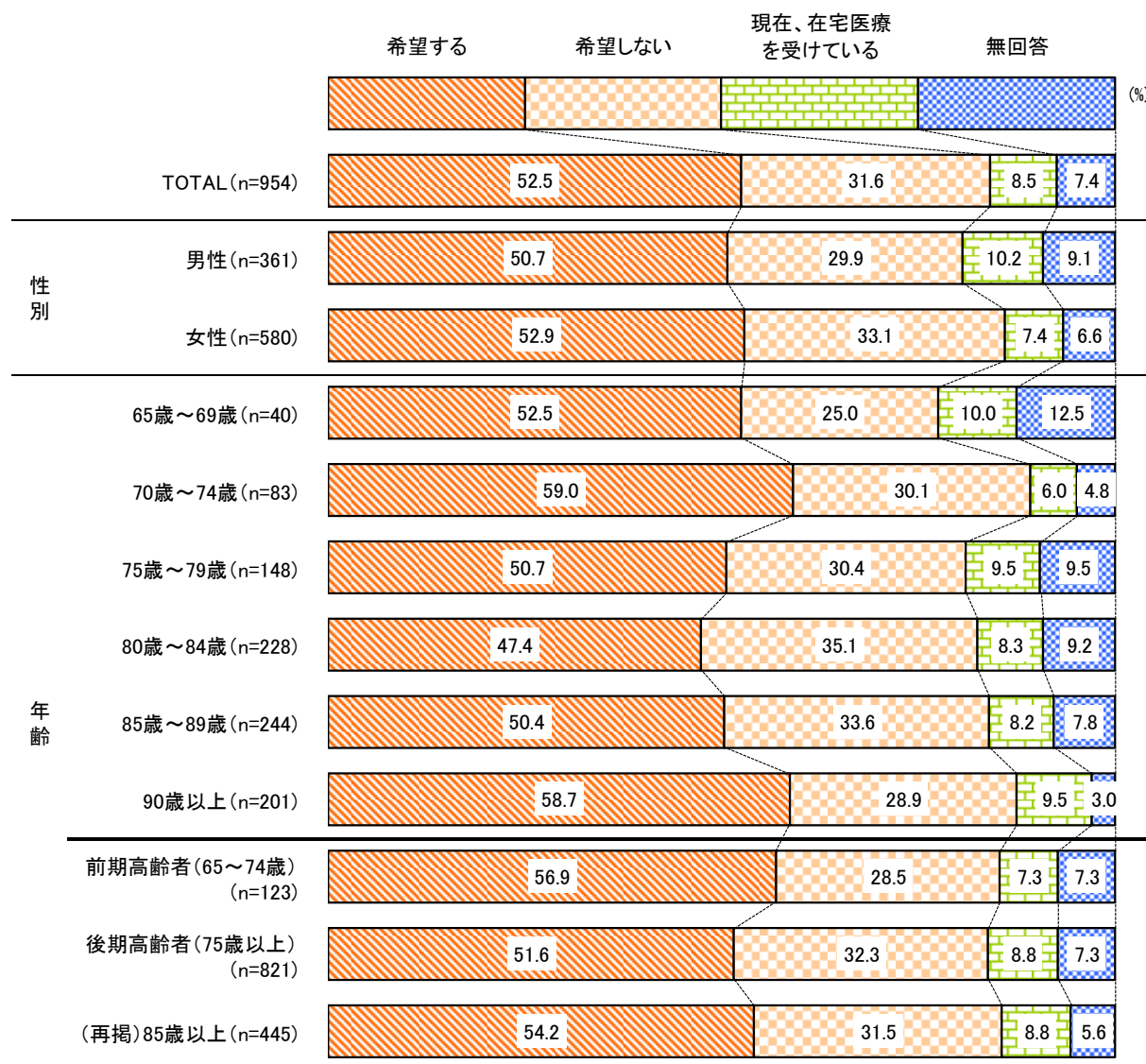


問13 宛名の御本人様は脳卒中の後遺症やがんなどで、長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望しますか。(ひとつだけ〇)

在宅医療の希望については、「希望する」(52.5%)、「現在、在宅医療を受けている」(8.5%)を合わせて、6割(61.0%)は在宅医療への意向があることがわかります。

年齢別では、「70歳～74歳」は在宅医療の利用を「希望する」が59.0%、「80歳～84歳」は「希望しない」が35.1%と他の年齢より高くなっています。

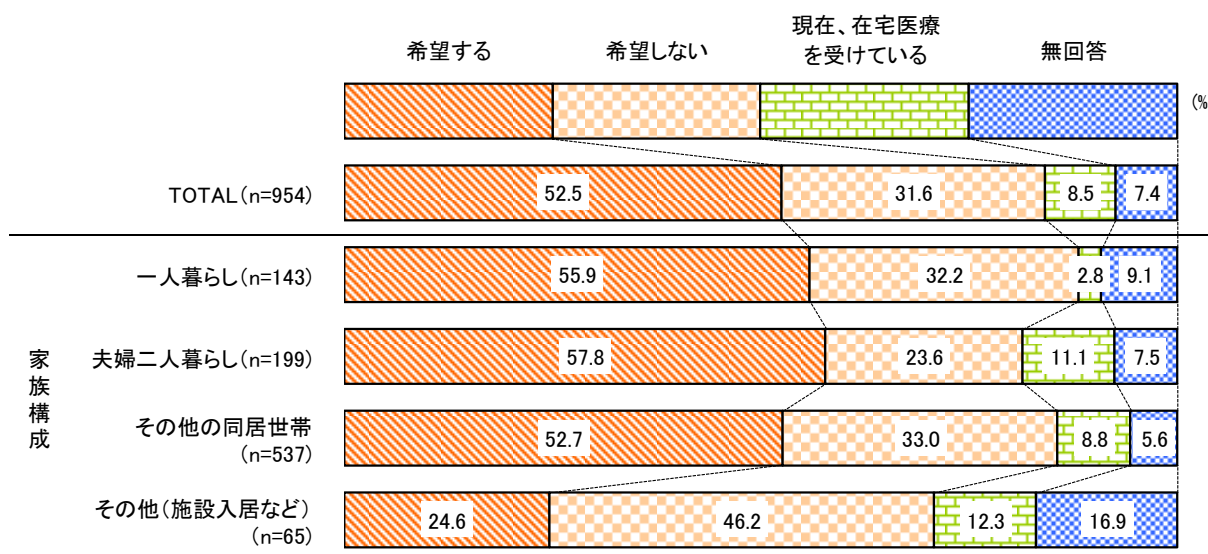
図表 5.51 在宅医療の希望



第5章 要介護認定者調査結果

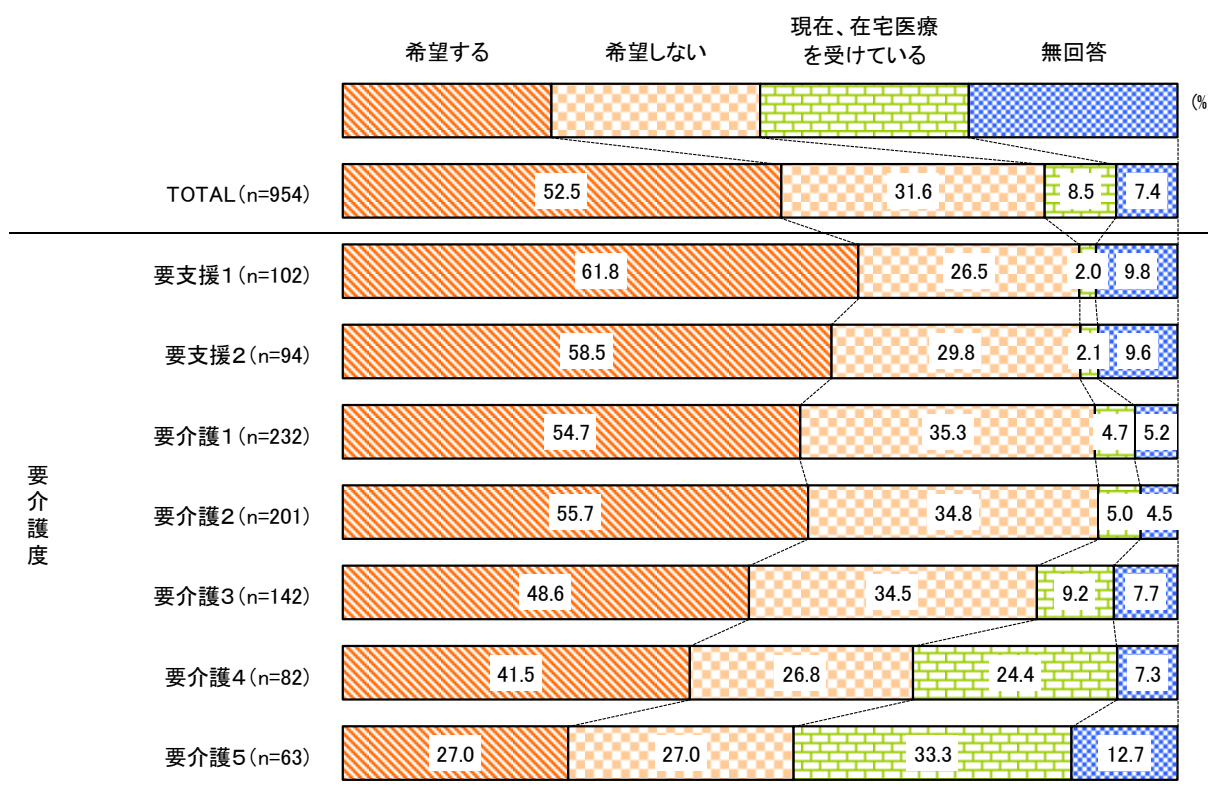
家族構成別では、「一人暮らし」、「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」はいずれも「希望する」が5割台と最も多くなっています。

図表 5.52 在宅医療の希望



介護度別では、介護度が低いほど「希望する」割合が高い傾向があり、「要支援1」では61.8%となっています。一方、「現在、在宅医療を受けている」割合は介護度が上がるほど高く、「要介護5」では33.3%となっています。

図表 5.53 在宅医療の希望



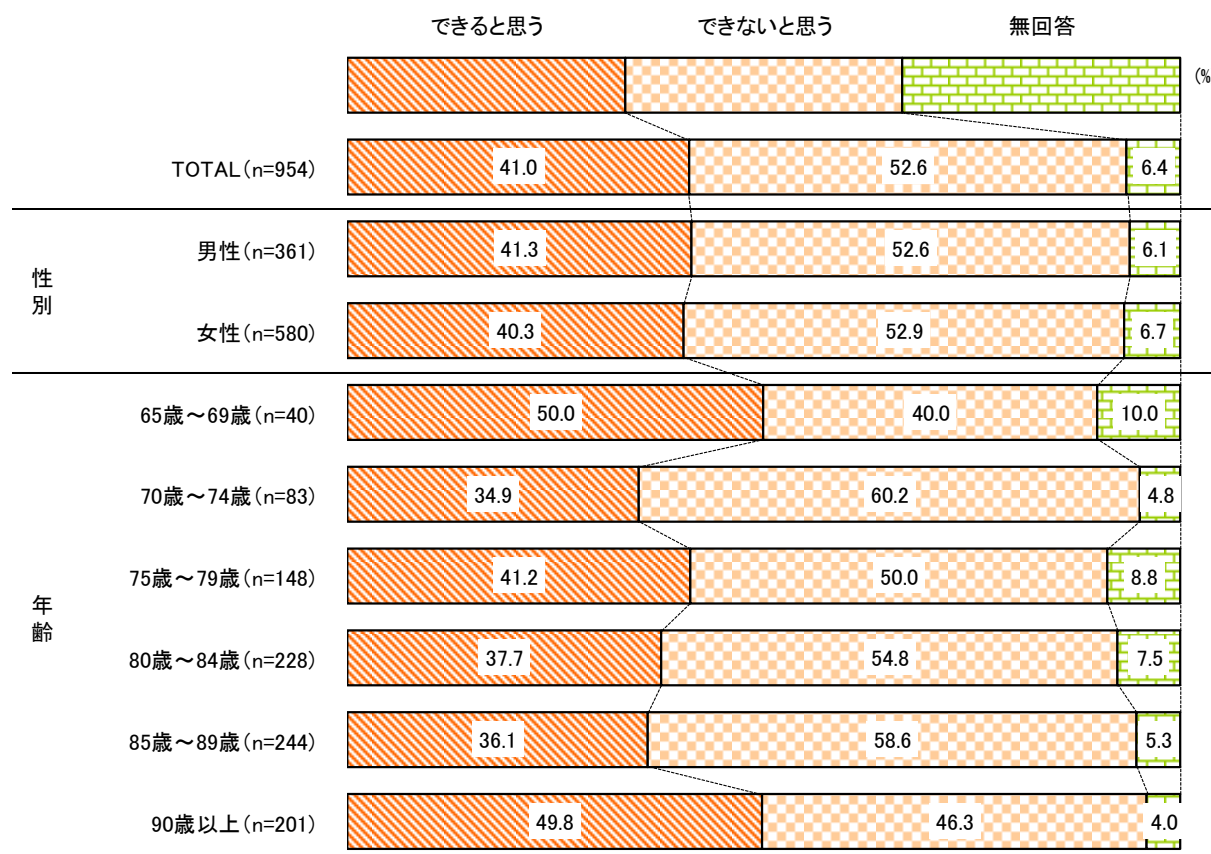
問 14 宛名の御本人様は在宅医療を利用して在宅生活を続けていくことができますか。
(ひとつだけ〇)

在宅医療を利用した在宅生活の継続可能性は、「できると思う」が41.0%に対し、「できないと思う」が52.6%と、在宅生活継続が可能とする回答を約10ポイント上回っています。

性別では、大きな違いはみられません。

年齢別では、「65歳～69歳」と「90歳以上」で「できると思う」が約半数で他の年齢より10ポイント以上高くなっています。

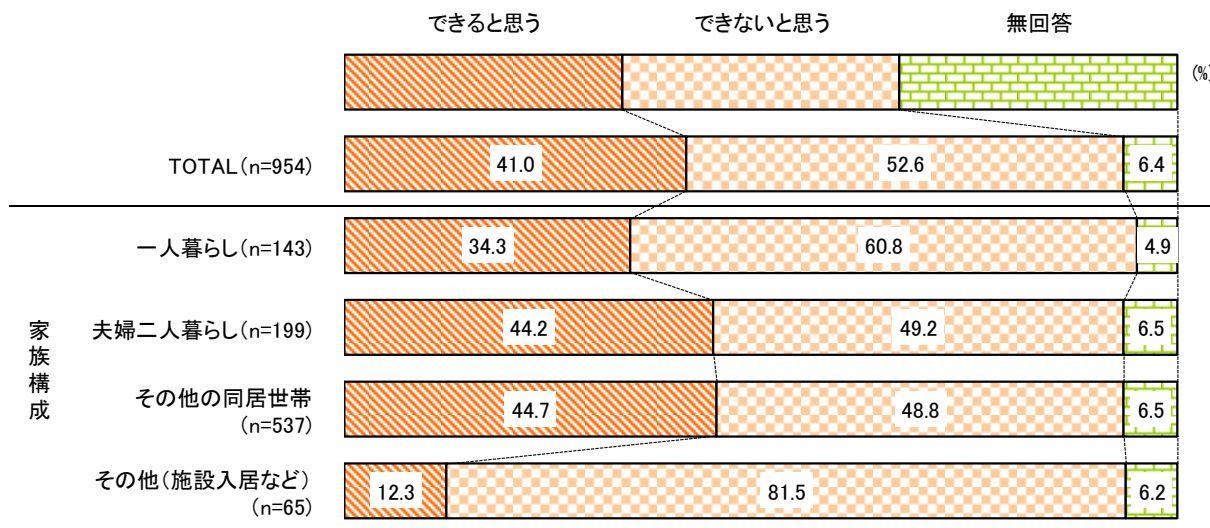
図表 5.54 在宅医療を利用した在宅生活の継続可能性



第5章 要介護認定者調査結果

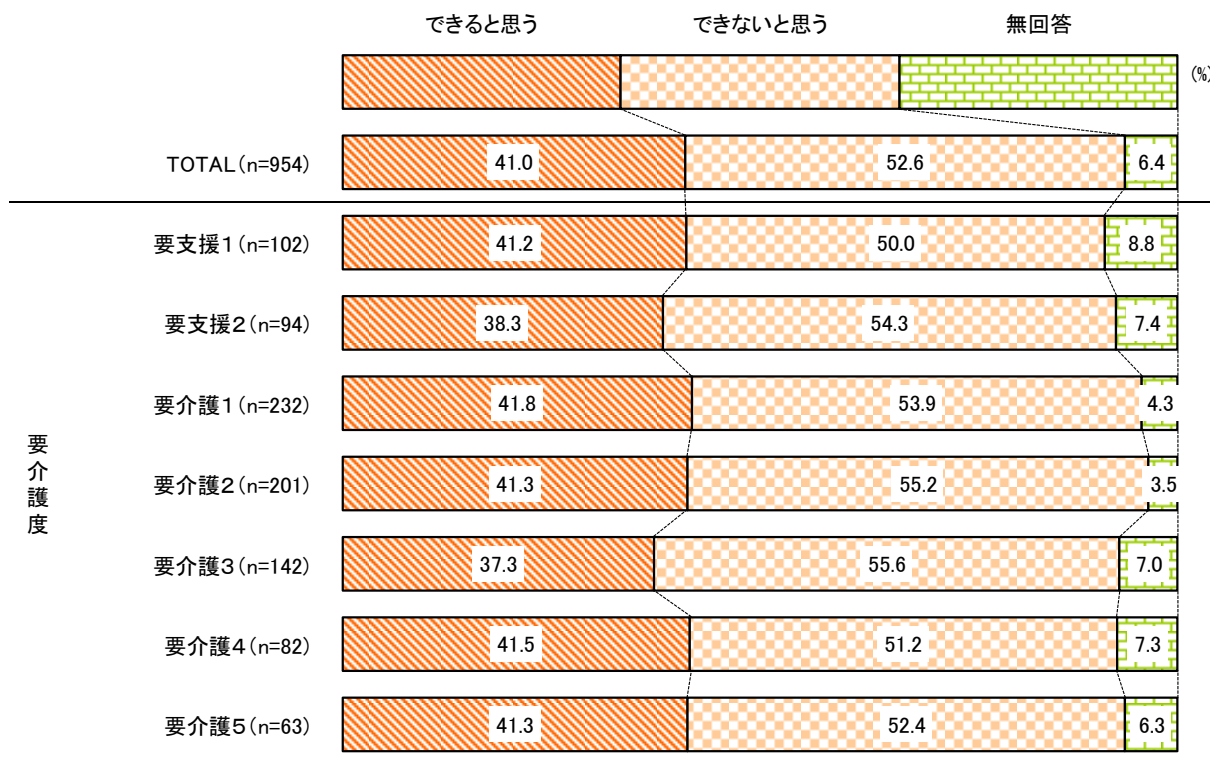
家族構成別では、「できないと思う」は、「その他（施設入居など）」が 81.5%、「一人暮らし」が 60.8%と他の家族構成に比べて高くなっています。

図表 5.55 在宅医療を利用した在宅生活の継続可能性



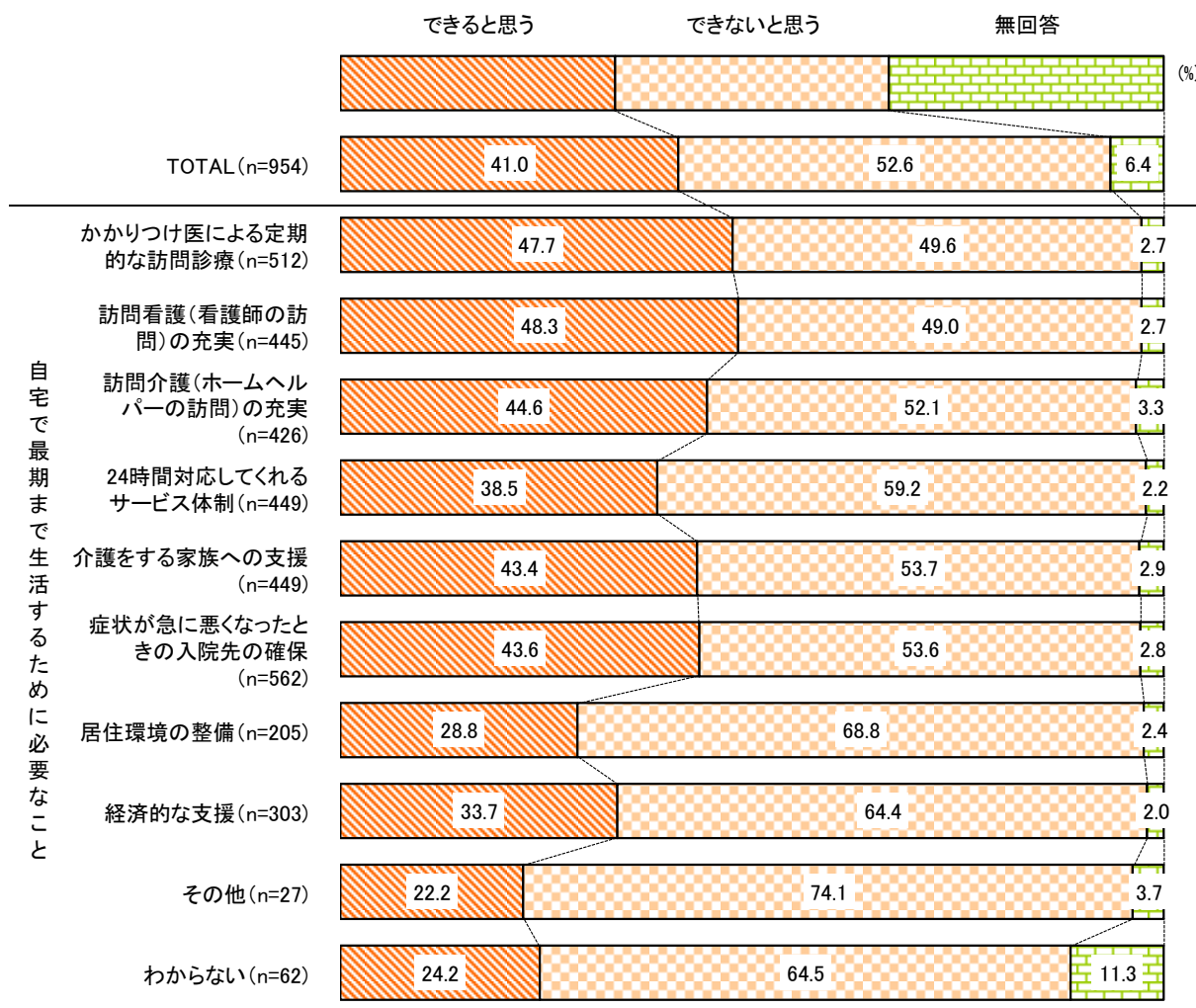
介護度別では、いずれの介護度においても、「できないと思う」が半数を超えています。

図表 5.56 在宅医療を利用した在宅生活の継続可能性



「自宅で最期まで生活するために必要なこと」への回答別では、「できると思う」が「訪問看護（看護師の訪問）の充実」で48.3%、「かかりつけ医による定期的な訪問診療」で47.7%と他のサービス等を回答した方に比べて高くなっています。

図表 5.57 在宅医療を利用した在宅生活の継続可能性



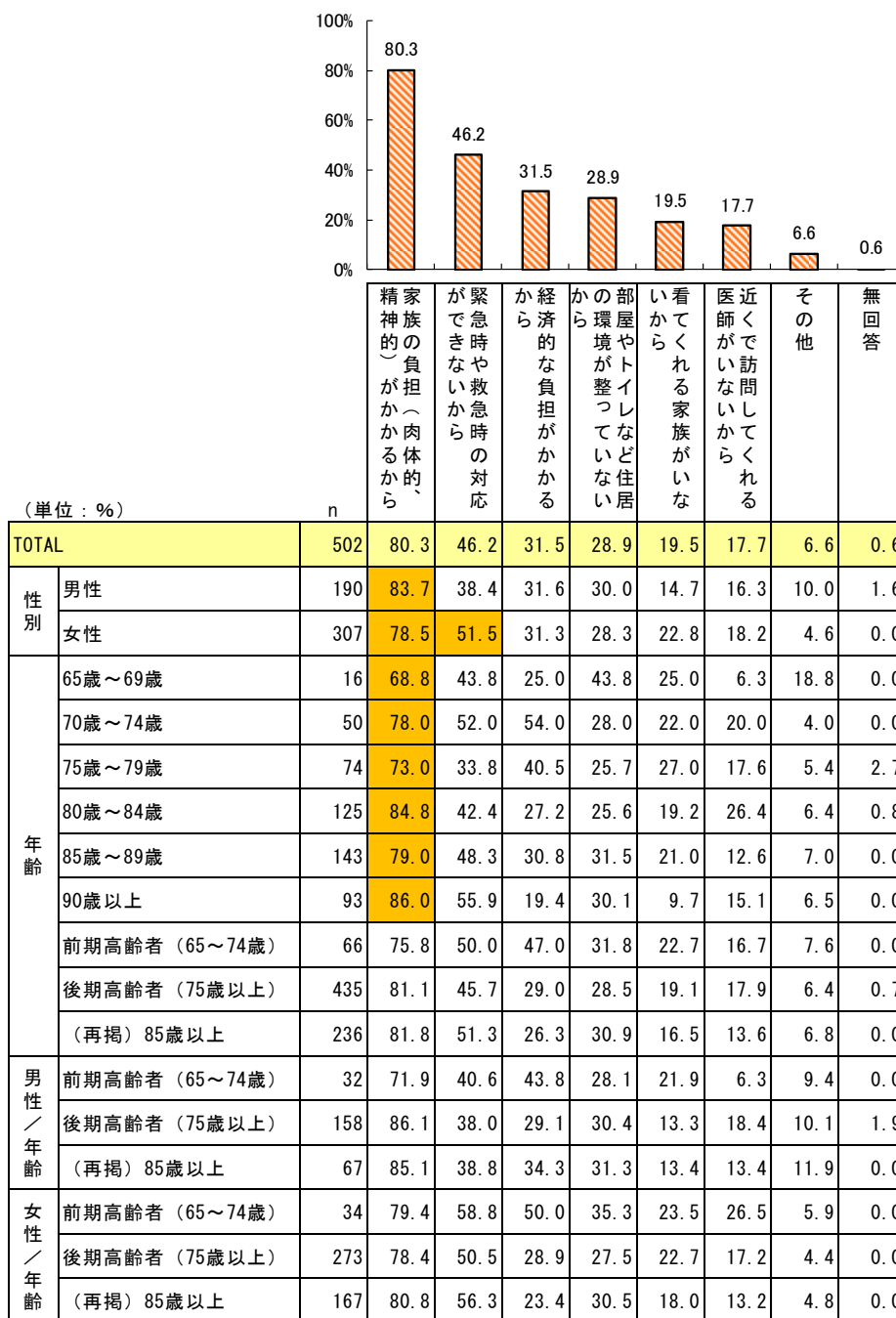
問 14-1 問 14 で 2 に ○ を つ け た 方 に う か が い ま す 。 で き な い と 思 う 理 由 は ど の よ う な こ と で す か 。 (あ て は ま る も の す べ て に ○)

在宅医療を利用した在宅生活の継続ができないと思う方（502人）についてその理由をみると、「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」が80.3%で最も多く、次いで「緊急時や救急時の対応ができないから」が46.2%、「経済的な負担がかかるから」が31.5%で続いています。

性別では、「男性」、「女性」ともに、「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」が最も多くなっています。次いで「女性」は「緊急時や救急時の対応ができないから」が51.5%となっており、「男性」の38.4%を10ポイント以上、上回っています。

年齢別では、「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」が最も多くなっています。

図表 5.58 在宅医療を利用した在宅生活の継続ができないと思う理由



家族構成別では、いずれも「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」が最も多くなっています。また、「一人暮らし」は「見てくれる家族がいないから」と「緊急時や救急時の対応ができないから」がそれぞれ52.9%と他の家族構成よりも高くなっています。

図表 5.59 在宅医療を利用した在宅生活の継続ができないと思う理由

		(単位：%)	n	精家 神族 的の 負 担 が か か る か ら	が 緊 急 時 や 救 急 時 の 対 応	か 経 済 的 な 負 担 が か か る	か の 部 屋 や ト イ レ な ど 住 居 の 環 境 が 整 っ て い な い	い 看 て く れ る 家 族 が い な	医 近 師 が で 訪 問 し て く れ る	そ の 他	無 回 答
TOTAL			502	80.3	46.2	31.5	28.9	19.5	17.7	6.6	0.6
家 族 構 成	一人暮らし		87	60.9	52.9	35.6	25.3	52.9	18.4	6.9	0.0
	夫婦二人暮らし		98	83.7	40.8	37.8	20.4	18.4	23.5	5.1	1.0
	その他の同居世帯		262	88.5	43.1	30.2	31.3	10.3	15.6	5.3	0.8
	その他（施設入居など）		53	67.9	62.3	18.9	37.7	13.2	17.0	15.1	0.0

介護度別では、いずれの介護度も「家族の負担（肉体的、精神的）がかかるから」が最も多くなっており、次いで「緊急時や救急時の対応ができないから」となっています。また、「部屋やトイレなど住居の環境が整っていないから」は、「要介護1」で26.4%、「要介護2」以上は3割台となっています。

図表 5.60 在宅医療を利用した在宅生活の継続ができないと思う理由

		(単位：%)	n	精家 神族 的の 負 担 が か か る か ら	が 緊 急 時 や 救 急 時 の 対 応	か 経 済 的 な 負 担 が か か る	か の 部 屋 や ト イ レ な ど 住 居 の 環 境 が 整 っ て い な い	い 看 て く れ る 家 族 が い な	医 近 師 が で 訪 問 し て く れ る	そ の 他	無 回 答
TOTAL			502	80.3	46.2	31.5	28.9	19.5	17.7	6.6	0.6
要 介 護 度	要支援1		51	74.5	43.1	27.5	19.6	23.5	25.5	5.9	2.0
	要支援2		51	64.7	37.3	21.6	9.8	27.5	13.7	5.9	2.0
	要介護1		125	88.0	46.4	31.2	26.4	20.0	17.6	4.0	0.0
	要介護2		111	83.8	44.1	36.0	36.9	19.8	18.9	7.2	0.0
	要介護3		79	86.1	58.2	35.4	35.4	13.9	19.0	6.3	1.3
	要介護4		42	78.6	40.5	28.6	33.3	16.7	7.1	9.5	0.0
	要介護5		33	72.7	57.6	30.3	33.3	18.2	21.2	15.2	0.0

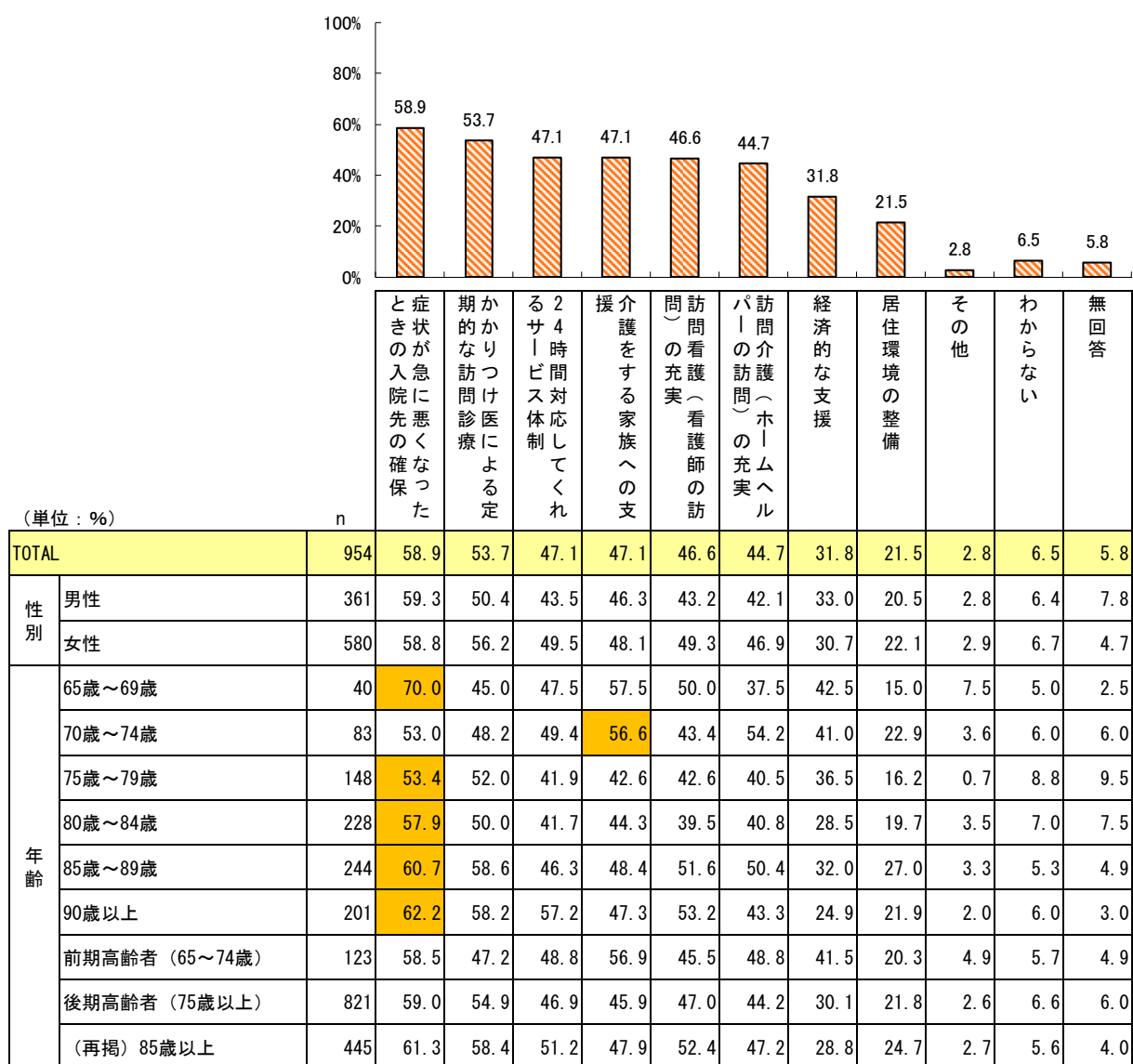
問 15 宛名の御本人様は自宅で最期まで生活するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

自宅で最期まで生活するために必要と思うことについては、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」(58.9%)、「かかりつけ医による定期的な訪問診療」(53.7%)がともに5割台となっており、次いで「24時間対応してくれるサービス体制」、「介護をする家族への支援」がともに47.1%となっています。さらに、「訪問看護(看護師の訪問)の充実」(46.6%)、「訪問介護(ホームヘルパーの訪問)の充実」(44.7%)が4割台となっています。

性別では、大きな違いはみられません。

年齢別では、いずれも「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が多く、「70歳～74歳」は「介護をする家族への支援」(56.6%)が最も多くなっています。

図表 5.61 自宅で最期まで生活するために必要なこと



家族構成別では、「一人暮らし」、「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」で「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も多くなっています。また、「その他（施設入居など）」では、「24時間対応してくれるサービス体制」が67.7%と他の家族構成より高くなっています。

図表 5.62 自宅で最期まで生活するために必要なこと

		n	と症状が急に入院先が悪くなったときの確保	かかりつけ医による定期的な訪問診療	24時間対応してくれるサービス体制	介護をする家族への支援	訪問看護（看護師の訪問）の充実	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の充実	経済的な支援	居住環境の整備	その他	わからない	無回答
(単位：%)													
TOTAL		954	58.9	53.7	47.1	47.1	46.6	44.7	31.8	21.5	2.8	6.5	5.8
家族構成	一人暮らし	143	62.2	53.8	51.7	30.8	49.7	53.8	28.0	23.1	4.2	9.1	4.2
	夫婦二人暮らし	199	59.3	58.3	44.2	52.8	50.8	50.8	30.7	19.6	2.0	6.0	7.5
	その他の同居世帯	537	59.0	54.6	44.7	50.5	46.0	40.8	33.9	21.0	2.2	6.3	4.7
	その他（施設入居など）	65	50.8	36.9	67.7	41.5	36.9	41.5	24.6	29.2	7.7	4.6	10.8

介護度別では、「要支援1」から「要介護3」までは、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が最も多くなっていますが、「要介護4」は「かかりつけ医による定期的な訪問診療」、「要介護5」は「訪問看護（看護師の訪問）の充実」が多くなっています。また、要介護3以上では、「24時間対応してくれるサービス体制」が5割を超えています。

図表 5.63 自宅で最期まで生活するために必要なこと

		n	と症状が急に入院先が悪くなったときの確保	かかりつけ医による定期的な訪問診療	24時間対応してくれるサービス体制	介護をする家族への支援	訪問看護（看護師の訪問）の充実	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の充実	経済的な支援	居住環境の整備	その他	わからない	無回答
(単位：%)													
TOTAL		954	58.9	53.7	47.1	47.1	46.6	44.7	31.8	21.5	2.8	6.5	5.8
要介護度	要支援1	102	46.1	42.2	37.3	35.3	29.4	37.3	26.5	13.7	2.9	9.8	9.8
	要支援2	94	54.3	48.9	30.9	29.8	42.6	41.5	26.6	10.6	3.2	11.7	5.3
	要介護1	232	67.7	58.2	48.7	52.2	50.9	51.3	32.3	23.7	0.9	6.5	3.0
	要介護2	201	57.7	53.7	48.3	47.3	45.8	42.3	32.3	25.9	5.0	5.5	5.5
	要介護3	142	64.8	59.2	55.6	58.5	53.5	46.5	34.5	25.4	2.1	6.3	6.3
	要介護4	82	53.7	58.5	52.4	51.2	47.6	46.3	40.2	24.4	3.7	2.4	4.9
	要介護5	63	55.6	55.6	58.7	49.2	61.9	49.2	28.6	20.6	4.8	4.8	6.3

第5章 要介護認定者調査結果

今後介護を受けたい場所別では、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」は、「かかりつけ医による定期的な訪問診療」(63.9%)、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」(61.8%)がともに約6割となっています。

また「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」方では、「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が63.7%で最も多く、次いで「24時間対応してくれるサービス体制」が56.0%となっています。

図表 5.64 自宅で最期まで生活するために必要なこと

		n	と症状が急に入院先が悪くなったときの確保	かかりつけ医による定期的な訪問診療	24時間対応してくれるサービス体制	介護をする家族への支援	訪問看護（看護師の訪問）の充実	訪問介護（ホームヘルパー）の充実	経済的な支援	居住環境の整備	その他	わからない	無回答
(単位：%)													
TOTAL		954	58.9	53.7	47.1	47.1	46.6	44.7	31.8	21.5	2.8	6.5	5.8
どこで介護を受けたいか	自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい	477	61.8	63.9	47.6	53.9	54.9	48.2	29.6	18.7	1.5	3.6	2.7
	認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい	38	60.5	44.7	52.6	39.5	44.7	47.4	44.7	23.7	2.6	0.0	2.6
	介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	182	63.7	48.9	56.0	51.1	46.2	48.9	45.6	32.4	6.0	4.9	2.2
	高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい	40	67.5	60.0	60.0	40.0	57.5	65.0	27.5	27.5	2.5	5.0	0.0
	その他	14	50.0	35.7	35.7	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6	21.4	28.6	0.0
	わからない	138	51.4	40.6	42.0	35.5	30.4	32.6	26.8	20.3	2.9	18.8	5.1

市の介護保険制度・高齢者福祉施策の考え方別では、「とても充実している」は、「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が52.0%と最も多く、次いで「介護をする家族への支援」が49.3%となっています。

図表 5.65 自宅で最期まで生活するために必要なこと

		n	と症状が急に入院先が悪くなったときの確保	かかりつけ医による定期的な訪問診療	24時間対応してくれるサービス体制	介護をする家族への支援	訪問看護（看護師の訪問）の充実	訪問介護（ホームヘルパー）の充実	経済的な支援	居住環境の整備	その他	わからない	無回答
(単位：%)													
TOTAL		954	58.9	53.7	47.1	47.1	46.6	44.7	31.8	21.5	2.8	6.5	5.8
者介護福祉保険施設に度つ・高い高齢	とても充実している	75	45.3	52.0	33.3	49.3	48.0	48.0	25.3	16.0	2.7	12.0	4.0
	まあ充実している	403	61.8	54.1	48.1	46.9	45.9	43.2	25.3	18.6	2.2	4.7	5.5
	どちらとも言えない	301	62.8	60.1	53.2	52.5	52.8	49.2	43.9	26.9	2.0	7.6	3.0
	あまり充実していない	25	68.0	60.0	52.0	76.0	60.0	72.0	52.0	40.0	8.0	4.0	0.0
	充実していない	16	43.8	25.0	43.8	37.5	37.5	43.8	50.0	50.0	18.8	0.0	12.5

中心介護者別では、いずれも「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」と「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が多い傾向となっています。

図表 5.66 自宅で最期まで生活するために必要なこと

		n	と症状が急に入院先が悪くなった	定期的な訪問診療による定	る24時間対応してくれ	援介護をする家族への支	問訪問看護（看護師の訪	問訪問看護（ホームヘル	経済的な支援	居住環境の整備	その他	わからない	無回答
(単位：%)													
TOTAL		954	58.9	53.7	47.1	47.1	46.6	44.7	31.8	21.5	2.8	6.5	5.8
中心介護者	配偶者（夫・妻）	320	59.7	54.4	40.3	51.3	45.9	42.8	31.6	18.8	2.2	5.3	6.3
	息子	152	57.9	52.6	43.4	44.1	44.7	48.7	37.5	23.0	1.3	5.9	2.0
	娘	242	64.5	60.3	58.7	53.3	52.1	45.0	36.0	25.6	2.9	5.0	4.5
	息子・娘の配偶者	97	58.8	61.9	51.5	55.7	56.7	46.4	23.7	21.6	3.1	8.2	5.2
	孫	7	57.1	57.1	57.1	28.6	28.6	42.9	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3
	兄弟・姉妹	18	50.0	50.0	55.6	38.9	44.4	50.0	50.0	22.2	5.6	5.6	5.6
	介護サービスのヘルパー	22	63.6	54.5	50.0	13.6	54.5	50.0	45.5	9.1	9.1	9.1	9.1
	施設等の職員	22	50.0	45.5	63.6	36.4	31.8	36.4	27.3	22.7	13.6	0.0	13.6
	その他	9	44.4	22.2	33.3	33.3	11.1	33.3	22.2	44.4	11.1	22.2	0.0
	介護している人はいない	14	35.7	57.1	35.7	0.0	50.0	42.9	14.3	21.4	0.0	14.3	7.1

(4) 在宅生活と施設について

問16 現在のお住まいについてうかがいます。(それぞれひとつだけ○)

(1) 一戸建て、または共同住宅のどちらですか。(ひとつだけ○)

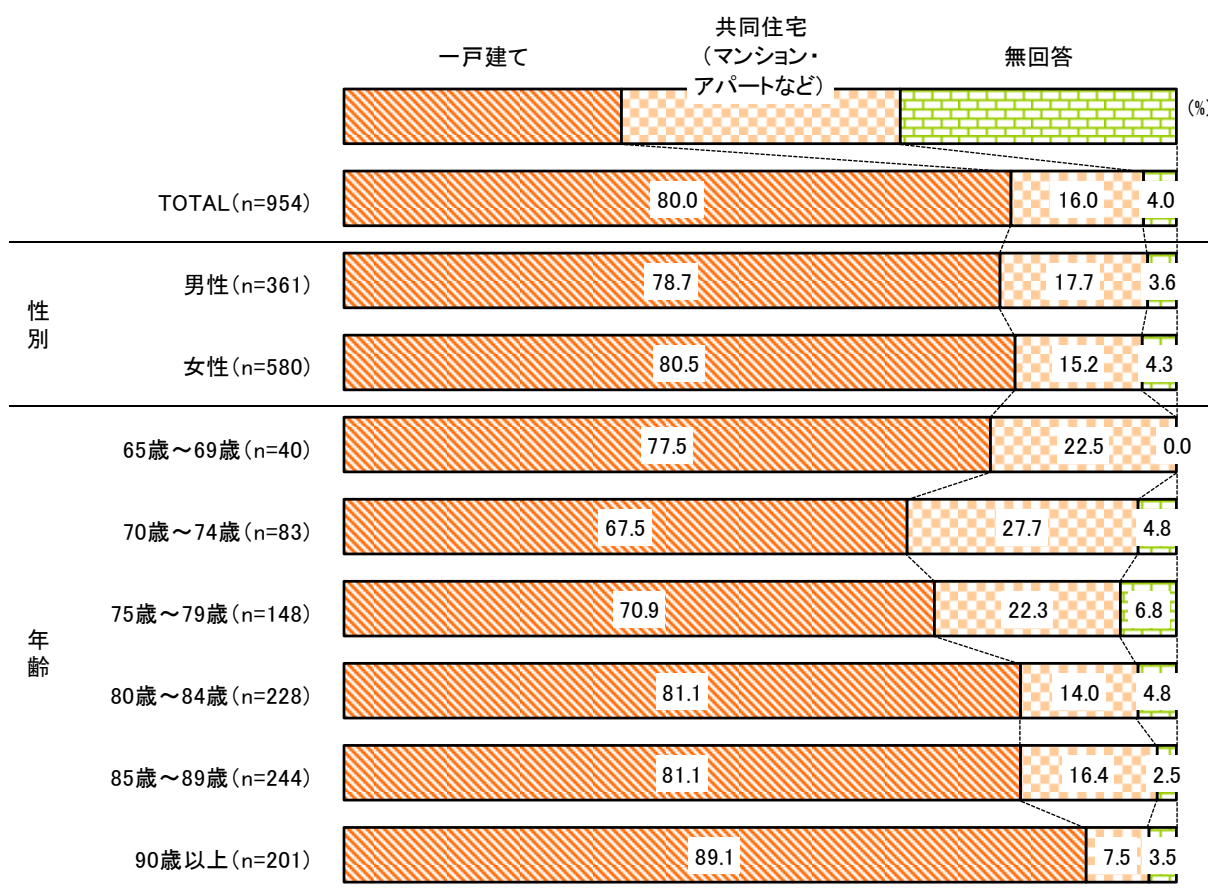
(2) お住まいは、次のうちどれですか。(ひとつだけ○)

住宅の種類は、「一戸建て」が80.0%に対し、「共同住宅(マンション・アパートなど)」が16.0%となっています。

性別では、大きな違いはみられません。

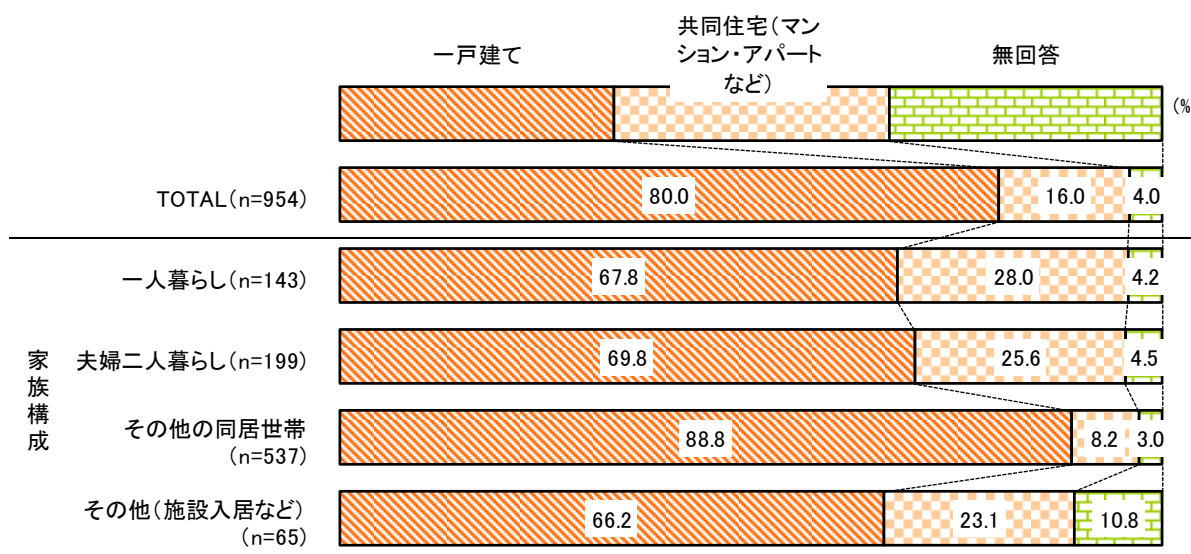
年齢別では、「一戸建て」は、「75歳～79歳」以降で高くなり、「90歳以上」では、89.1%となっています。

図表 5.67 在宅生活での住宅の種類



家族構成別では、「その他の同居世帯」は、「一戸建て」が88.8%と他の家族構成より高くなっています。

図表 5.68 在宅生活での住宅の種類



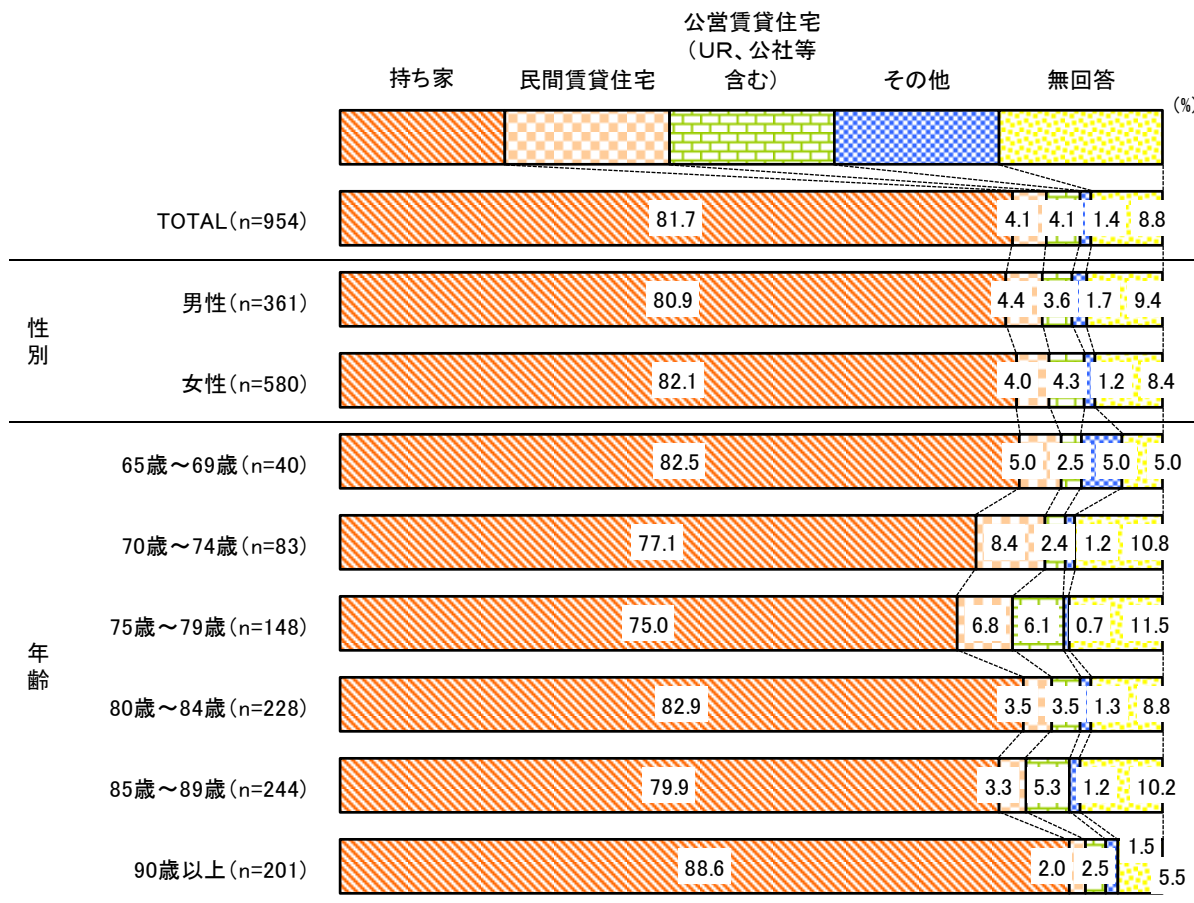
第5章 要介護認定者調査結果

住まいの所有形態は、「持ち家」が81.7%、「民間賃貸住宅」、「公営賃貸住宅（UR、公社等含む）」がともに4.1%となっています。

性別では、大きな違いはみられません。

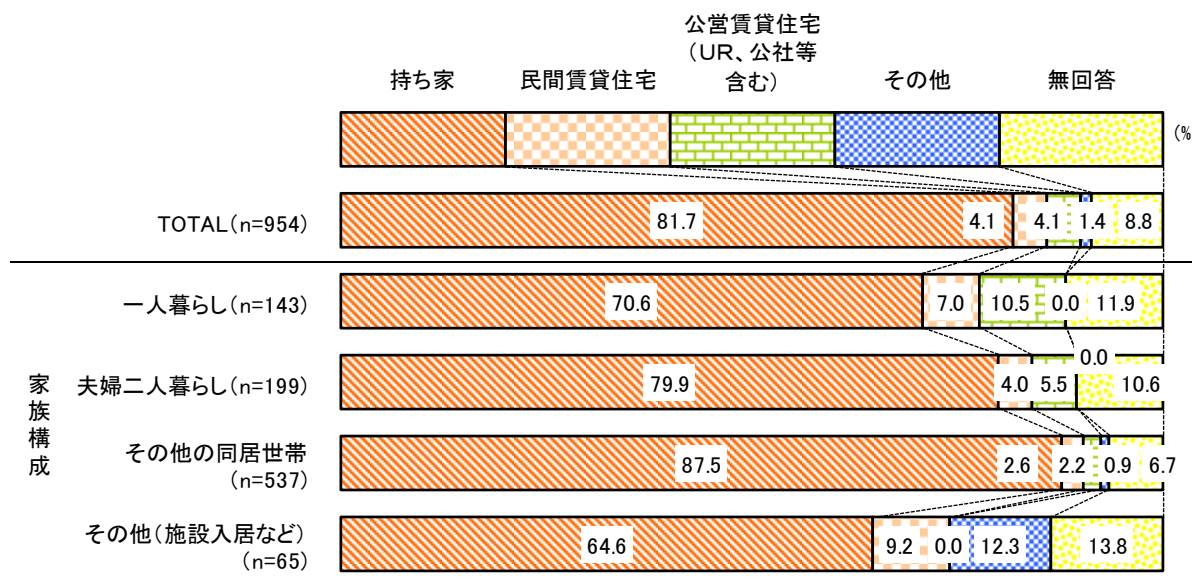
年齢別では、「90歳以上」で「持ち家」が88.6%と他の年齢より高くなっています。

図表 5.69 住まいの所有形態



家族構成別では、いずれの家族構成も「持ち家」が最も多くなっています。中でも「その他の同居世帯」は、「持ち家」が87.5%と他の家族構成より高くなっています。また、「一人暮らし」は、「公営賃貸住宅（UR、公社等含む）」が10.5%と高くなっています。

図表 5.70 住まいの所有形態



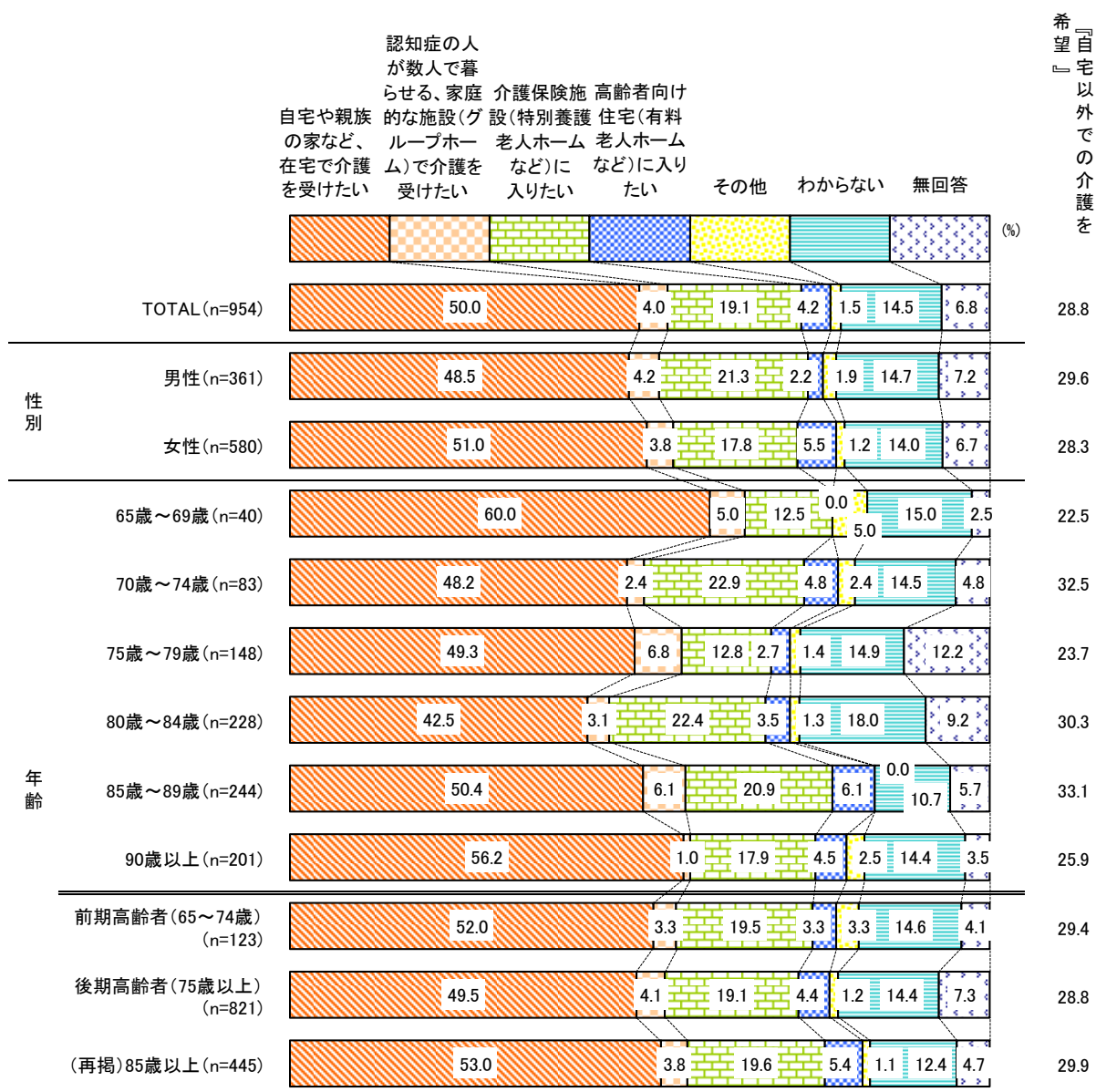
問17 宛名の御本人様は今後、どこで介護を受けたいですか。(ひとつだけ○)

今後介護を受けたい場所については、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が50.0%で最も多く、次いで「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」が19.1%、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい」が4.2%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい」が4.0%の順となっています。「自宅以外」での介護を希望される割合は、「その他」を合わせて28.8%となっています。

性別では、男女とも、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が約5割で最も多くなっています。

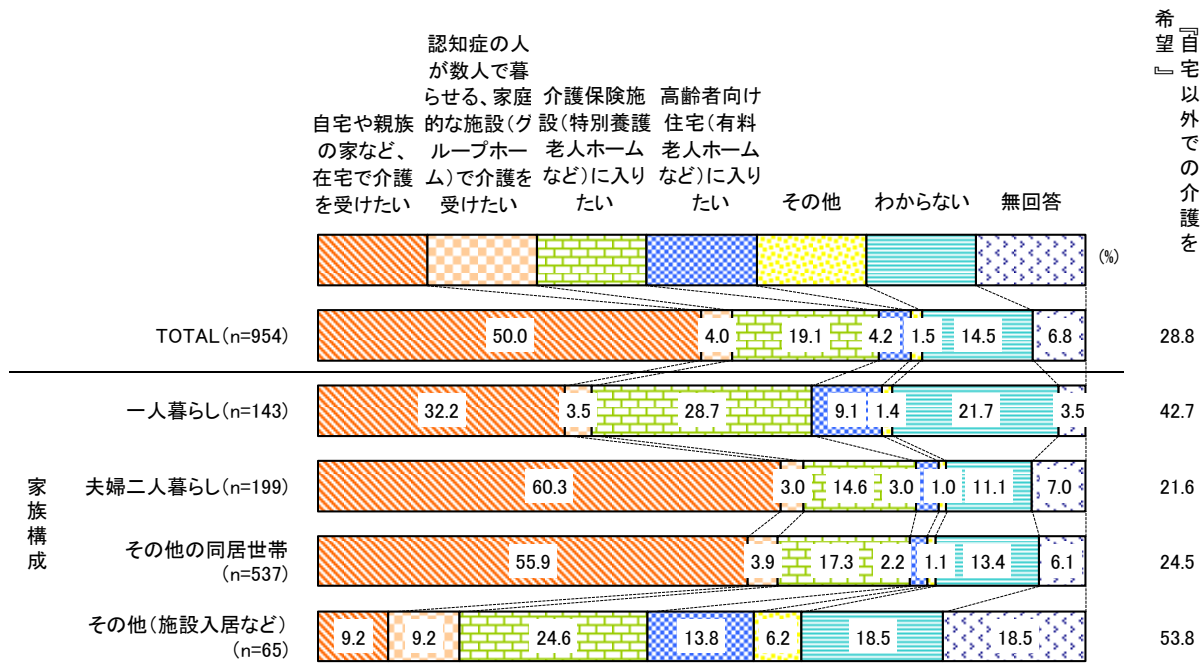
年齢別では、いずれの年齢も「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が最も多くなっていますが、中でも「65歳～69歳」は60.0%と、他の年齢より高くなっています。また、70歳～84歳は、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が4割台と低くなっています。

図表 5.71 今後介護を受けたい場所



家族構成別では、「夫婦二人暮らし」で60.3%、「その他の同居世帯」で55.9%が最も多くなっています。一方、「一人暮らし」では、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」が28.7%と、他の家族構成より高くなっています。

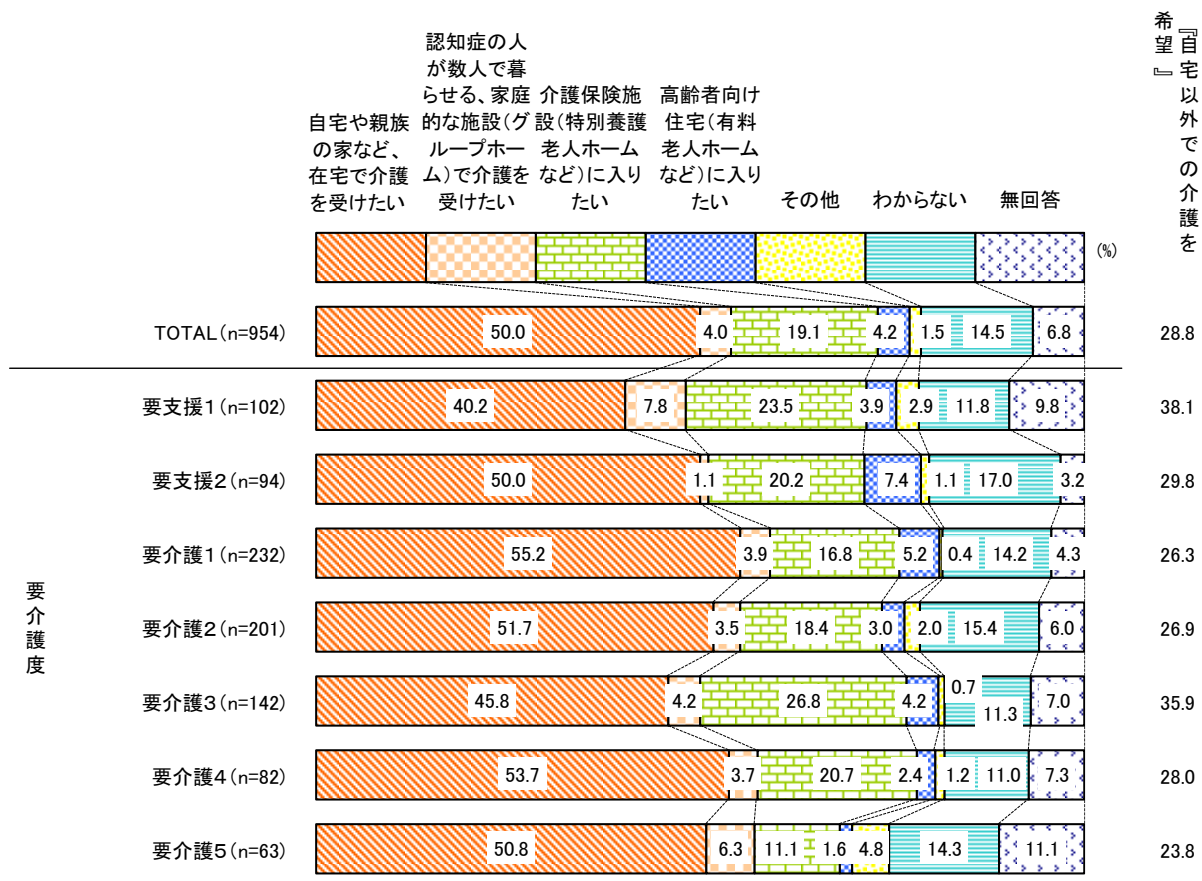
図表 5.72 今後介護を受けたい場所



第5章 要介護認定者調査結果

介護度別では、いずれの介護度においても「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が最も多いですが、「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」については、「要支援1」では23.5%、「要支援2」では20.2%、「要介護3」では26.8%、「要介護4」では20.7%と、いずれも2割台と他の介護度よりやや高くなっています。

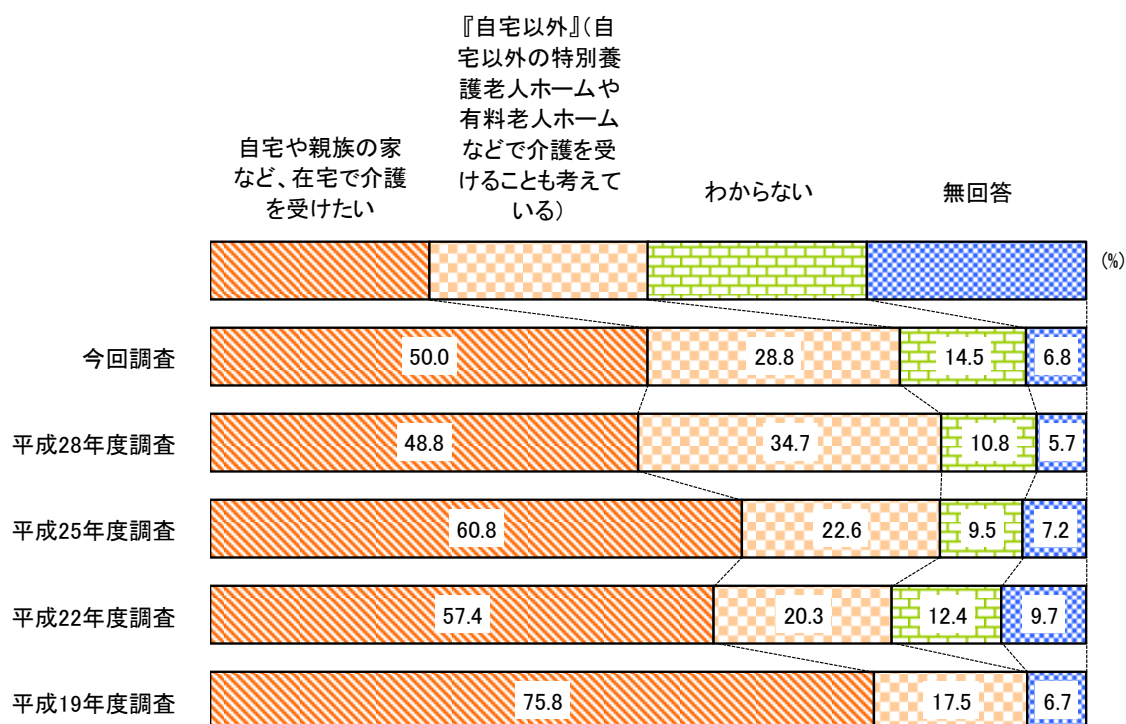
図表 5.73 今後介護を受けたい場所



(経年比較)

前回(平成28年度)以前と比較してみると、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」は、前回よりやや増えて5割となっています。また、『自宅以外』(自宅以外の特別養護老人ホームや有料老人ホームなどで介護を受けることも考えている)は前回よりやや少なく、約3割となっています。

図表 5.74 今後介護を受けたい場所



※『自宅以外』

- (自宅以外の特別養護老人ホームや有料老人ホームなどで介護を受けることも考えている)
- = 「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設(グループホーム)で介護を受けたい」
- + 「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入りたい」
- + 「高齢者向け住宅(有料老人ホームなど)に入りたい」
- + 「その他」

※選択肢として、平成28年度調査は「介護サービスを利用して、高齢者向け住宅で介護を受けたい」、平成22・25年度調査は「病院に入院したい」があった(それぞれ『自宅以外』に含めている)

※平成19年度調査は、「わからない」はない

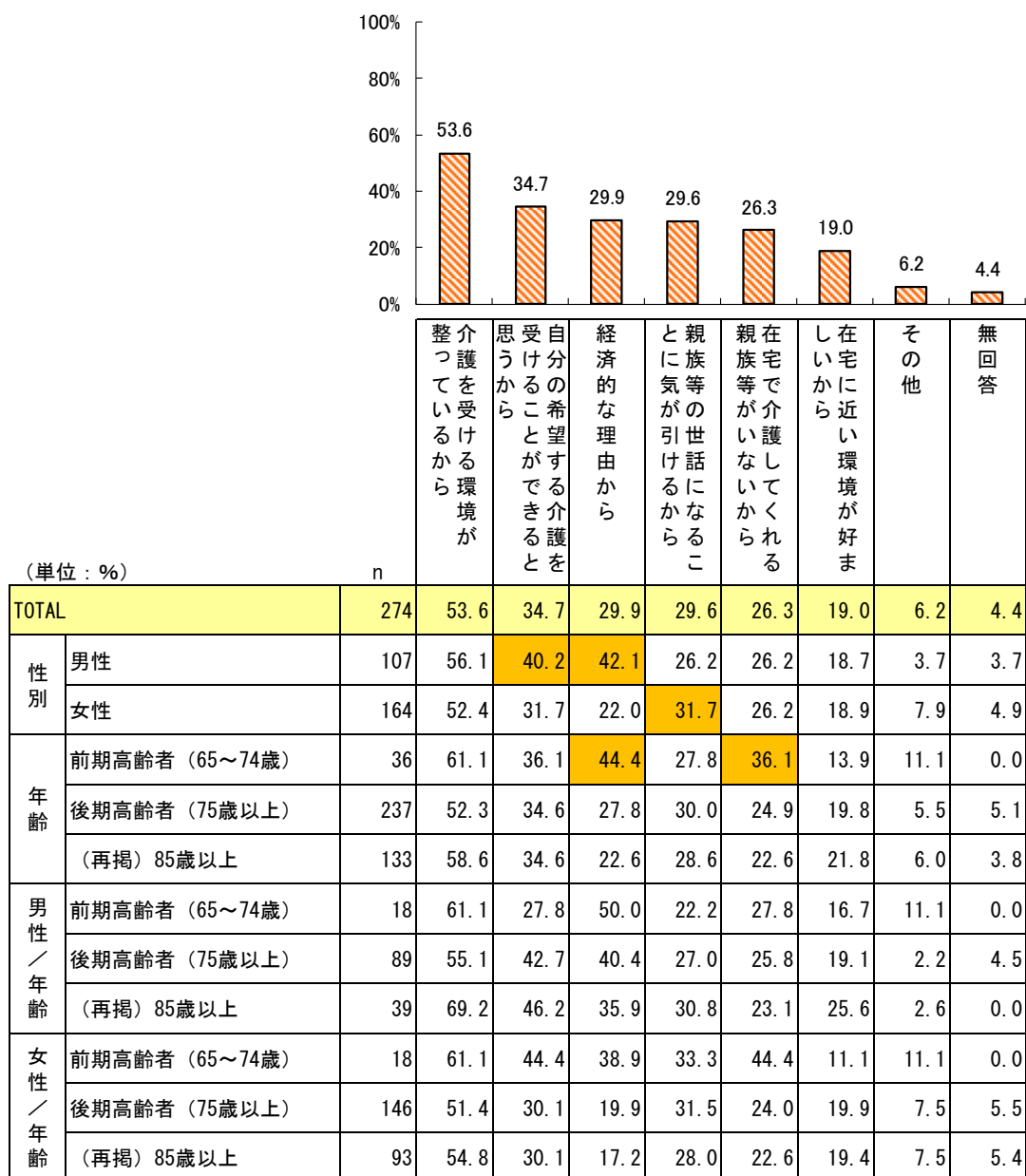
問17-1 問17で2～5に○をつけた方にうかがいます。その場所を選んだのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

『自宅以外』を選んだ方(274人)が、自宅以外での介護を選んだ理由については、「介護を受ける環境が整っているから」が53.6%で最も多く、次いで「自分の希望する介護を受けることができると思うから」が34.7%、「経済的な理由から」が29.9%、「親族等の世話になることに気が引けるから」が29.6%の順となっています。

性別では、いずれも「介護を受ける環境が整っているから」が最も多くなっていますが、「男性」は「経済的な理由から」が42.1%と女性より約20ポイント、「自分の希望する介護を受けることができると思うから」が40.2%と約8ポイント上回っています。「女性」では、「親族等の世話になることに気が引けるから」が31.7%と、男性より約5ポイント高くなっています。

年齢別では、「前期高齢者(65～74歳)」は「経済的な理由から」は44.4%、「在宅で介護してくれる親族等がないから」は36.1%と「後期高齢者(75歳以上)」より高くなっています。

図表 5.75 自宅以外での介護を選んだ理由



家族構成別では、「一人暮らし」は、「在宅で介護してくれる親族等がないから」が47.5%、「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」は「介護を受ける環境が整っているから」が最も多くなっています。次いで、「自分の希望する介護を受けることができると思うから」となっています。

図表 5.76 自宅以外での介護を選んだ理由

		n	整 介 つ 護 を 受 け る か ら 環 境 が	思 う け る こ と が す る 介 護 と	自 分 の 希 望 す る 介 護 を	経 済 的 な 理 由 か ら	と 親 に 気 等 が 引 け る か ら こ	親 在 宅 で 介 護 し て く れ る	し 在 宅 に 近 い 環 境 が 好 ま	そ の 他	無 回 答
(単位：%)											
TOTAL		274	53.6	34.7	29.9	29.6	26.3	19.0	6.2	4.4	
家 族 構 成	一人暮らし	61	42.6	31.1	27.9	31.1	47.5	18.0	4.9	8.2	
	夫婦二人暮らし	43	55.8	44.2	32.6	30.2	27.9	11.6	4.7	0.0	
	その他の同居世帯	132	55.3	37.9	34.1	30.3	18.2	20.5	7.6	3.8	
	その他（施設入居など）	35	65.7	20.0	17.1	25.7	20.0	25.7	5.7	0.0	

介護度別では、いずれの介護度も「介護を受ける環境が整っているから」が多くなっています。また、介護度が上がるほど「在宅で介護してくれる親族等がないから」が低くなっています。

図表 5.77 自宅以外での介護を選んだ理由

		n	整 介 つ 護 を 受 け る か ら 環 境 が	思 う け る こ と が す る 介 護 と	自 分 の 希 望 す る 介 護 を	経 済 的 な 理 由 か ら	と 親 に 気 等 が 引 け る か ら こ	親 在 宅 で 介 護 し て く れ る	し 在 宅 に 近 い 環 境 が 好 ま	そ の 他	無 回 答
(単位：%)											
TOTAL		274	53.6	34.7	29.9	29.6	26.3	19.0	6.2	4.4	
（ 3 区 分） 要 介 護 度	要支援1・2	67	38.8	34.3	26.9	32.8	38.8	19.4	6.0	4.5	
	要介護1・2	115	55.7	31.3	31.3	33.0	22.6	19.1	7.0	4.3	
	要介護3～5	89	62.9	40.4	31.5	21.3	20.2	18.0	5.6	4.5	

第5章 要介護認定者調査結果

今後介護を受けたい場所別では、いずれも「介護を受ける環境が整っているから」が最も多く、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい」では「在宅に近い環境が好ましいから」も同率（44.7%）で多くなっています。

図表 5.78 自宅以外での介護を選んだ理由

		n	介護を受ける環境が整っているから	自分のことが希望できると思うから	経済的な理由から	親族等の世話になることに	在宅で介護してくれる親族等がいないから	在宅に近い環境が好ましいから	その他	無回答
(単位：%)										
TOTAL		274	53.6	34.7	29.9	29.6	26.3	19.0	6.2	4.4
どこで介護を受けたいか	認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい	38	44.7	34.2	18.4	13.2	26.3	44.7	7.9	0.0
	介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	182	55.5	34.1	39.0	31.9	28.6	11.0	3.8	6.0
	高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい	40	55.0	42.5	7.5	45.0	20.0	32.5	5.0	2.5
	その他	14	50.0	21.4	7.1	0.0	14.3	14.3	35.7	0.0

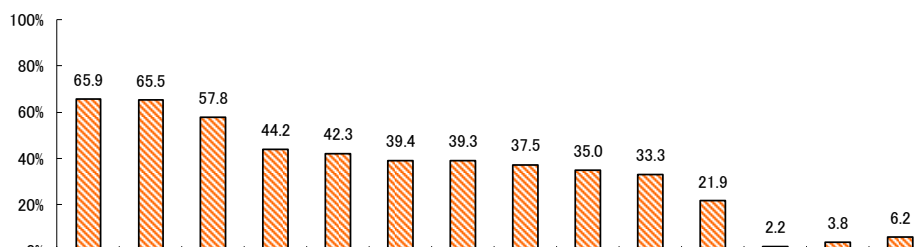
問 18 在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

在宅で暮らし続けるために必要なことについては、「住み続けられる住まいがある」が65.9%、「家族が同居または近くにいる」が65.5%とほぼ同じ割合で最も多く、次いで、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が57.8%、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が44.2%、「自宅に医師が訪問して診療してくれる」が42.3%で続いています。

性別では、大きな違いはみられません。

年齢別では、高齢者ほど割合の高いものが多く、「90歳以上」では、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が59.2%、「自宅に医師が訪問して診療してくれる」が57.2%、「夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある」が49.8%と、他の年齢より高くなっています。

図表 5.79 在宅で暮らし続けるために必要なこと



		(単位: %)	n	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	身近に利用できる医療機関がある	介護サービスが利用できる	夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	入浴のみ、食事のみ、短時間の通所サービスが受けられる	いつでも近く利用できる施設がある(入所)できる	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	その他	わからない	無回答
TOTAL			954	65.9	65.5	57.8	44.2	42.3	39.4	39.3	37.5	35.0	33.3	21.9	2.2	3.8	6.2
性別	男性		361	63.2	62.9	53.7	41.3	39.9	39.6	38.2	37.4	35.7	34.9	21.6	1.4	3.9	6.9
	女性		580	67.4	67.1	60.3	46.6	44.1	39.7	40.0	37.9	34.8	33.1	22.6	2.6	3.8	5.7
年齢	65歳~69歳		40	72.5	60.0	60.0	47.5	40.0	32.5	42.5	35.0	30.0	30.0	17.5	2.5	10.0	2.5
	70歳~74歳		83	57.8	61.4	59.0	41.0	33.7	38.6	27.7	34.9	36.1	25.3	24.1	1.2	6.0	6.0
	75歳~79歳		148	64.9	62.8	52.0	39.2	36.5	33.8	35.1	29.1	34.5	28.4	19.6	2.7	4.1	9.5
	80歳~84歳		228	68.4	60.1	50.4	34.6	36.4	37.7	36.8	33.3	32.0	31.1	21.9	3.1	3.5	8.8
	85歳~89歳		244	66.8	67.2	59.8	45.1	42.2	41.8	42.6	38.1	34.8	36.5	27.9	2.5	2.9	4.5
	90歳以上		201	64.2	75.1	66.7	59.2	57.2	44.3	44.8	49.8	39.3	41.3	16.9	1.0	3.0	3.5
	前期高齢者(65~74歳)		123	62.6	61.0	59.3	43.1	35.8	36.6	32.5	35.0	34.1	26.8	22.0	1.6	7.3	4.9
	後期高齢者(75歳以上)		821	66.3	66.4	57.5	44.6	43.2	39.8	40.2	38.0	35.1	34.7	22.0	2.3	3.3	6.3
	(再掲) 85歳以上		445	65.6	70.8	62.9	51.5	49.0	42.9	43.6	43.4	36.9	38.7	22.9	1.8	2.9	4.0
男性/年齢	前期高齢者(65~74歳)		66	53.0	57.6	59.1	36.4	36.4	34.8	30.3	33.3	33.3	25.8	16.7	1.5	6.1	7.6
	後期高齢者(75歳以上)		292	65.4	64.4	52.4	42.5	40.4	40.4	40.1	38.4	36.3	37.3	22.6	1.4	3.4	6.8
	(再掲) 85歳以上		121	66.9	73.6	64.5	47.9	44.6	46.3	44.6	44.6	43.0	43.0	26.4	1.7	1.7	4.1
女性/年齢	前期高齢者(65~74歳)		57	73.7	64.9	59.6	50.9	35.1	38.6	35.1	36.8	35.1	28.1	28.1	1.8	8.8	1.8
	後期高齢者(75歳以上)		523	66.7	67.3	60.4	46.1	45.1	39.8	40.5	38.0	34.8	33.7	22.0	2.7	3.3	6.1
	(再掲) 85歳以上		321	65.1	69.8	62.9	53.3	51.1	42.1	43.6	43.3	34.9	37.4	21.8	1.9	3.4	4.0

第5章 要介護認定者調査結果

家族構成別では、「一人暮らし」、「夫婦二人暮らし」は、「住み続けられる住まいがある」、「そのほかの同居世帯」は、「家族が同居または近くにいる」が最も多くなっています。

図表 5.80 在宅で暮らし続けるために必要なこと

		n	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	日中訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	宿泊する必要があるよう	必要に応じて、通ったり、泊る必要がある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	身近に利用できる医療機関がある	介護可能な短期入所サービスに利用できる	介護サービスの入所緊急時に利用できる	夜間訪問介護や訪問看護サービスがある	所サリのみ、食事のみの通	入浴のみ、食事のみの通	いつでも利用できる（入所）施設がある	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	その他	わからない	無回答
(単位：%)																			
TOTAL		954	65.9	65.5	57.8	44.2	42.3	39.4	39.3	37.5	35.0	33.3	21.9	2.2	3.8	6.2			
家族構成	一人暮らし	143	69.9	49.7	55.2	31.5	37.8	43.4	31.5	36.4	37.1	32.2	32.2	5.6	4.9	4.9			
	夫婦二人暮らし	199	73.9	68.3	63.3	45.7	42.7	44.7	38.2	38.7	38.2	31.7	27.1	1.5	4.5	5.5			
	その他の同居世帯	537	66.7	71.3	58.7	48.0	43.8	38.7	43.0	36.5	34.3	34.6	17.9	1.1	3.0	5.2			
	その他（施設入居など）	65	27.7	46.2	40.0	40.0	41.5	23.1	29.2	47.7	27.7	35.4	20.0	6.2	6.2	15.4			

介護度別では、要支援は、「住み続けられる住まいがある」、要介護は、「家族が同居または近くにいる」が最も多くなっています。

また、「要介護3」～「要介護5」は、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」も多い傾向となっています。

図表 5.81 在宅で暮らし続けるために必要なこと

		n	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	日中訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	宿泊する必要があるよう	必要に応じて、通ったり、泊る必要がある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	身近に利用できる医療機関がある	介護可能な短期入所サービスに利用できる	介護サービスの入所緊急時に利用できる	夜間訪問介護や訪問看護サービスがある	所サリのみ、食事のみの通	入浴のみ、食事のみの通	いつでも利用できる（入所）施設がある	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	その他	わからない	無回答
(単位：%)																			
TOTAL		954	65.9	65.5	57.8	44.2	42.3	39.4	39.3	37.5	35.0	33.3	21.9	2.2	3.8	6.2			
要介護度	要支援 1	102	66.7	48.0	36.3	26.5	22.5	35.3	18.6	13.7	15.7	17.6	17.6	2.0	5.9	11.8			
	要支援 2	94	68.1	54.3	47.9	25.5	27.7	31.9	31.9	33.0	28.7	23.4	17.0	1.1	2.1	2.1			
	要介護 1	232	67.7	70.7	61.2	46.1	44.4	45.7	42.7	38.8	36.6	40.1	22.0	1.3	5.2	3.0			
	要介護 2	201	69.2	71.1	63.7	50.7	45.8	39.8	43.3	42.3	39.8	37.3	21.4	3.5	3.0	4.0			
	要介護 3	142	63.4	72.5	65.5	59.9	47.2	46.5	50.7	43.0	40.8	43.7	26.1	1.4	2.8	7.7			
	要介護 4	82	52.4	63.4	61.0	50.0	48.8	35.4	37.8	43.9	37.8	31.7	23.2	2.4	3.7	8.5			
	要介護 5	63	65.1	69.8	66.7	46.0	63.5	30.2	44.4	52.4	42.9	28.6	27.0	3.2	3.2	9.5			

今後利用したい（継続したい）介護保険サービス別では、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」の方は、「住み続けられる住まいがある」が76.5%で最も多くなっています。

「通所サービス（デイサービスなど）」の方では、「家族が同居または近くにいる」が72.3%と最も多くなっています。「短期入所（ショートステイ）」の方では、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が74.0%で最も多くなっています。

「福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）」の方では、「家族が同居または近くにいる」が78.5%で最も多くなっています。

「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」の方では、「家族が同居または近くにいる」、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」がともに66.4%で最も多くなっています。

図表 5.82 在宅で暮らし続けるために必要なこと

		n	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	近所や通所サービスから利用できるサービスがある	宿泊することのできるようなサービスがある	必要に応じて、通ったり、利用できるようなサービスがある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	身近に利用できる医療機関がある	入所可能な短期入所サービスがある	介護サービスが利用できる	夜間にも訪問しにくる介護サービスがある	所サリのみなど、食事の時間、通ハ	入浴のみ、短時間の通ハ	いつでも利用できる（入所）施設がある	近くにいる友人・知人が見守ってくれる	その他	わからない	無回答
(単位：%)																			
TOTAL		954	65.9	65.5	57.8	44.2	42.3	39.4	39.3	37.5	35.0	33.3	21.9	2.2	3.8	6.2			
利用したい介護保険サービス	訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）	324	76.5	75.6	75.0	49.4	59.0	49.1	51.2	51.5	42.9	40.7	30.9	2.2	1.2	2.5			
	通所サービス（デイサービスなど）	498	69.9	72.3	69.1	56.4	48.0	43.6	47.8	42.0	42.6	39.6	23.1	2.2	1.6	4.2			
	短期入所（ショートステイ）	292	66.8	72.6	73.3	74.0	54.8	44.9	60.6	49.0	47.3	49.0	27.1	3.1	1.0	4.8			
	福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）	410	75.1	78.5	71.0	56.8	55.4	50.0	53.7	49.5	44.9	43.7	24.1	1.7	1.0	2.7			
	福祉用具購入・住宅改修費	239	78.7	79.1	72.4	59.0	56.1	54.0	53.6	52.7	46.0	41.8	31.8	2.1	2.1	0.8			
	その他の居宅サービス	45	88.9	88.9	75.6	71.1	64.4	55.6	51.1	55.6	53.3	55.6	57.8	4.4	0.0	2.2			
	施設サービス（特別養護老人ホームなど）	211	60.7	66.4	66.4	63.0	50.2	39.3	54.5	50.2	44.5	49.8	24.2	5.2	2.8	7.1			
	わからない	48	54.2	52.1	33.3	18.8	27.1	29.2	16.7	20.8	14.6	14.6	20.8	4.2	18.8	10.4			
特になし	66	60.6	56.1	37.9	27.3	28.8	40.9	22.7	24.2	24.2	27.3	22.7	1.5	12.1	3.0				

第5章 要介護認定者調査結果

今後介護を受けたい場所別では、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」方は「家族が同居または近くにいる」が 82.4%、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい」方でも「家族が同居または近くにいる」が 57.9%で最も多くなっています。

「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」方、「高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい」方は、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が最も多くなっています。

図表 5.83 在宅で暮らし続けるために必要なこと

		n	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	ききなどサービスが利用できる	日中訪問サービスが利用できる	宿泊サービスが通つたり、必要に応じて、通つたり、泊ることもできる	自宅に医師が訪問して診療してくれる	身近に利用できる医療機関がある	入所可能な短期入所サービスに利用できる	介護サービスがある	夜間にも訪問してやれる	所サリにも訪問が受けられる	入浴のみ、食事の時間、通ハ	いつでも近くにある（入所）できる施設がある	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	その他	わからない	無回答
(単位：%)																			
TOTAL		954	65.9	65.5	57.8	44.2	42.3	39.4	39.3	37.5	35.0	33.3	21.9	2.2	3.8	6.2			
どこで介護を受けたいか	自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい	477	79.7	82.4	65.6	49.7	52.0	47.8	45.1	41.9	39.2	33.5	26.4	1.3	0.8	1.0			
	認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい	38	50.0	57.9	47.4	47.4	34.2	34.2	42.1	39.5	36.8	44.7	15.8	5.3	0.0	5.3			
	介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	182	53.8	54.4	60.4	50.0	39.0	36.3	39.6	39.0	37.9	42.9	21.4	3.3	4.4	7.1			
	高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい	40	65.0	55.0	67.5	40.0	37.5	32.5	32.5	40.0	50.0	37.5	25.0	7.5	2.5	2.5			
	その他	14	64.3	50.0	35.7	42.9	35.7	28.6	28.6	28.6	21.4	14.3	21.4	7.1	7.1	14.3			
	わからない	138	54.3	45.7	41.3	29.7	32.6	29.0	33.3	33.3	25.4	26.1	13.8	1.4	15.9	3.6			

問 19 現在お住まいの住宅で、「手すりの取り付け」や「スロープで段差を無くす」等の住まいの環境についてあてはまるものに○をしてください。(ひとつだけ○)

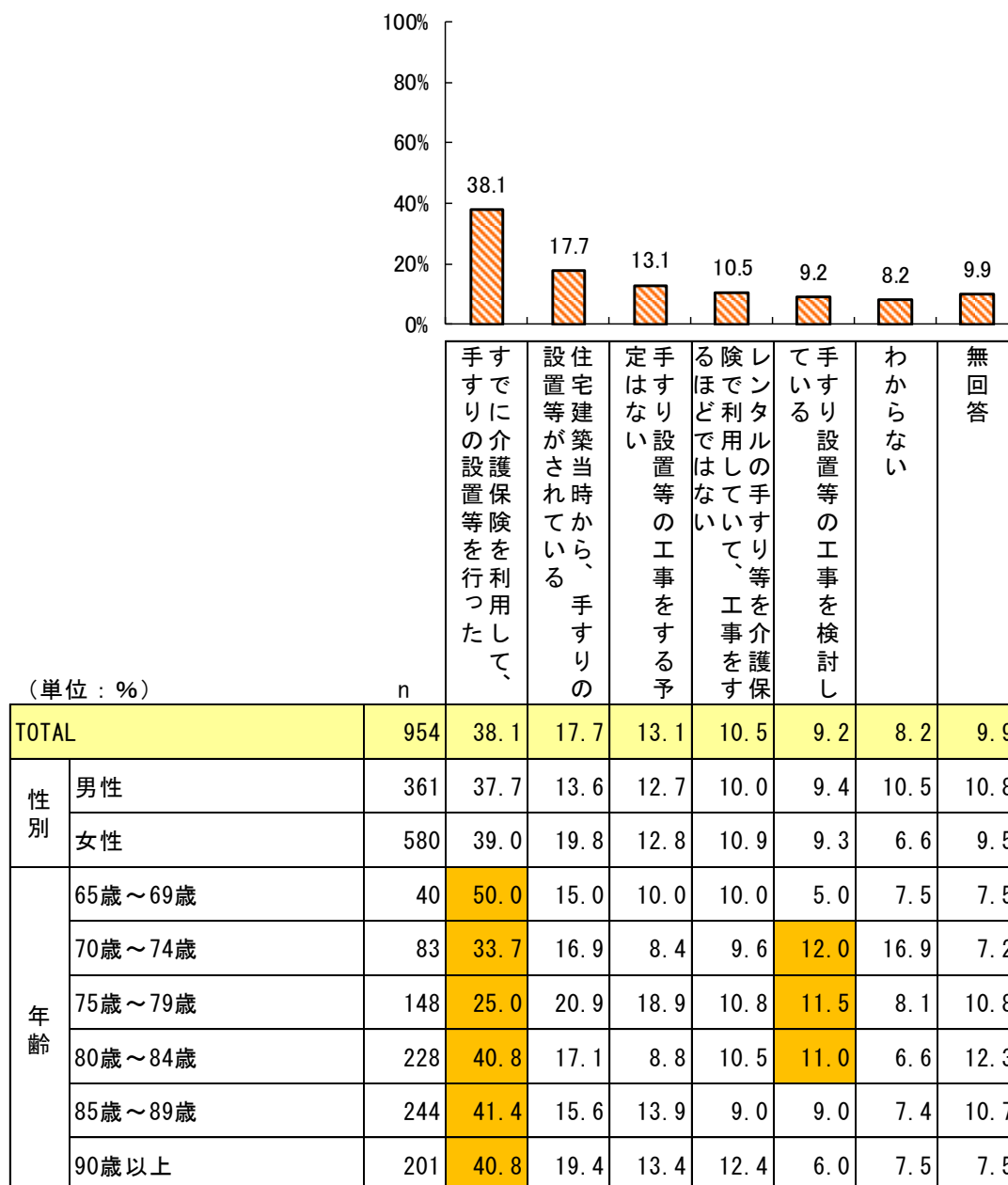
現在の住居における手すりや段差解消などの状況については、「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が38.1%で最も多く、次いで「住宅建築当時から、手すりの設置等がされている」が17.7%、「レンタルの手すり等を介護保険で利用していて、工事をするほどではない」が10.5%、「手すり設置等の工事を検討している」が9.2%の順となっています。一方、「手すり設置等の工事をする予定はない」が13.1%となっています。

(複数記入者が多かったため、合計は100%を超えています。)

性別では、大きな違いはみられません。

年齢別では、いずれも「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が最も多くなっています。また、「手すり設置等の工事を検討している」は「70歳～84歳」までの年齢で、他の年齢より高くなっています。

図表 5.84 現在お住まいの環境について



第5章 要介護認定者調査結果

家族構成別では、いずれも「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が最も多くなっています。また、「その他の同居世帯」は他の家族構成よりも「住宅建築当時から、手すりの設置等がされている」が約4ポイント高くなっています。

図表 5.85 現在お住まいの環境について

		n	すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った	住宅建築当時から、手すりの設置等がされている	手すり設置等の工事をする予定はない	レンタルの手すり等を介護保険などで利用している	手すり設置等の工事を検討している	わからない	無回答
(単位：%)									
TOTAL		954	38.1	17.7	13.1	10.5	9.2	8.2	9.9
家族構成	一人暮らし	143	41.3	15.4	11.9	14.0	10.5	6.3	8.4
	夫婦二人暮らし	199	40.2	15.6	11.6	11.6	10.6	7.5	10.1
	その他の同居世帯	537	38.4	19.7	12.8	9.5	8.9	8.2	9.3
	その他（施設入居など）	65	27.7	12.3	16.9	6.2	6.2	13.8	16.9

介護度別では、いずれの介護度も「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が最も多くなっています。また、「住宅建築当時から、手すりの設置等がされている」は、「要介護4」、「要介護5」で他の介護度より低くなっています。「要支援1」、「要支援2」、「要介護1」では、「手すり設置等の工事を検討している」が高い傾向があり、介護度が低いうちから工事を考えていることがうかがえます。

図表 5.86 現在お住まいの環境について

		n	すでに介護保険を利用して手すり設置等を行っている	住宅建築当時から、手すりの設置等がされている	予定はしない設置等の工事をする	保険で利用していない、工事を	レンタルの手すり等を介して設置等の工事を検討している	わからない	無回答
(単位：%)									
TOTAL		954	38.1	17.7	13.1	10.5	9.2	8.2	9.9
要介護度	要支援1	102	33.3	20.6	12.7	6.9	13.7	10.8	8.8
	要支援2	94	44.7	14.9	10.6	11.7	10.6	6.4	8.5
	要介護1	232	39.7	18.1	13.4	11.2	11.2	6.9	5.2
	要介護2	201	36.8	19.9	15.4	10.9	7.5	9.5	10.4
	要介護3	142	39.4	18.3	13.4	12.7	5.6	8.5	8.5
	要介護4	82	40.2	12.2	8.5	14.6	11.0	3.7	13.4
	要介護5	63	39.7	11.1	11.1	3.2	3.2	14.3	19.0

第5章 要介護認定者調査結果

介護が必要となった主な原因別では、いずれも「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が最も多くなっています。

中でも、「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」（49.7%）、「パーキンソン病」（53.2%）、「脊椎損傷」（50.7%）は、約5割と多くなっています。

図表 5.87 現在お住まいの環境について

		n	行てす つ、で た手に す介 護の保 険を 等利 用し	り住 の宅 設建 置築 等当 が時 さか ら、 てい 手す	る手 予す 定り は設 置置 い等 の工 事を す	工護 事保 を險 をす で利 用す るほ どし ては ない	レ ン タ ル の 利 用 手 す り 等 を 介	討手 してす り設 置置 等 の工 事を 検	わ か ら な い	無 回 答
(単位：%)										
TOTAL		954	38.1	17.7	13.1	10.5	9.2	8.2	9.9	
介護が必要となった主な原因	脳卒中（脳出血・脳こうそく等）	177	49.7	13.0	9.0	11.3	5.1	9.6	9.6	
	心臓病	90	45.6	18.9	11.1	8.9	4.4	10.0	10.0	
	がん（悪性新生物）	59	37.3	11.9	13.6	6.8	13.6	13.6	6.8	
	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	48	41.7	22.9	12.5	14.6	10.4	4.2	10.4	
	関節の病気（リウマチ等）	69	43.5	11.6	8.7	2.9	17.4	7.2	13.0	
	認知症（アルツハイマー病等）	214	29.9	14.5	18.7	9.3	9.3	11.7	9.8	
	パーキンソン病	47	53.2	21.3	12.8	12.8	8.5	0.0	4.3	
	糖尿病	85	40.0	16.5	10.6	12.9	12.9	8.2	10.6	
	視覚・聴覚障害	55	43.6	14.5	14.5	9.1	14.5	5.5	7.3	
	骨折・転倒	211	47.4	14.7	10.4	14.7	7.1	5.7	9.0	
	脊椎損傷	75	50.7	21.3	12.0	6.7	4.0	4.0	13.3	
	高齢による衰弱	205	36.1	21.5	10.7	11.2	11.7	6.8	9.3	
	その他	133	43.6	18.0	9.0	12.8	7.5	9.8	7.5	
わからない	13	15.4	23.1	23.1	0.0	15.4	15.4	15.4		

住居形態別では、「一戸建て」では、「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が42.1%で最も多くなっています。「共同住宅（マンション・アパートなど）」では、「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が24.2%である一方、「手すり設置等の工事をする予定はない」が20.3%と高くなっています。

図表 5.88 現在お住まいの環境について

		n	すでに介護保険を利用して手すりの設置等を行った	住宅建築時から、手すりの設置等がされている	手すり設置等の工事をする予定はない	保険で利用しては、工事をしない	レンタルの手すり等を介護保険で利用して、工事を検討している	わからない	無回答
(単位：%)									
TOTAL		954	38.1	17.7	13.1	10.5	9.2	8.2	9.9
住居形態	一戸建て	763	42.1	19.3	12.3	10.0	9.8	7.1	7.3
	共同住宅（マンション・アパートなど）	153	24.2	12.4	20.3	15.0	7.8	11.1	11.1

住宅の所有形態別では、「持ち家」は、「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が42.1%で最も多くなっています。「民間賃貸住宅」では、「レンタルの手すり等を介護保険で利用して、工事をしない」が25.6%である一方、「公営賃貸住宅（UR、公社等含む）」では、「住宅建築時から、手すりの設置等がされている」、「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」がともに20.5%となっています。

図表 5.89 現在お住まいの環境について

		n	すでに介護保険を利用して手すりの設置等を行った	住宅建築時から、手すりの設置等がされている	手すり設置等の工事をする予定はない	保険で利用しては、工事をしない	レンタルの手すり等を介護保険で利用して、工事を検討している	わからない	無回答
(単位：%)									
TOTAL		954	38.1	17.7	13.1	10.5	9.2	8.2	9.9
所有形態	持ち家	779	42.1	18.4	13.1	9.5	9.4	7.6	7.1
	民間賃貸住宅	39	2.6	15.4	23.1	25.6	7.7	15.4	15.4
	公営賃貸住宅（UR、公社等含む）	39	20.5	20.5	17.9	12.8	5.1	12.8	10.3
	その他	13	38.5	7.7	15.4	0.0	0.0	23.1	15.4

第5章 要介護認定者調査結果

住居形態・所有形態別では、「一戸建て・持ち家」は「すでに介護保険を利用して、手すりの設置等を行った」が43.4%、「共同住宅・持ち家」は31.0%で、それぞれ最も多くなっています。

一方、「共同住宅・賃貸住宅その他」では、「住宅建築当時から、手すりの設置等がされている」が23.6%に対し、「手すり設置等の工事をする予定はない」が25.5%となっています。

図表 5.90 現在お住まいの環境について

		n	すでに介護保険を利用して たて、手すりの設置等を行っ	住宅建築当時から、手すり の設置等がされている	手すり設置等の工事をする 予定はない	保険で利用していない、工 事を	レンタルの手すり等を介 護	している設置等の工事を し	わからない	無 回 答
(単位：%)										
TOTAL		954	38.1	17.7	13.1	10.5	9.2	8.2	9.9	
住居 形態・ 所有	一戸建て・持ち家	701	43.4	19.7	12.4	9.3	9.0	7.0	7.1	
	一戸建て・賃貸住宅その他	21	23.8	4.8	19.0	23.8	14.3	14.3	9.5	
	共同住宅・持ち家	71	31.0	4.2	21.1	12.7	12.7	12.7	5.6	
	共同住宅・賃貸住宅その他	55	10.9	23.6	25.5	16.4	3.6	9.1	10.9	

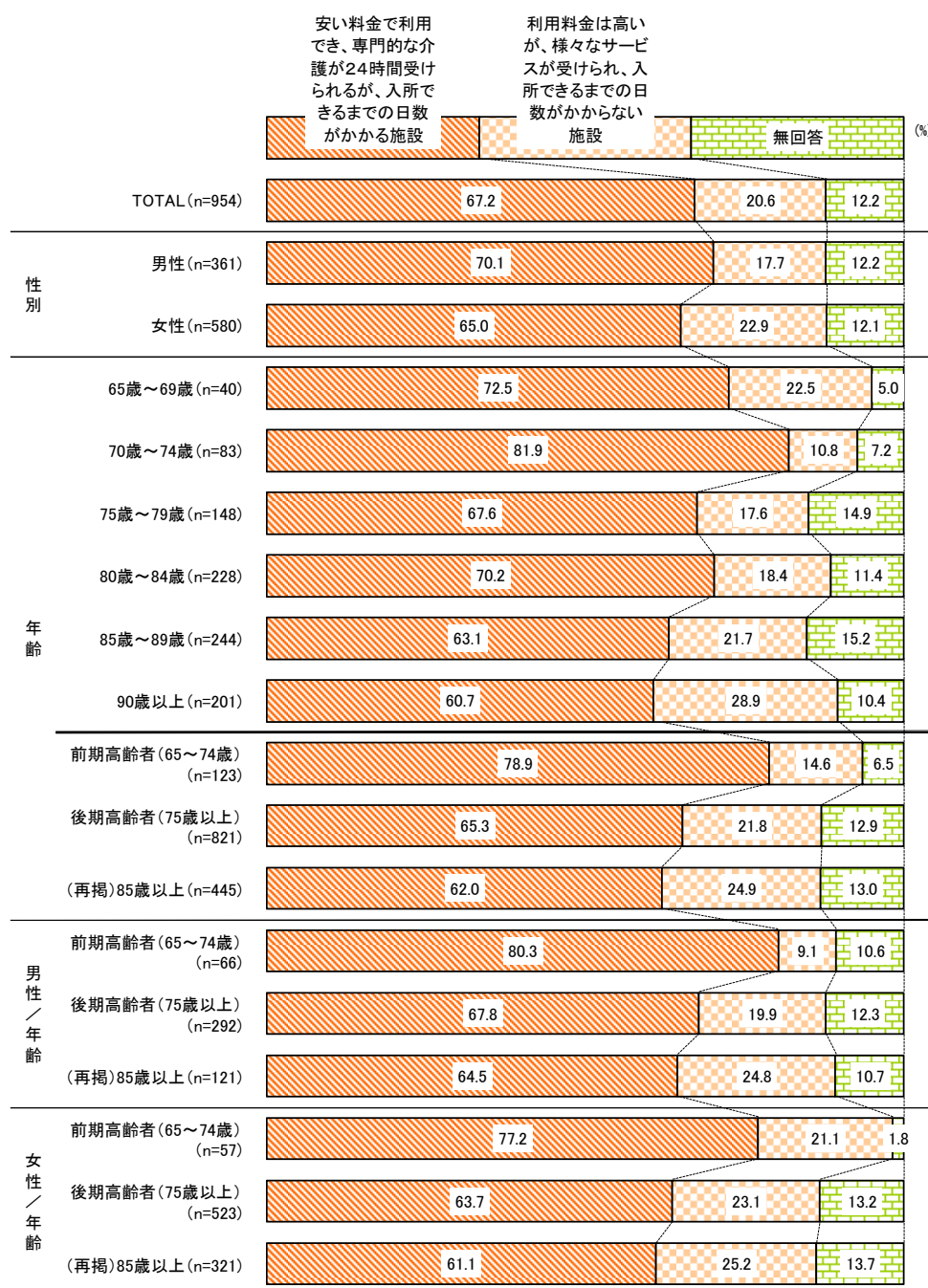
問20 今後、仮に施設への入所を検討した場合、どの施設を選びますか。(ひとつだけ○)

今後、施設入所を検討した場合については、「安い料金で利用でき、専門的な介護が24時間受けられるが、入所できるまでの日数がかかる施設」が67.2%に対し、「利用料金は高いが、様々なサービスが受けられ、入所できるまでの日数がかからない施設」が20.6%となっています。

性別では、「女性」は「利用料金は高いが、様々なサービスが受けられ、入所できるまでの日数がかからない施設」が22.9%と、「男性」の17.7%を上回っています。

年齢別では、「70歳～74歳」で「安い料金で利用でき、専門的な介護が24時間受けられるが、入所できるまでの日数がかかる施設」が81.9%と最も高い一方、「90歳以上」では、「利用料金は高いが、様々なサービスが受けられ、入所できるまでの日数がかからない施設」が28.9%と最も高くなっています。

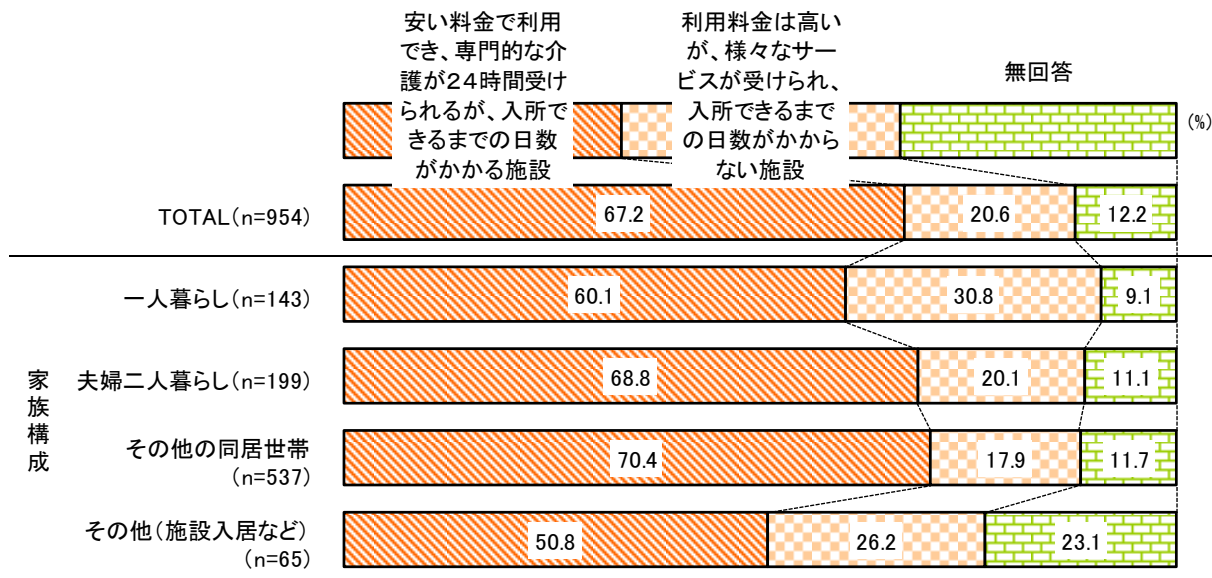
図表 5.91 施設への入所を検討した場合の希望



第5章 要介護認定者調査結果

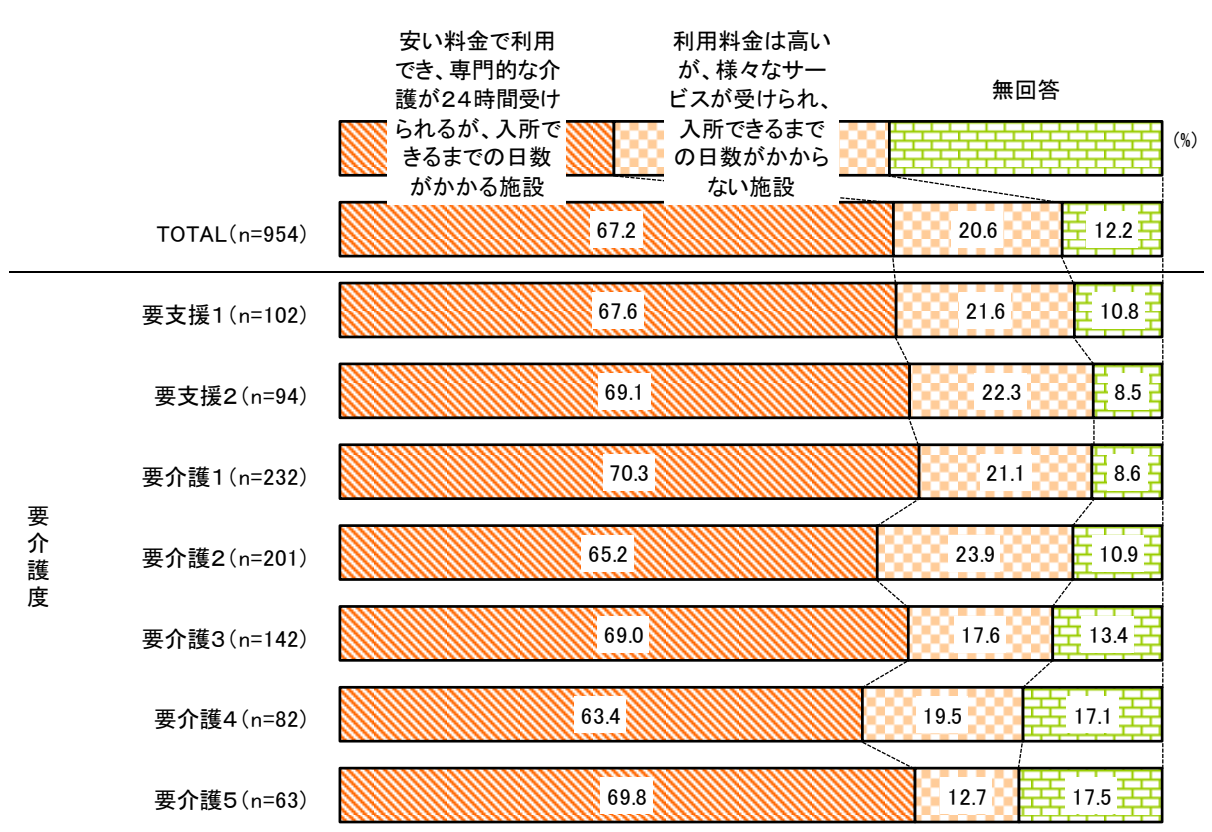
家族構成別では、「安い料金で利用でき、専門的な介護が24時間受けられるが、入所できるまでの日数がかかる施設」がいずれの家族構成でも多くなっていますが、「一人暮らし」は、「利用料金は高いが、様々なサービスが受けられ、入所できるまでの日数がかからない施設」が30.8%と他の家族構成より高くなっています。

図表 5.92 施設への入所を検討した場合の希望



介護度別では、いずれの介護度においても、「安い料金で利用でき、専門的な介護が24時間受けられるが、入所できるまでの日数がかかる施設」が6～7割となっています。

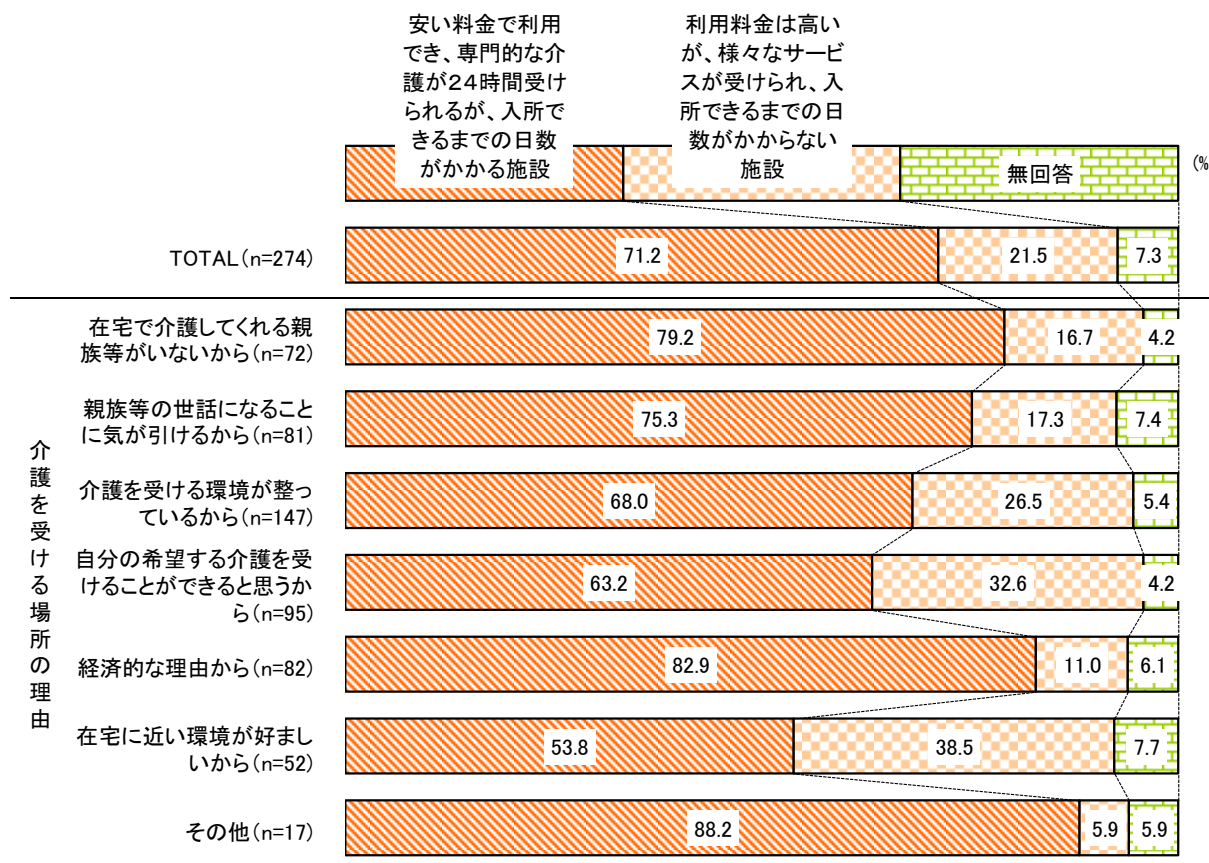
図表 5.93 施設への入所を検討した場合の希望



自宅以外での介護を希望する理由別では、いずれの理由でも「安い料金で利用でき、専門的な介護が24時間受けられるが、入所できるまでの日数がかかる施設」をあげる割合が多く、「経済的な理由から」施設を希望する方は、「安い料金で利用でき、専門的な介護が24時間受けられるが、入所できるまでの日数がかかる施設」が82.9%と、他の理由よりも高くなっています。

一方、「在宅に近い環境が好ましいから」と「自分の希望する介護を受けることができると思うから」を選んだ方は、「利用料金は高いが、様々なサービスが受けられ、入所できるまでの日数がかからない施設」がやや高くなっています。

図表 5.94 施設への入所を検討した場合の希望

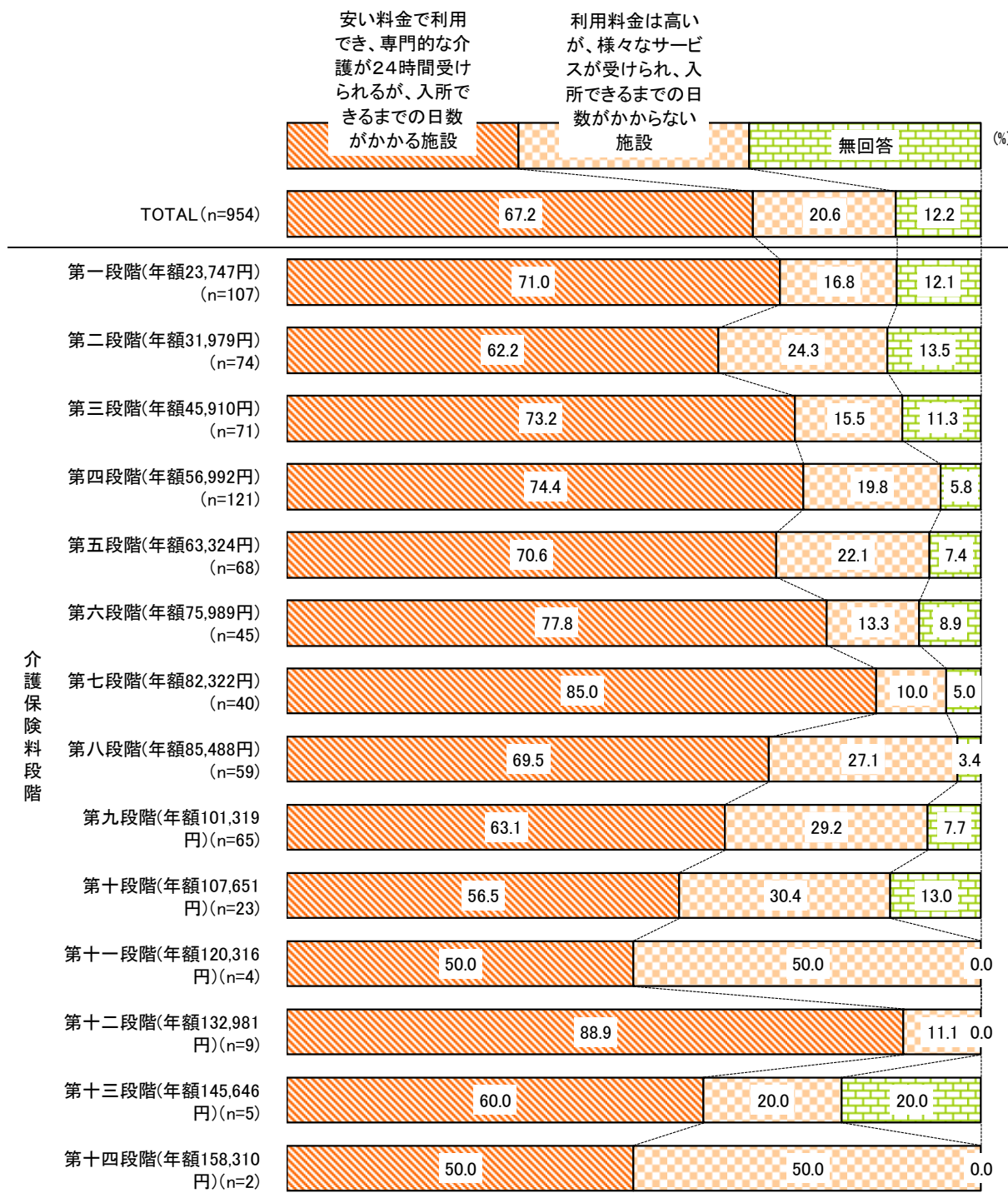


第5章 要介護認定者調査結果

自宅以外での介護を希望する方について、保険料段階別に施設の希望をみると、すべての段階で「安い料金で利用でき、専門的な介護が24時間受けられるが、入所できるまでの日数がかかる施設」が半数以上となっており、「第五段階（年額 63,324 円）」（基準額）では、「安い料金で利用でき、専門的な介護が24時間受けられるが、入所できるまでの日数がかかる施設」が70.6%となっています。

なお、第八段階以降では、「利用料金は高いが、様々なサービスが受けられ、入所できるまでの日数がかからない施設」をあげる割合が高くなる傾向がみられます。

図表 5.95 施設への入所を検討した場合の希望



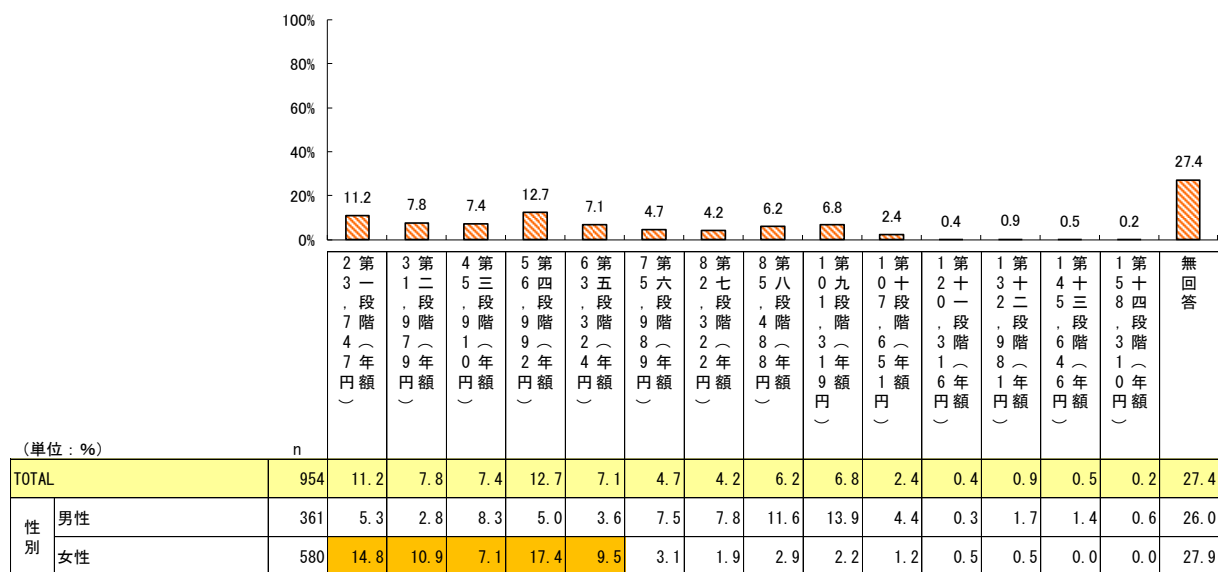
(5) 介護保険料と利用者負担について

問 21 介護保険料所得段階は次のどの段階ですか。(ひとつだけ○)

介護保険料所得段階については、「第四段階(年額 56,992 円)」が 12.7%で最も多く、次いで「第一段階(年額 23,747 円)」が 11.2%、「第二段階(年額 31,979 円)」が 7.8%、「第三段階(年額 45,910 円)」が 7.4%の順となっており、「第五段階(年額 63,324 円)」(基準額)以下の割合が多くなっています。

性別では、「男性」は、「第五段階(年額 63,324 円)」(基準額)以下が、25.0%に対し、「女性」は 59.7%と約6割となっています。

図表 5.96 介護保険料所得段階



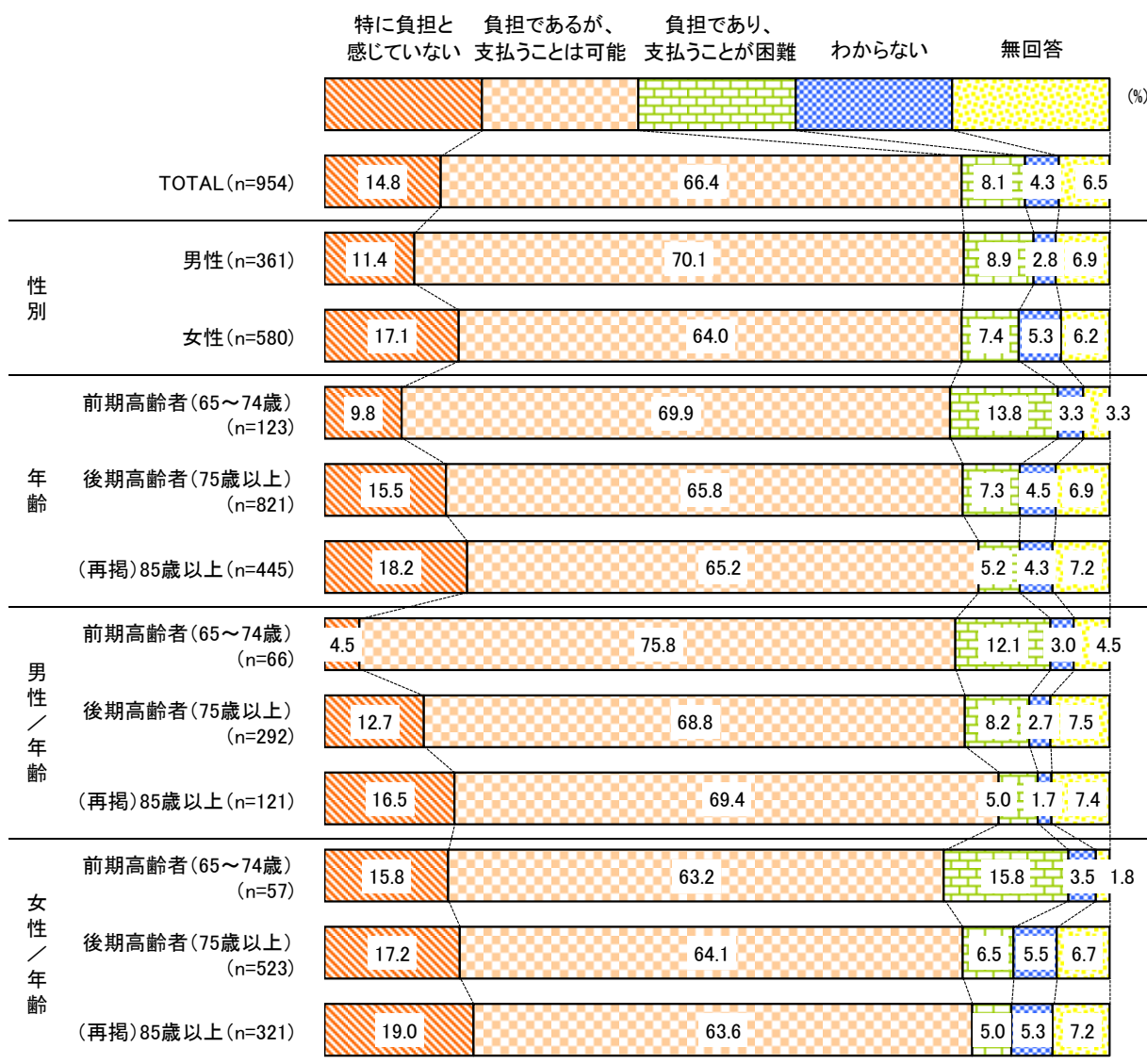
問22 介護保険料についてどのように感じていますか。(ひとつだけ○)

介護保険料については、「負担であるが、支払うことは可能」が66.4%となっているのに対し、「負担であり、支払うことが困難」は8.1%となっています。また、「特に負担と感じていない」は14.8%となっています。

性別では、「負担であるが、支払うことは可能」は、「男性」(70.1%)、「女性」(64.0%)となっています。

また、「特に負担と感じていない」、は、「前期高齢者(65～74歳)」より「後期高齢者(75歳以上)」の方が高くなっています。

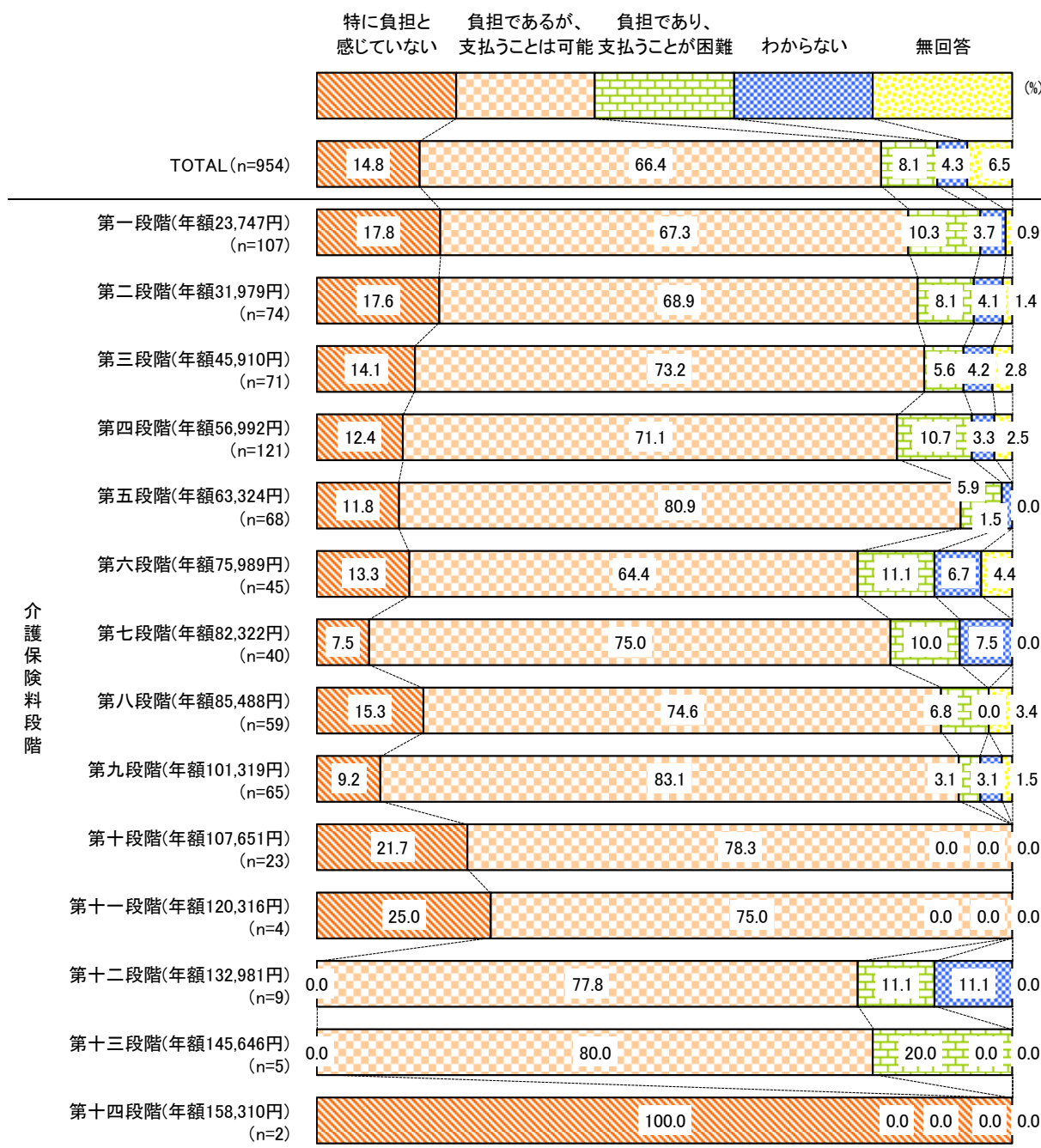
図表 5.97 介護保険料の負担感



保険料段階別では、いずれの保険料段階においても、「負担であるが、支払うことは可能」が最も多く、「第五段階(年額 63,324 円)」(基準額)では、「負担であるが、支払うことは可能」は 80.9% となっています。なお、「第六段階(年額 75,989 円)」では、「負担であり、支払うことが困難」が 11.1%と、他の段階よりも高くなっています。

一方、「第十段階(年額 107,651 円)」では、「特に負担を感じていない」が 20%を超えています。

図表 5.98 介護保険料の負担感

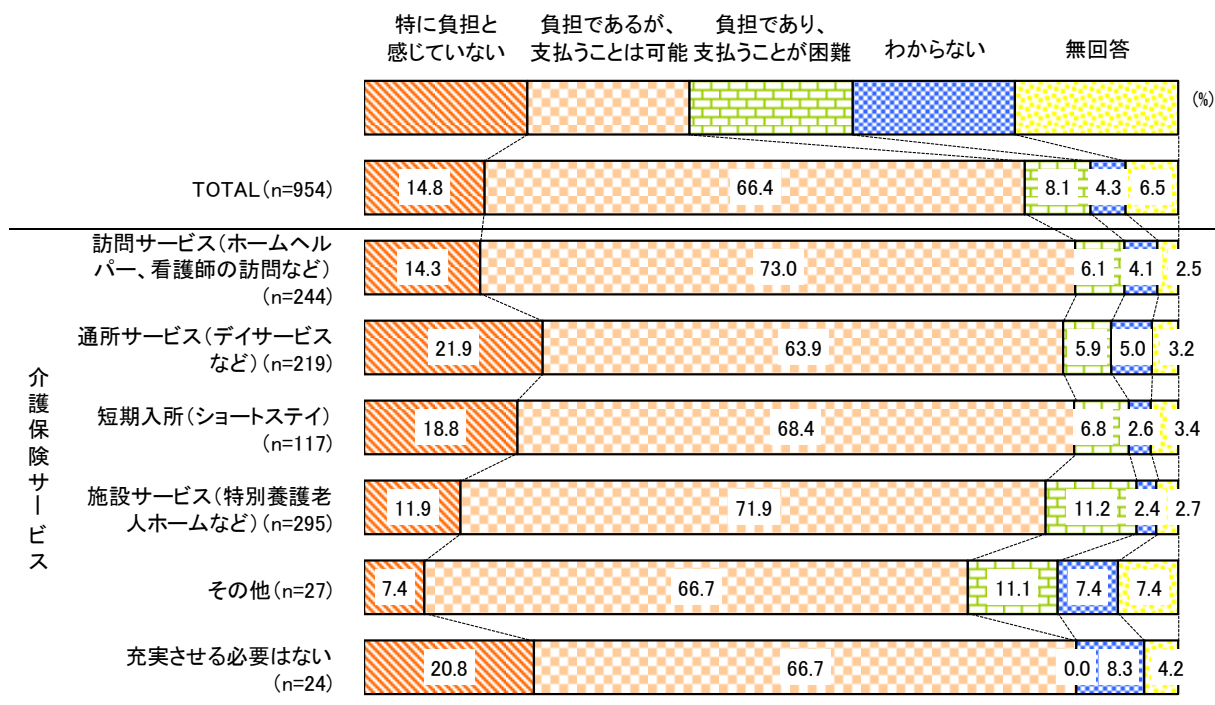


第5章 要介護認定者調査結果

今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービス別では、いずれのサービスにおいても「負担であるが、支払うことは可能」が最も多く、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」の方では、「負担であるが、支払うことは可能」が73.0%と、他の介護保険サービスよりも高くなっています。

一方、「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」の方では、「負担であり、支払うことが困難」が11.2%と、他の介護保険サービスの回答者よりも高くなっています。

図表 5.99 介護保険料の負担感



問 23 介護保険料やサービス利用料の負担が大きくなる中で、今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険のサービスは次のうちどれですか。(ひとつだけ○)

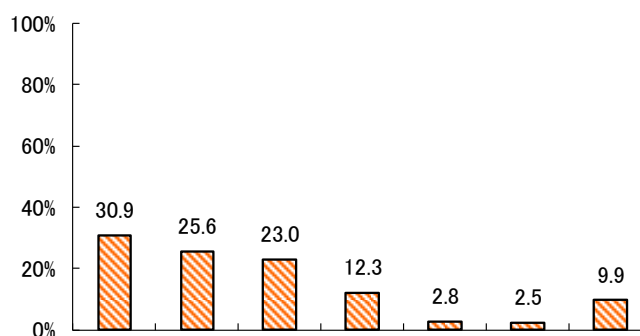
介護保険料やサービス利用料の負担が大きくなる中で、今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービスについては、「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」が 30.9%で最も多く、次いで「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が 25.6%、「通所サービス（デイサービスなど）」が 23.0%、「短期入所（ショートステイ）」（12.3%）となっています。

（複数記入者が多かったため、合計は 100%を超えています。）

性別では、大きな違いはみられません。

年齢別では、「65 歳～69 歳」は、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が、その他の年齢は、「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」が最も多くなっています（「85 歳～89 歳」は「訪問サービス」も同率）。

図表 5.100 今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービス



(単位：%)

		n	施設サービス（特別養護老人ホームなど）	訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）	通所サービス（デイサービスなど）	短期入所（ショートステイ）	その他	充実させる必要はない	無回答
TOTAL		954	30.9	25.6	23.0	12.3	2.8	2.5	9.9
性別	男性	361	31.3	23.3	21.6	13.0	1.9	3.9	11.1
	女性	580	31.2	26.9	23.3	12.1	3.4	1.7	9.0
年齢	65歳～69歳	40	22.5	30.0	27.5	15.0	5.0	2.5	5.0
	70歳～74歳	83	32.5	27.7	26.5	10.8	3.6	2.4	7.2
	75歳～79歳	148	27.7	27.0	20.9	9.5	2.0	3.4	12.8
	80歳～84歳	228	32.5	20.2	21.1	16.2	5.7	2.2	9.6
	85歳～89歳	244	29.5	29.5	21.7	9.4	1.6	2.9	11.1
	90歳以上	201	34.3	24.4	24.9	13.9	1.0	2.0	8.5
	前期高齢者（65～74歳）	123	29.3	28.5	26.8	12.2	4.1	2.4	6.5
	後期高齢者（75歳以上）	821	31.2	25.2	22.2	12.4	2.7	2.6	10.4
	（再掲）85歳以上	445	31.7	27.2	23.1	11.5	1.3	2.5	9.9

第5章 要介護認定者調査結果

家族構成別では、「一人暮らし」、「夫婦二人暮らし」は、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が3割台で最も多く、「その他の同居世帯」は「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」が33.0%と最も多くなっています。

図表 5.101 今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービス

		n	施設サービス（特別養護老人ホームなど）	訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）	通所サービス（デイサービスなど）	短期入所（ショートステイ）	その他	充実させる必要はない	無回答
(単位：%)									
TOTAL		954	30.9	25.6	23.0	12.3	2.8	2.5	9.9
家族構成	一人暮らし	143	25.2	36.4	21.0	8.4	1.4	2.1	8.4
	夫婦二人暮らし	199	23.6	32.2	22.6	14.1	2.0	3.0	10.6
	その他の同居世帯	537	33.0	21.6	25.1	13.4	3.2	2.8	9.1
	その他（施設入居など）	65	52.3	16.9	7.7	7.7	6.2	0.0	12.3

介護度別では、「要支援1」は「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」と「通所サービス（デイサービスなど）」が 27.5%、「要支援2」は「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が 39.4%、要介護では、いずれの介護度も「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」が最も多くなっています。

図表 5.102 今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービス

		n	施設サービス （特別養 護老人ホーム など）	訪問サービス （ホームヘルパー、 看護師の訪問 など）	通所サービス （デイ サービスなど）	短期入所 （ショート ステイ）	その他	充実させる 必要はない	無回答
(単位：%)									
TOTAL		954	30.9	25.6	23.0	12.3	2.8	2.5	9.9
要 介 護 度	要支援1	102	20.6	27.5	27.5	7.8	2.0	2.0	16.7
	要支援2	94	22.3	39.4	29.8	8.5	1.1	1.1	9.6
	要介護1	232	32.3	24.6	24.6	10.8	2.6	2.6	7.8
	要介護2	201	32.3	17.9	22.9	14.4	4.5	3.5	8.0
	要介護3	142	41.5	25.4	21.8	14.1	2.8	2.1	2.8
	要介護4	82	34.1	28.0	13.4	15.9	2.4	3.7	13.4
	要介護5	63	34.9	30.2	9.5	20.6	1.6	0.0	12.7

第5章 要介護認定者調査結果

保険料段階別では、第十一段階までのいずれも「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」か「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」のどちらかが最も多くなっています。

図表 5.103 今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険サービス

(単位：%)		n	施設サービス（特別養護老人ホームなど）	訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）	通所サービス（デイサービスなど）	短期入所（ショートステイ）	その他	充実させる必要はない	無回答
TOTAL		954	30.9	25.6	23.0	12.3	2.8	2.5	9.9
介護保険料段階	第一段階（年額23,747円）	107	33.6	29.9	29.0	15.0	3.7	0.0	3.7
	第二段階（年額31,979円）	74	24.3	29.7	23.0	13.5	5.4	2.7	6.8
	第三段階（年額45,910円）	71	46.5	15.5	11.3	14.1	4.2	4.2	4.2
	第四段階（年額56,992円）	121	34.7	23.1	24.0	14.9	3.3	2.5	5.0
	第五段階（年額63,324円）	68	35.3	25.0	22.1	11.8	1.5	0.0	5.9
	第六段階（年額75,989円）	45	31.1	35.6	15.6	8.9	0.0	8.9	6.7
	第七段階（年額82,322円）	40	32.5	32.5	30.0	12.5	2.5	2.5	0.0
	第八段階（年額85,488円）	59	33.9	28.8	25.4	15.3	0.0	0.0	3.4
	第九段階（年額101,319円）	65	33.8	29.2	15.4	16.9	1.5	3.1	3.1
	第十段階（年額107,651円）	23	39.1	17.4	26.1	0.0	8.7	8.7	0.0
	第十一段階（年額120,316円）	4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	第十二段階（年額132,981円）	9	33.3	0.0	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0
	第十三段階（年額145,646円）	5	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	第十四段階（年額158,310円）	2	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(6) 今後の高齢者施策等について

問 24 人生 100 年時代（※）を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組んだ方がよいと考えるものはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

※「人生 100 年時代」（100 歳まで人生が続くことが当たり前になる時代）

平均寿命が伸びることにより、100 年間生きることを前提とした人生設計の必要性が言われるようになっていきます。従来は、年齢に応じて「学ぶ・働く・老後を過ごす」という流れが人生の一般的な姿でしたが、人生 100 年時代では年齢による区切りがなくなり、学び直しや再就職、社会貢献など、人生の選択肢が多様化すると考えられています。

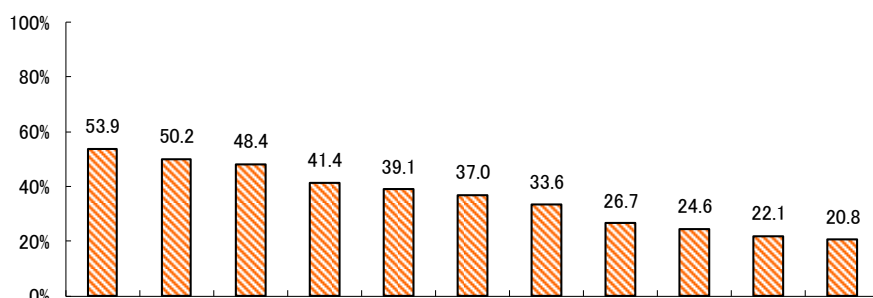
人生 100 年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきと考えるものについては、「家族介護者への支援」が 53.9%で最も多く、次いで「在宅医療の充実」が 50.2%、「特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備」が 48.4%となっており、約 5 割となっています。

また、「身体介護や生活援助などの介護サービスの充実」が 41.4%、「介護予防の充実」が 39.1%、「移動手段の確保などの外出支援」が 37.0%と約 4 割となっています。

性別では、大きな違いはみられません。

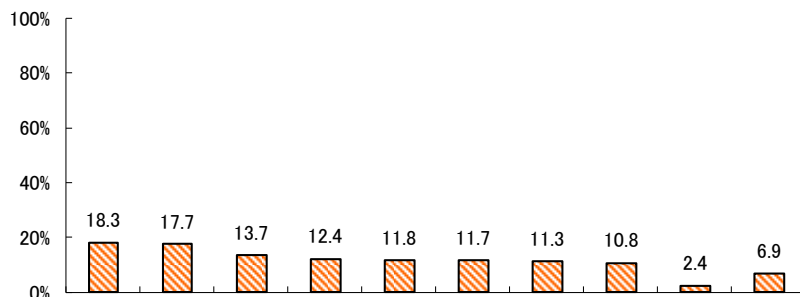
年齢別では、「70 歳～74 歳」は、「身体介護や生活援助などの介護サービスの充実」が突出しており、その他の年齢は、「家族介護者への支援」が最も多く、また、75 歳以上で「特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備」も多くなっています。

図表 5.104 人生 100 年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこと



(単位：%)

		n	家族介護者への支援	在宅医療の充実	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備	身体介護や生活援助などの介護サービスの充実	介護予防の充実	移動手段の確保など	介護サービスの充実以外の生活支援	健康意識の向上	認知症への理解促進	交流の場づくり	見守り活動の推進
TOTAL		954	53.9	50.2	48.4	41.4	39.1	37.0	33.6	26.7	24.6	22.1	20.8
性別	男性	361	53.7	47.4	48.5	41.6	38.8	39.1	33.5	29.9	25.5	21.6	20.8
	女性	580	54.0	52.1	48.8	40.9	39.5	35.9	33.3	24.8	24.3	22.8	20.7
年齢	65歳～69歳	40	55.0	47.5	32.5	35.0	37.5	32.5	27.5	15.0	20.0	10.0	12.5
	70歳～74歳	83	54.2	53.0	49.4	60.2	45.8	44.6	39.8	25.3	26.5	19.3	25.3
	75歳～79歳	148	51.4	41.2	43.9	39.9	31.1	37.8	33.8	23.0	23.0	17.6	16.9
	80歳～84歳	228	52.6	46.9	47.8	35.1	41.2	32.5	30.7	32.0	21.9	25.0	19.7
	85歳～89歳	244	54.1	53.7	52.0	45.9	38.9	40.6	34.4	26.6	29.1	26.6	25.8
	90歳以上	201	56.7	55.7	51.7	36.3	38.8	35.8	33.8	25.4	23.4	20.4	18.4
	前期高齢者 (65～74歳)	123	54.5	51.2	43.9	52.0	43.1	40.7	35.8	22.0	24.4	16.3	21.1
	後期高齢者 (75歳以上)	821	53.8	50.1	49.3	39.5	38.1	36.7	33.1	27.2	24.6	23.0	20.7
	(再掲) 85歳以上	445	55.3	54.6	51.9	41.6	38.9	38.4	34.2	26.1	26.5	23.8	22.5
男性 / 年齢	前期高齢者 (65～74歳)	66	51.5	45.5	45.5	51.5	40.9	36.4	33.3	25.8	24.2	16.7	19.7
	後期高齢者 (75歳以上)	292	54.5	47.6	49.3	39.4	37.7	39.7	33.6	30.1	25.7	22.6	20.9
	(再掲) 85歳以上	121	55.4	57.0	49.6	41.3	39.7	44.6	35.5	29.8	32.2	24.8	24.8
女性 / 年齢	前期高齢者 (65～74歳)	57	57.9	57.9	42.1	52.6	45.6	45.6	38.6	17.5	24.6	15.8	22.8
	後期高齢者 (75歳以上)	523	53.5	51.4	49.5	39.6	38.8	34.8	32.7	25.6	24.3	23.5	20.5
	(再掲) 85歳以上	321	55.1	53.6	53.0	41.7	38.9	36.1	33.6	24.9	24.6	23.7	21.5



(単位：%)

		n	向地域の防犯力、防災力の向上	地域ネットワークの強化	認知症の方の社会参加の促進	就業機会の確保	地域共生社会の実現(多様な参画・つながりによる地域社会づくり)	高齢者虐待防止のための取組推進	資産を守る支援体制の充実	生涯学習の支援	その他	無回答
TOTAL		954	18.3	17.7	13.7	12.4	11.8	11.7	11.3	10.8	2.4	6.9
性別	男性	361	18.8	16.1	13.0	13.0	10.5	11.1	10.8	11.4	1.1	8.3
	女性	580	18.3	18.6	14.3	12.2	12.9	12.4	11.7	10.7	3.1	5.9
年齢	65歳～69歳	40	17.5	7.5	12.5	17.5	10.0	7.5	17.5	10.0	2.5	5.0
	70歳～74歳	83	24.1	19.3	16.9	7.2	13.3	21.7	9.6	9.6	2.4	3.6
	75歳～79歳	148	10.8	14.2	10.8	8.8	8.8	10.1	10.8	8.8	2.7	10.1
	80歳～84歳	228	18.9	15.4	11.4	14.9	12.7	12.7	11.4	11.0	1.8	7.0
	85歳～89歳	244	20.5	23.0	17.2	12.3	13.1	11.1	12.3	11.5	3.7	7.4
	90歳以上	201	18.9	16.9	12.9	13.9	11.9	9.5	9.5	12.4	1.5	5.5
	前期高齢者(65～74歳)	123	22.0	15.4	15.4	10.6	12.2	17.1	12.2	9.8	2.4	4.1
	後期高齢者(75歳以上)	821	17.9	17.8	13.4	12.8	11.9	11.0	11.1	11.1	2.4	7.3
	(再掲) 85歳以上	445	19.8	20.2	15.3	13.0	12.6	10.3	11.0	11.9	2.7	6.5
男性／年齢	前期高齢者(65～74歳)	66	24.2	13.6	9.1	10.6	13.6	13.6	9.1	12.1	1.5	6.1
	後期高齢者(75歳以上)	292	17.8	16.1	13.7	13.7	9.9	10.3	11.0	11.3	1.0	8.9
	(再掲) 85歳以上	121	21.5	19.8	19.0	14.9	11.6	10.7	13.2	11.6	0.8	10.7
女性／年齢	前期高齢者(65～74歳)	57	19.3	17.5	22.8	10.5	10.5	21.1	15.8	7.0	3.5	1.8
	後期高齢者(75歳以上)	523	18.2	18.7	13.4	12.4	13.2	11.5	11.3	11.1	3.1	6.3
	(再掲) 85歳以上	321	19.3	20.6	14.0	12.5	13.1	10.3	10.3	12.1	3.4	5.0

第5章 要介護認定者調査結果

家族構成別では、「一人暮らし」は、「介護予防の充実」が49.0%となっています。また、「家族介護者への支援」が「夫婦二人暮らし」で57.8%、「その他の同居世帯」で60.9%と、他の家族構成より高くなっています。

図表 5.105 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこと

		n	家族介護者への支援	在宅医療の充実	特別養護老人ホームなどの整備	身体介護や生活援助などの介護サービスの充実	介護予防の充実	移動手段の確保などの外出支援	介護サービス以外の生活	健康意識の向上	認知症への理解促進	交流の場づくり	見守り活動の推進
(単位：%)		n											
TOTAL		954	53.9	50.2	48.4	41.4	39.1	37.0	33.6	26.7	24.6	22.1	20.8
家族構成	一人暮らし	143	29.4	53.1	47.6	41.3	49.0	43.4	42.0	29.4	23.1	24.5	25.9
	夫婦二人暮らし	199	57.8	54.8	43.2	44.7	37.7	42.7	37.2	32.2	26.1	22.1	25.1
	その他の同居世帯	537	60.9	49.5	49.7	40.6	37.2	33.0	30.7	24.6	24.8	22.5	17.5
	その他（施設入居など）	65	40.0	38.5	60.0	35.4	36.9	43.1	27.7	23.1	23.1	15.4	24.6

		n	地域ネットワークの強化	地域共生社会の実現（多様な参画・つながりによる地域社会づくり）	就労機会の確保	認知症の方の社会参加の促進	地域共生活待防止のための取組推進	高齢者虐待防止のための取組推進	資産を守る支援体制の充実	生涯学習の支援	その他	無回答
(単位：%)		n										
TOTAL		954	18.3	17.7	13.7	12.4	11.8	11.7	11.3	10.8	2.4	6.9
家族構成	一人暮らし	143	23.1	18.2	8.4	9.8	16.8	13.3	14.0	12.6	4.9	5.6
	夫婦二人暮らし	199	22.1	19.1	15.6	9.5	11.6	12.6	13.1	10.6	3.0	8.0
	その他の同居世帯	537	16.2	17.1	14.3	14.3	11.0	11.5	10.2	11.4	1.5	6.7
	その他（施設入居など）	65	15.4	16.9	15.4	12.3	10.8	9.2	9.2	4.6	3.1	3.1

今後介護を受けたい場所別では、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」方では、「在宅医療の充実」が63.1%と、最も多くなっています。「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい」方では、「特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備」が55.3%と、最も多くなっています。

グループホームや特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど、在宅以外で介護を受けたい方は、「特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備」を求める割合が高くなっています。

図表 5.106 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこと

		n	家族介護者への支援	在宅医療の充実	特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備	身体介護や生活援助などの充実	介護予防の充実	移動手段の確保などの外	介護サービス以外の生活	健康意識の向上	認知症への理解促進	交流の場づくり	見守り活動の推進
(単位：%)		n											
TOTAL		954	53.9	50.2	48.4	41.4	39.1	37.0	33.6	26.7	24.6	22.1	20.8
どこで介護を受けたいか	自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい	477	59.3	63.1	41.3	46.1	43.4	38.4	37.5	30.6	26.8	24.5	23.1
	認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい	38	52.6	36.8	55.3	44.7	50.0	34.2	42.1	28.9	52.6	28.9	26.3
	介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	182	56.0	39.0	72.5	41.2	35.7	43.4	34.6	25.8	19.2	19.2	19.8
	高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい	40	52.5	47.5	67.5	50.0	37.5	50.0	35.0	35.0	25.0	35.0	22.5
	その他	14	28.6	28.6	57.1	28.6	28.6	28.6	14.3	7.1	14.3	14.3	7.1
	わからない	138	42.8	37.0	42.8	30.4	32.6	27.5	24.6	18.1	21.0	16.7	16.7

		n	地域ネットワークの強化	地域ネットワークの強化	認知症の方の社会参加の促進	就業機会の確保	様々な地域社会づくり（多様な参画・つながりによる）	地域共生社会の実現（多様な参画・つながりによる）	高齢者虐待防止のための取組推進	資産を守る支援体制の充実	生涯学習の支援	その他	無回答
(単位：%)		n											
TOTAL		954	18.3	17.7	13.7	12.4	11.8	11.7	11.3	10.8	2.4	6.9	
どこで介護を受けたいか	自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい	477	21.8	20.5	13.4	13.6	13.0	12.8	10.9	12.4	1.5	5.5	
	認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）で介護を受けたい	38	21.1	31.6	36.8	31.6	7.9	13.2	23.7	13.2	5.3	5.3	
	介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい	182	14.8	13.7	12.6	11.5	11.5	10.4	12.1	10.4	2.7	3.8	
	高齢者向け住宅（有料老人ホームなど）に入りたい	40	30.0	30.0	25.0	7.5	25.0	12.5	10.0	20.0	0.0	2.5	
	その他	14	21.4	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	
	わからない	138	10.9	9.4	9.4	10.9	9.4	12.3	9.4	6.5	5.1	10.9	

第5章 要介護認定者調査結果

介護保険制度・高齢者福祉施策についての考え方別では、「とても充実している」、「まあ充実している」いずれにおいても、「家族介護者への支援」が最も多い一方、「まあ充実している」では、「在宅医療の充実」が「家族介護者への支援」と同率となっています。

図表 5.107 人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこと

		n	家族介護者への支援	在宅医療の充実	特別養護老人ホームなどの整備	介護保険サービスの充実	身体介護や生活援助などの充実	介護予防の充実	移動手段の確保などの外	介護サービス以外の生活	健康意識の向上	認知症への理解促進	交流の場づくり	見守り活動の推進
(単位：%)		n												
TOTAL		954	53.9	50.2	48.4	41.4	39.1	37.0	33.6	26.7	24.6	22.1	20.8	
者介護 福祉保 険制 策に 度つ い高 齢	とても充実している	75	56.0	46.7	42.7	44.0	48.0	32.0	26.7	42.7	24.0	25.3	26.7	
	まあ充実している	403	53.6	53.6	50.6	38.7	39.7	35.7	31.5	28.3	24.1	24.1	19.6	
	どちらとも言えない	301	59.5	53.5	52.5	46.8	40.5	42.9	40.9	25.9	28.2	19.3	24.6	
	あまり充実していない	25	64.0	68.0	56.0	68.0	28.0	40.0	48.0	16.0	16.0	20.0	24.0	
	充実していない	16	43.8	18.8	68.8	56.3	37.5	31.3	56.3	25.0	37.5	25.0	37.5	
(単位：%)		n												
TOTAL		954	18.3	17.7	13.7	12.4	11.8	11.7	11.3	10.8	2.4	6.9		
者介護 福祉保 険制 策に 度つ い高 齢	とても充実している	75	16.0	21.3	18.7	14.7	16.0	9.3	14.7	13.3	1.3	8.0		
	まあ充実している	403	20.3	16.4	12.7	12.4	10.7	9.2	9.2	12.7	1.7	3.7		
	どちらとも言えない	301	18.6	18.9	14.0	12.6	12.3	16.9	12.6	10.3	3.0	4.0		
	あまり充実していない	25	24.0	20.0	12.0	4.0	12.0	16.0	12.0	4.0	4.0	0.0		
	充実していない	16	12.5	12.5	31.3	18.8	18.8	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0		

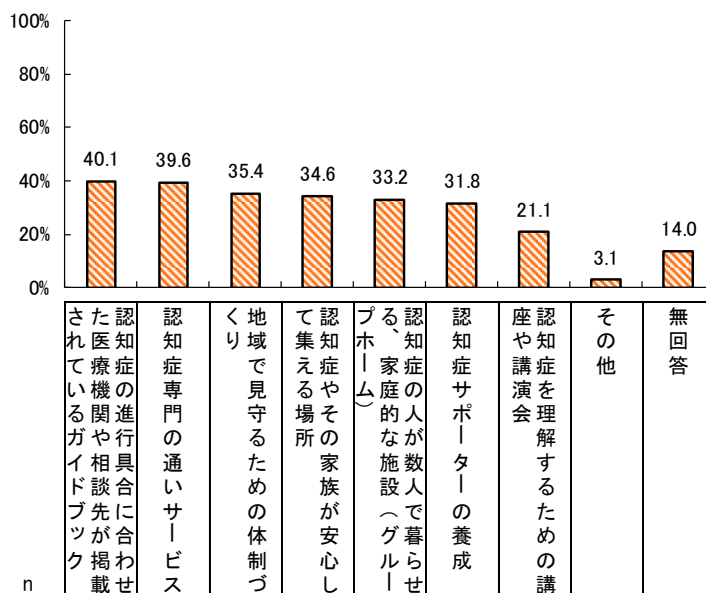
問 25 認知症の方への支援として充実を望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の方への支援として充実を望むことについては、「認知症の進行具合に合わせた医療機関や相談先が掲載されているガイドブック」が40.1%、「認知症専門の通いサービス」が39.6%といずれも約4割となっています。次いで「地域で見守るための体制づくり」が35.4%、「認知症やその家族が安心して集える場所」が34.6%の順となっています。

性別では、大きな違いはみられません。

年齢別では、支援を望むものは様々となっています。

図表 5.108 認知症支援として充実を望むこと



		(単位：%)	n	40.1	39.6	35.4	34.6	33.2	31.8	21.1	3.1	14.0
TOTAL			954	40.1	39.6	35.4	34.6	33.2	31.8	21.1	3.1	14.0
性別	男性		361	38.8	37.1	35.2	31.3	33.0	30.5	19.1	2.2	16.6
	女性		580	41.4	40.9	35.9	36.4	34.1	32.4	22.4	3.8	12.2
年齢	65歳～69歳		40	47.5	37.5	25.0	27.5	30.0	27.5	12.5	2.5	10.0
	70歳～74歳		83	44.6	38.6	45.8	36.1	30.1	45.8	21.7	1.2	6.0
	75歳～79歳		148	33.8	33.1	33.1	35.8	33.1	28.4	18.9	2.0	18.2
	80歳～84歳		228	37.3	36.4	34.2	35.1	34.6	28.5	20.2	3.5	16.7
	85歳～89歳		244	41.8	40.6	37.7	34.4	34.4	31.6	23.0	5.3	15.2
	90歳以上		201	42.3	45.8	32.8	33.3	33.3	33.3	21.4	2.0	10.9
	前期高齢者（65～74歳）		123	45.5	38.2	39.0	33.3	30.1	39.8	18.7	1.6	7.3
	後期高齢者（75歳以上）		821	39.2	39.3	34.7	34.6	34.0	30.6	21.1	3.4	15.1
	（再掲）85歳以上		445	42.0	42.9	35.5	33.9	33.9	32.4	22.2	3.8	13.3
男性／年齢	前期高齢者（65～74歳）		66	42.4	28.8	39.4	25.8	27.3	33.3	13.6	1.5	10.6
	後期高齢者（75歳以上）		292	37.7	38.7	33.9	32.5	34.2	29.8	19.5	2.4	18.2
	（再掲）85歳以上		121	42.1	45.5	37.2	33.9	33.1	34.7	24.0	1.7	18.2
女性／年齢	前期高齢者（65～74歳）		57	49.1	49.1	38.6	42.1	33.3	47.4	24.6	1.8	3.5
	後期高齢者（75歳以上）		523	40.5	40.0	35.6	35.8	34.2	30.8	22.2	4.0	13.2
	（再掲）85歳以上		321	42.4	42.4	35.2	34.0	34.6	31.5	21.8	4.7	11.2

第5章 要介護認定者調査結果

家族構成別による大きな差はみられませんが、「一人暮らし」では、「地域で見守るための体制づくり」が44.1%と最も多くなっています。「夫婦二人暮らし」では「認知症の進行具合に合わせた医療機関や相談先が掲載されているガイドブック」が43.7%、「その他の同居世帯」では「認知症専門の通いサービス」が41.2%、「その他（施設入居など）」では「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が41.5%と最も多くなっています。

図表 5.109 認知症支援として充実を望むこと

		n	された医療機関やガイドブックが掲載	認知症専門の通いサービス	地域で見守るための体制づくり	認知症やその家族が安心して集える場所	グループホーム）認知症の人が数人で暮らせる家庭的な施設（グループホーム）	認知症サポーターの養成	認知症を理解するための講座や講演会	その他	無回答
(単位：%)											
TOTAL		954	40.1	39.6	35.4	34.6	33.2	31.8	21.1	3.1	14.0
家族構成	一人暮らし	143	38.5	32.2	44.1	29.4	33.6	34.3	22.4	4.2	14.0
	夫婦二人暮らし	199	43.7	40.7	37.7	36.2	36.7	35.7	20.1	2.5	15.1
	その他の同居世帯	537	39.7	41.2	33.0	36.1	31.5	30.4	22.5	2.6	13.6
	その他（施設入居など）	65	38.5	36.9	30.8	27.7	41.5	27.7	9.2	7.7	10.8

介護度別による大きな差はありませんが、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」は要支援では2割台で、要介護では3割以上と高くなっています。また、「認知症の進行具合に合わせた医療機関や相談先が掲載されているガイドブック」が「要支援1」、「要介護1」、「要介護5」で高くなっています。

図表 5.110 認知症支援として充実を望むこと

		単位：%	n	された医療機関やガイドブックが掲載	認知症の進行具合に合わせた	認知症専門の通いサービス	地域で見守るための体制づくり	認知症やその家族が安心して集える場所	グループホーム）家庭的な施設（グループホーム）	認知症の人数で暮らせる	認知症サポーターの養成	認知症を理解するための講座や講演会	その他	無回答
TOTAL			954	40.1	39.6	35.4	34.6	33.2	31.8	21.1	3.1	14.0		
要介護度	要支援1		102	41.2	24.5	33.3	33.3	22.5	24.5	21.6	2.9	18.6		
	要支援2		94	21.3	31.9	37.2	33.0	26.6	34.0	16.0	7.4	17.0		
	要介護1		232	49.1	47.0	34.5	37.5	32.3	33.6	20.3	3.0	10.8		
	要介護2		201	37.3	40.3	36.8	34.3	41.3	31.8	18.4	2.5	11.9		
	要介護3		142	40.1	45.8	34.5	36.6	38.0	32.4	24.6	1.4	12.0		
	要介護4		82	40.2	42.7	40.2	28.0	34.1	32.9	26.8	4.9	11.0		
	要介護5		63	44.4	31.7	31.7	33.3	36.5	34.9	19.0	3.2	14.3		

第5章 要介護認定者調査結果

今後利用したい（継続したい）介護保険サービス別では、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」、「通所サービス（デイサービスなど）」の利用希望の方は、いずれも「認知症専門の通いサービス」、「認知症の進行具合に合わせた医療機関や相談先が掲載されているガイドブック」の順に多くなっています。

「短期入所（ショートステイ）」は、「認知症専門の通いサービス」、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」が多くなっています。

「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」の利用希望の方では、「認知症の進行具合に合わせた医療機関や相談先が掲載されているガイドブック」、「認知症の人が数人で暮らせる、家庭的な施設（グループホーム）」がともに 48.8%と多くなっており、次いで「認知症専門の通いサービス」となっています。

図表 5.111 認知症支援として充実を望むこと

		さ た れ て い る ガ イ ド ブ ッ ク	認 知 症 の 進 行 具 合 に 合 わ せ	認 知 症 専 門 の 通 い サ ー ビ ス	く 地 域 で 見 守 る た め の 体 制 づ	て 認 知 症 や そ の 家 族 が 安 心 し	ブ ホ ー ム ） 、 家 庭 的 な 施 設 （ グ ル ー プ ）	認 知 症 サ ポ ー タ ー の 養 成	座 認 知 症 を 理 解 す る た め の 講 演 会	そ の 他	無 回 答
(単位：%)		n									
TOTAL		954	40.1	39.6	35.4	34.6	33.2	31.8	21.1	3.1	14.0
利用 した い 介 護 保 険 サ ー ビ ス	訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）	324	44.1	44.4	41.0	38.9	34.9	36.4	27.2	3.4	11.4
	通所サービス（デイサービスなど）	498	44.6	45.8	36.9	39.2	35.9	33.7	22.7	2.0	10.6
	短期入所（ショートステイ）	292	44.9	49.0	33.2	40.8	45.5	34.9	22.9	1.7	9.2
	福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）	410	46.8	45.9	36.8	39.0	35.1	32.2	23.2	1.5	10.7
	福祉用具購入・住宅改修費	239	49.0	46.0	41.4	47.3	35.1	40.6	27.6	2.5	7.9
	その他の居宅サービス	45	42.2	64.4	51.1	53.3	42.2	55.6	37.8	8.9	8.9
	施設サービス（特別養護老人ホームなど）	211	48.8	48.3	35.1	34.6	48.8	40.3	21.3	3.3	5.7
	わからない	48	31.3	33.3	41.7	29.2	31.3	33.3	16.7	6.3	16.7
	特になし	66	37.9	33.3	31.8	25.8	25.8	24.2	19.7	0.0	24.2

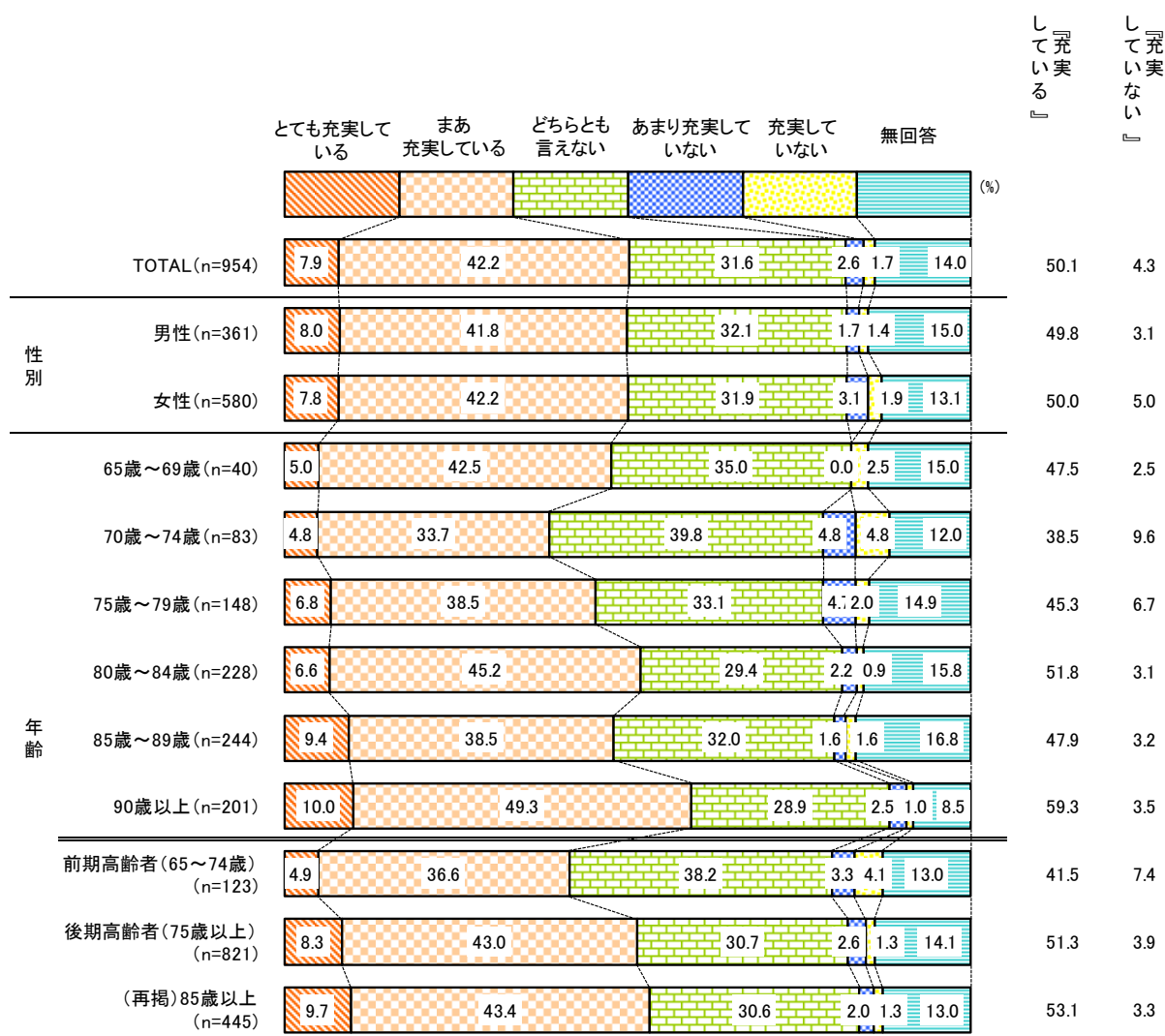
問 26 宛名の御本人様は介護保険制度・高齢者福祉施策について、どのように感じますか。
(もっとも近い考えをひとつだけ○)

介護保険制度・高齢者福祉施策については、「とても充実している」(7.9%)、「まあ充実している」(42.2%)を合わせた『充実している』の割合は50.1%となっています。「あまり充実していない」(2.6%)、「充実していない」(1.7%)を合わせた『充実していない』は4.3%となっています。また「どちらとも言えない」が31.6%となっています。

性別では、大きな違いはみられません。

年齢別では、「80歳～84歳」が、「とても充実している」、「まあ充実している」を合わせた『充実している』の割合が51.8%、「90歳以上」では、59.3%と他の年齢より高くなっています。

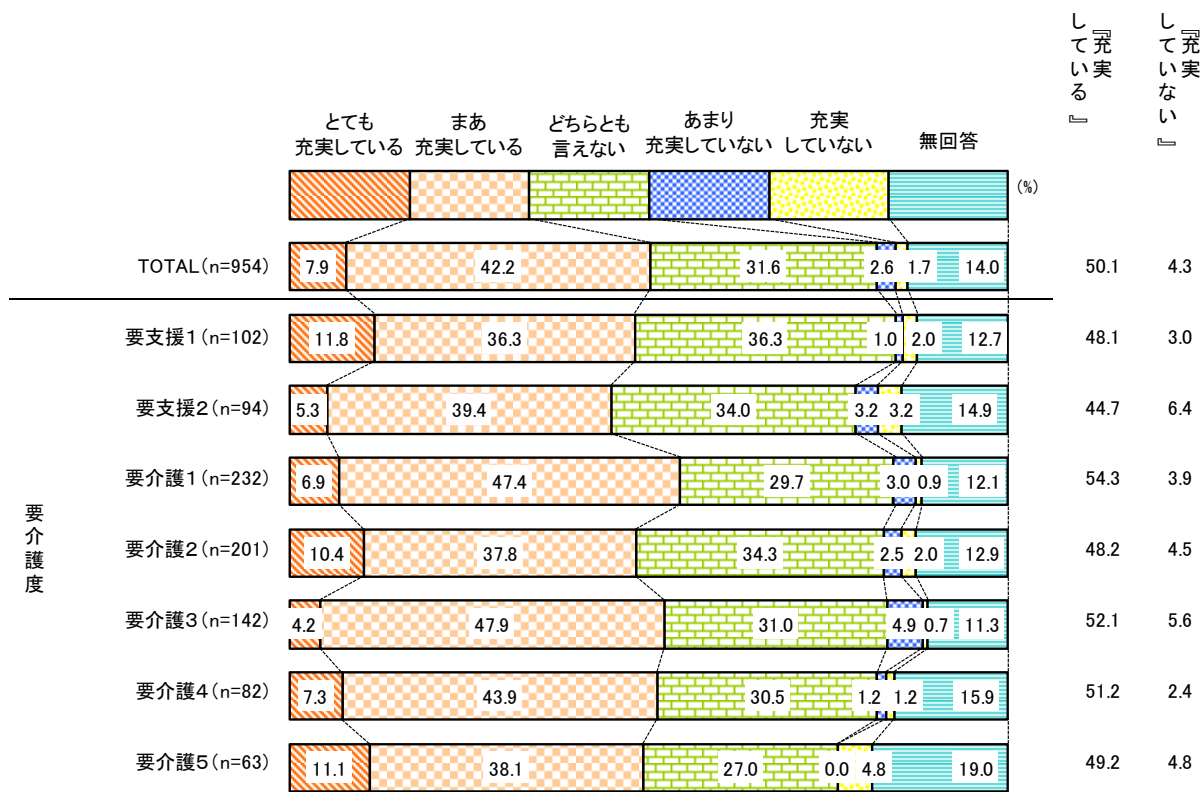
図表 5.112 介護保険制度・高齢者福祉施策の充実度



第5章 要介護認定者調査結果

介護度別では、「とても充実している」、「まあ充実している」を合わせた『充実している』は、「要介護1」で54.3%と最も高くなっています。また、「とても充実している」は、「要支援1」(11.8%)、「要介護2」(10.4%)、「要介護5」(11.1%)でそれぞれ1割台と他の介護度よりやや高くなっています。

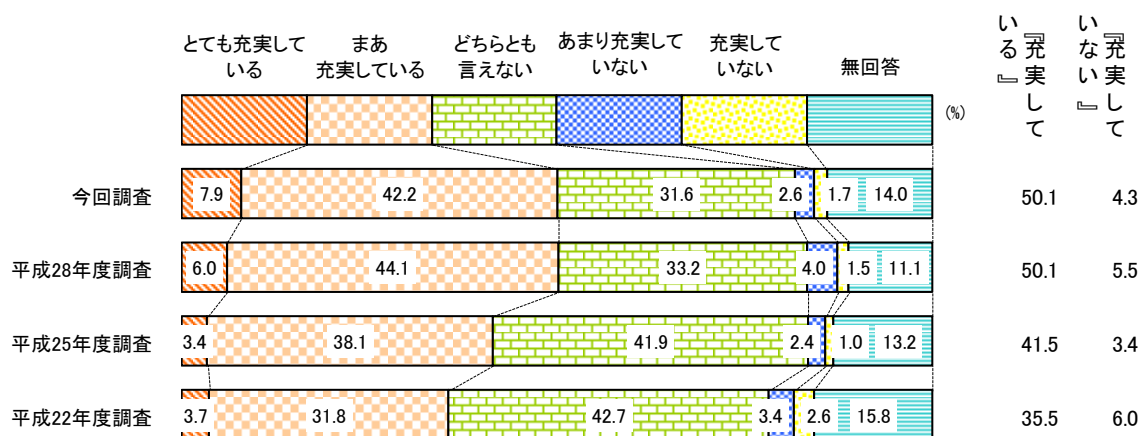
図表 5.113 介護保険制度・高齢者福祉施策の充実度



(経年比較)

前回（平成28年度）以前と比較してみると、『充実している』は前回と同じく、過半数となっています。そのうち、「とても充実している」は増加傾向となっています。

図表 5.114 介護保険制度・高齢者福祉施策の充実度



問26 (4. あまり充実していない、5. 充実していない と回答した人) そのように感じている理由は何ですか。

(以下、32件から抜粋)

(1) 生活支援、社会参加について

- ・電球の交換など高い場所の手助けをお願いしたい。(男性、70歳～74歳、要介護2)
- ・防災などの面で自治会に入らない人への対応が必要だと思います。(男性、75歳～79歳、要介護1)

(2) 介護保険制度について

- ・介護制度が複雑すぎて、老老介護をする家庭が多い中、不親切な制度と感じる。(男性、85歳～89歳、要介護3)
- ・家族があるとあてはまりません。一人の生活者のみの介護保険かなと思う。(女性、70歳～74歳、要支援1)

(3) 介護サービスの内容について

- ・ヘルパーさんの時間が短い。(女性、85歳～89歳、要介護2)
- ・人手が足りないようですが、入浴の時、脱いだり着たりするのにお手伝いをしてもらいたいです。(女性、80歳～84歳、要介護3)

(4) 介護保険料・費用負担について

- ・ショートステイ等の利用はとても助かるが、紙おむつの補助などはなく、費用負担が大きい。(女性、75歳～79歳、要介護3)
- ・介護保険料が高い。サービス利用料が高い。高齢者の経済的負担が大きい。(男性、80歳～84歳、要介護3)
- ・低所得者にとって金銭的に厳しい。利用したいけど生活が苦しくなる。高齢の障害者がいるので普通の生活ができない。(女性、70歳～74歳、要介護5)
- ・年金生活なのに税金の負担が大きすぎる。もっと高所得者や自営業から強制的に負担させるべき。(女性、85歳～89歳、要介護2)
- ・費用がかかりすぎる。(男性、75歳～79歳、要介護1)
- ・デイサービスの利用料金が高いと思います。介護していると年金のみで生活していたら、毎日のことを節約しないとならないので、サービスまで受けられるようにしてほしい。(女性、80歳～84歳、要介護1)

(5) 介護施設について

- ・入所を希望した時、すぐに入れる特別養護老人ホームがほしい。(女性、90歳以上、要介護2)
- ・自宅周辺に本人に適した施設がないため、介護保険料を納めているにもかかわらず、制度を利用することができない。(女性、85歳～89歳、要介護1)
- ・もし家族に下の世話をしてもらおうと思うと3日ともたないと思う。しかし、人は死なないし相談しても介護施設にはすぐ入れない。どうしていいのか考えただけで苦しい。(女性、80歳～84歳、要支援1)

(6) 介護関係スタッフについて

- ・ケアマネジャーと合わない。思うように自分の希望が届かない。(女性、75歳～79歳、要介護1)
- ・ケアマネジャーの役割がよくわからない。(女性、75歳～79歳、要介護1)
- ・介護を受けたことは無いのですが、お世話をする方が他の方の所へ見えた時、立ち寄られたのでお話したところ、お世話する方にもう少し医学の知識があればと感じました。(女性、85歳～89歳、要支援2)
- ・社協、福祉村、民生委員、包括支援センター、自治会などの役割の明確化が必要だと思います。(男性、75歳～79歳、要介護1)

(7) 介護認定者について

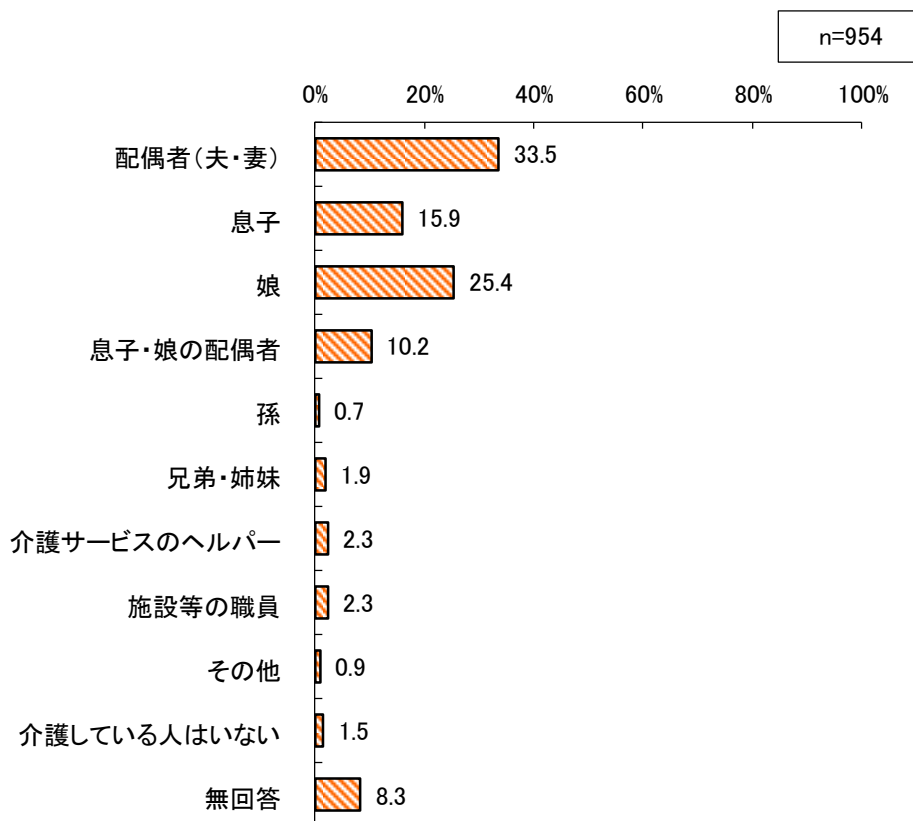
- ・介護認定者の能力、勉強不足を感じます。(女性、90歳以上、要介護1)

(7) 中心介護者について

問 27 中心となって介護をしている方は、宛名の御本人様から見てどのような御関係にありますか。(ひとつだけ○)

中心となって介護をしている方については、「配偶者（夫・妻）」が33.5%で最も多く、次いで「娘」が25.4%、「息子」が15.9%、「息子・娘の配偶者」が10.2%の順となっています。また、「兄弟・姉妹」(1.9%)、「孫」(0.7%)を含め、『親族』は87.6%となっています。
 (複数記入者が多かったため、合計は100%を超えています。)

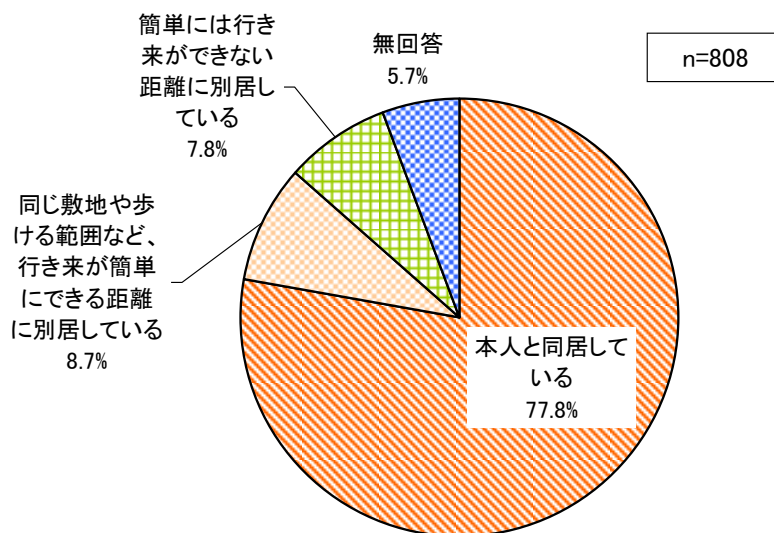
図表 5.115 中心となって介護をしている方の続柄



問 28 中心となって介護をしている方は、同居されていますか。(ひとつだけ○)

家族介護者の同居状況については、「本人と同居している」が77.8%、「同じ敷地や歩ける範囲など、行き来が簡単にできる距離に別居している」が8.7%、「簡単には行き来ができない距離に別居している」が7.8%となっています。

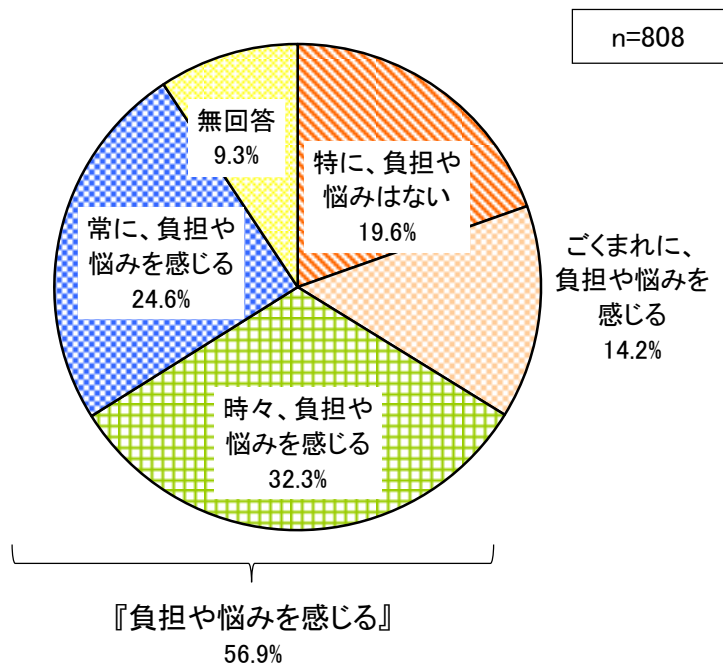
図表 5.116 中心となって介護をしている方と介護者の同居状況



問 29 中心となって介護をしている方は、介護の負担や悩みを感じることがありますか。(ひとつだけ○)

中心介護者の介護の負担や悩みについては、「時々、負担や悩みを感じる」(32.3%)と、「常に、負担や悩みを感じる」(24.6%)を合わせて、『負担や悩みを感じる』が56.9%となっています。一方、「特に、負担や悩みはない」は19.6%となっています。

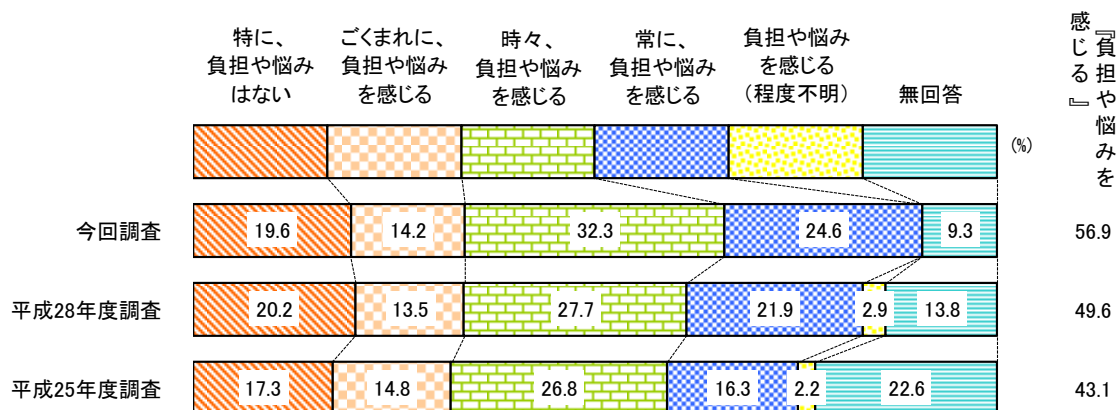
図表 5.117 中心介護者は負担や悩みを感じているか



(経年比較)

前回（平成28年度）以前と比較してみると、『負担や悩みを感じる』が56.9%と前回より7.3ポイント増加しています。

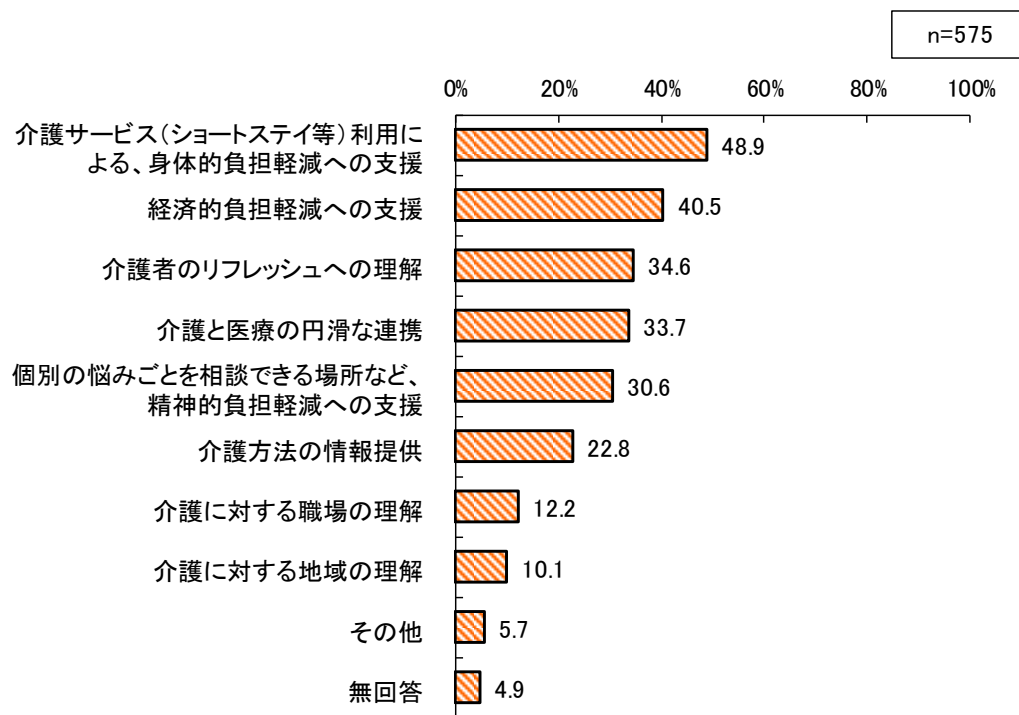
図表 5.118 中心介護者は負担や悩みを感じているか



問 29-1 問 29 で 2～4 に○をつけた方にうかがいます。負担や悩みを和らげるにはどのような理解や支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

介護者の負担や悩みを和らげるに必要と思われる理解や支援について、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が 48.9% で最も多く、次いで「経済的負担軽減への支援」が 40.5%、以下、「介護者のリフレッシュへの理解」（34.6%）、「介護と医療の円滑な連携」（33.7%）、「個別の悩みごとを相談できる場所など、精神的負担軽減への支援」（30.6%）がいずれも 3 割台となっています。

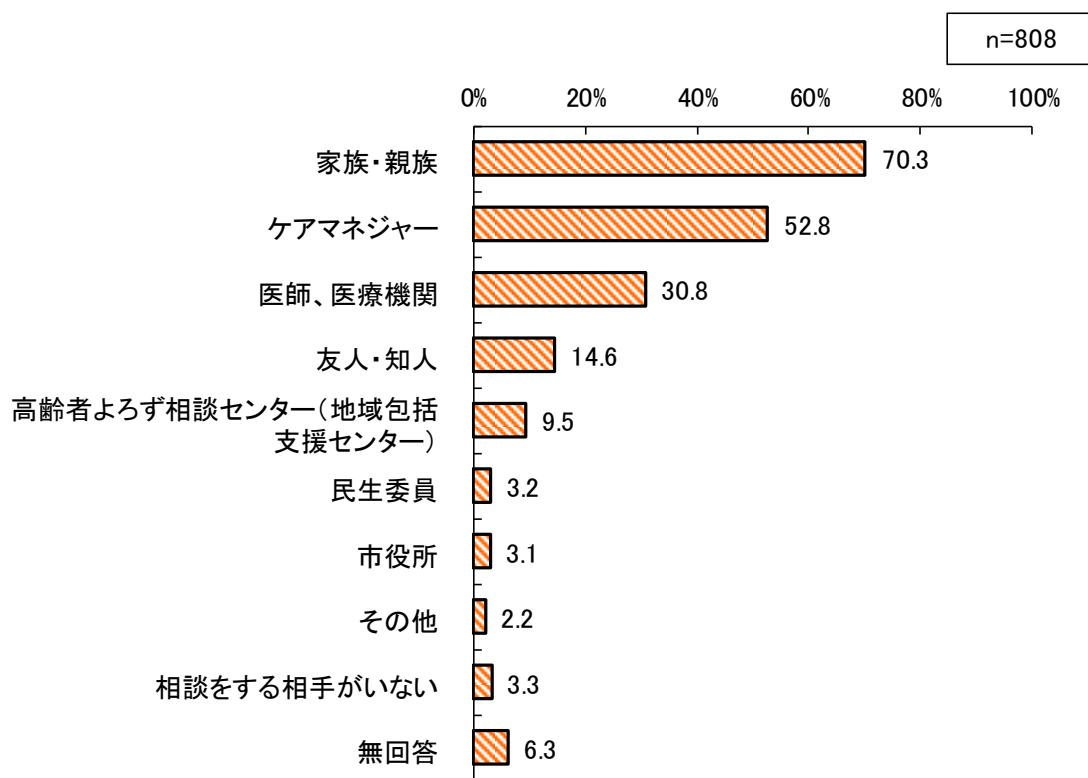
図表 5.119 介護者の負担や悩みを和らげるために必要な理解や支援



問 30 中心となって介護をしている方は、日常生活や健康のことなどで困った時、どなたに協力を頼んだり、相談されたりしますか。(あてはまるものすべてに○)

中心介護者自身が、日常生活や健康のことなどで困った時の協力、相談先については、「家族・親族」が70.3%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が52.8%、「医師、医療機関」が30.8%、「友人・知人」が14.6%、「高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）」が9.5%の順となっています。

図表 5.120 中心介護者が、日常生活や健康のことなどで困った時の協力、相談先



第5章 要介護認定者調査結果

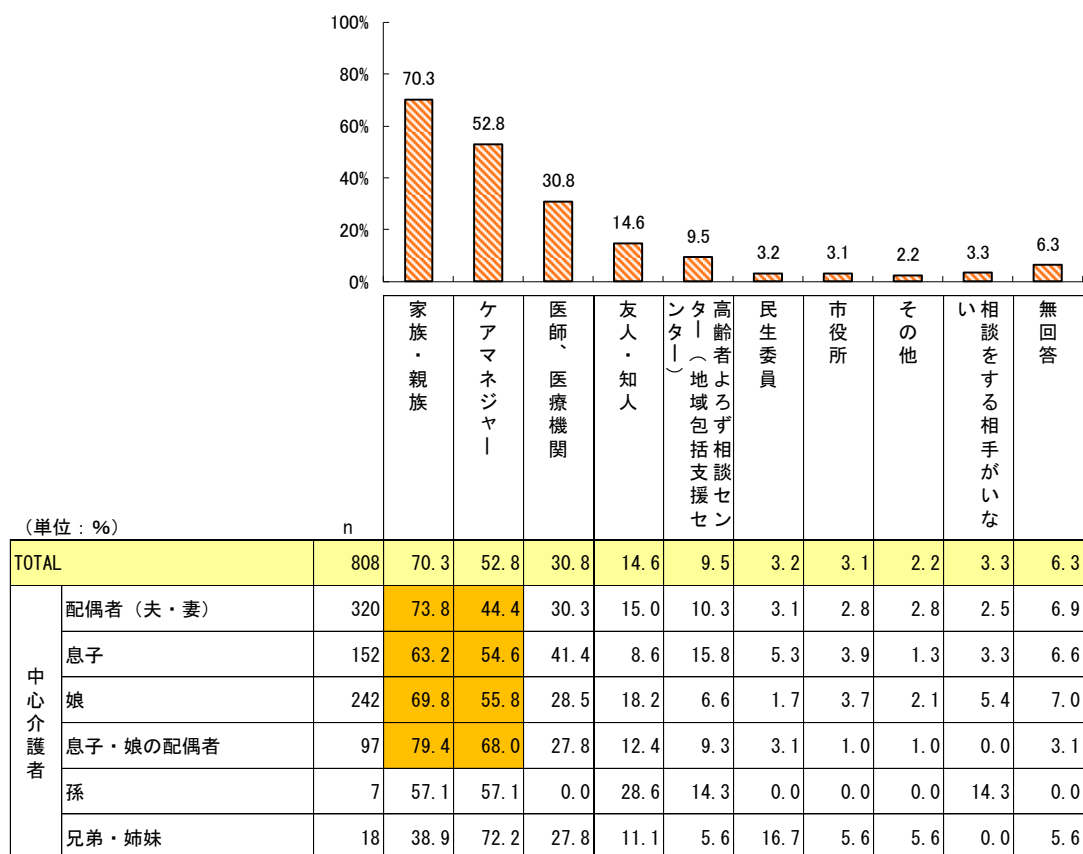
介護度別では、いずれの介護度も「家族・親族」が最も多く、次いで「ケアマネジャー」となっています。「ケアマネジャー」は、介護度が上がるにつれて高くなる傾向にあります。

図表 5.121 中心介護者が、日常生活や健康のことで困った時の協力、相談先

		n	家族・親族	ケアマネジャー	医師、医療機関	友人・知人	高齢者（地域包括支援センター）	民生委員	市役所	その他	相談をする相手がいない	無回答
(単位：%)												
TOTAL		808	70.3	52.8	30.8	14.6	9.5	3.2	3.1	2.2	3.3	6.3
要介護度別	要支援1	81	69.1	32.1	25.9	16.0	18.5	4.9	4.9	2.5	2.5	8.6
	要支援2	67	65.7	29.9	22.4	9.0	17.9	4.5	6.0	3.0	6.0	10.4
	要介護1	201	71.1	58.2	33.3	13.9	8.5	3.0	2.0	2.0	2.0	7.5
	要介護2	175	72.0	60.6	30.3	19.4	5.7	2.9	2.9	3.4	3.4	5.1
	要介護3	131	69.5	60.3	29.0	14.5	7.6	3.1	2.3	0.8	4.6	3.1
	要介護4	71	69.0	63.4	40.8	15.5	8.5	2.8	1.4	1.4	2.8	2.8
	要介護5	54	72.2	57.4	35.2	7.4	3.7	3.7	5.6	3.7	3.7	3.7

中心介護者別では、相談をする相手としていずれも「家族・親族」、「ケアマネジャー」が多くなっています。

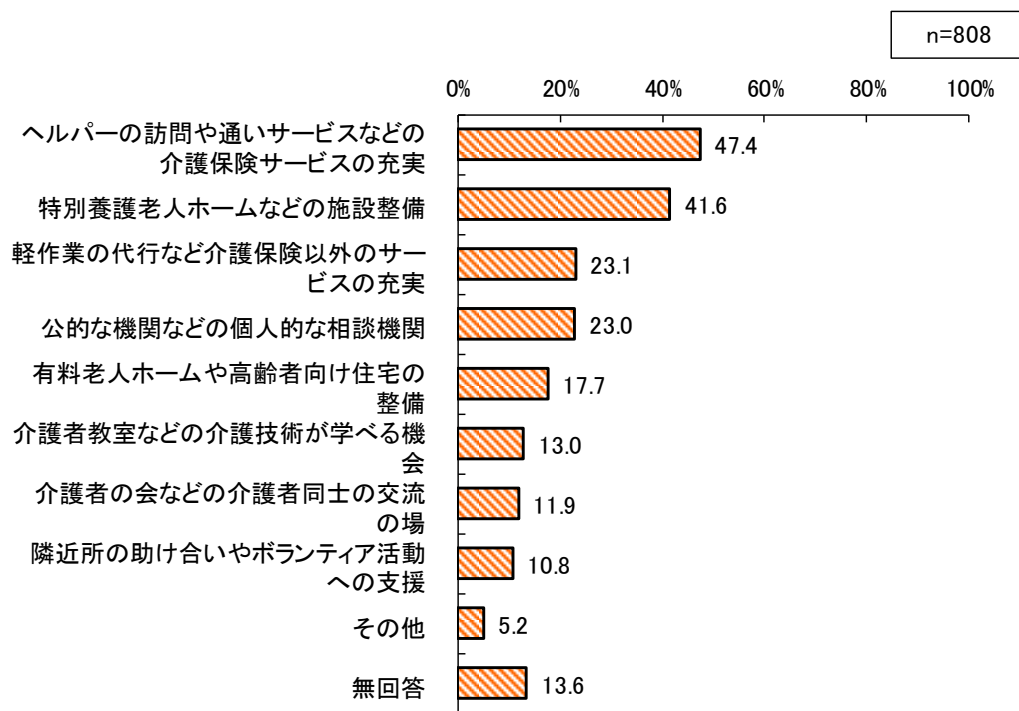
図表 5.122 中心介護者が、日常生活や健康のことで困った時の協力、相談先



問 31 中心となって介護をしている方が充実を望むことは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

中心介護者が充実を望むことは、「ヘルパーの訪問や通いサービスなどの介護保険サービスの充実」が 47.4%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設整備」が 41.6%、「軽作業の代行など介護保険以外のサービスの充実」が 23.1%、「公的な機関などの個人的な相談機関」が 23.0%の順となっています。

図表 5.123 中心介護者が充実を望むこと



第5章 要介護認定者調査結果

介護度別では、「要支援1」～「要介護1」と、「要介護4」、「要介護5」は「ヘルパーの訪問や通いサービスなどの介護保険サービスの充実」が、「要介護2」、「要介護3」は、「特別養護老人ホームなどの施設整備」が最も多くなっています。また、要支援では「特別養護老人ホームなどの施設整備」が2割台であるのに対し、要介護では4割以上となっています。

図表 5.124 中心介護者が充実を望むこと

		ヘルパーサービスの充実	ヘルパーサービスの充実	特別養護老人ホームなどの施設整備	特別養護老人ホームなどの施設整備	介護保険以外の代行サービスの充実	軽作業の代行サービスの充実	公的な相談機関などの個人	公的な相談機関などの個人	有料老人ホームや高齢者向け住宅の整備	介護者が学べる機会	介護者の会などの場の介護	介護者の会などの場の介護	近隣の助け合いのサポート	その他	無回答
(単位：%)		n														
TOTAL		808	47.4	41.6	23.1	23.0	17.7	13.0	11.9	10.8	5.2	13.6				
要介護度	要支援1	81	35.8	27.2	21.0	25.9	13.6	11.1	18.5	13.6	6.2	23.5				
	要支援2	67	53.7	25.4	19.4	14.9	13.4	10.4	11.9	13.4	1.5	23.9				
	要介護1	201	50.7	42.8	28.4	27.9	17.4	12.9	8.5	9.0	3.5	11.9				
	要介護2	175	45.7	48.0	25.1	19.4	18.9	9.7	12.6	7.4	7.4	7.4				
	要介護3	131	48.1	52.7	23.7	22.1	21.4	16.0	11.5	13.0	8.4	9.9				
	要介護4	71	47.9	43.7	18.3	29.6	21.1	25.4	16.9	14.1	1.4	8.5				
	要介護5	54	50.0	42.6	16.7	25.9	16.7	11.1	3.7	3.7	7.4	18.5				

中心介護者別では、いずれも「ヘルパーの訪問や通いサービスなどの介護保険サービスの充実」が最も多く望まれています。また、「息子」、「娘」、「息子・娘の配偶者」では、「特別養護老人ホームなどの施設整備」が4割台と多くなっています。

図表 5.125 中心介護者が充実を望むこと

		ヘルパーサービスの充実	ヘルパーサービスの訪問や通い	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	介護保険以外のサービス	軽作業代行サービス	公的な機関との個人	公的な機関との個人	有料老人ホームや高齢	技術者が学べる機会	介護者の教室などの介護	介護士の交流などの介護	ボランティアの活動への支	隣近所の助け合いや	その他	無回答
(単位：%)		n															
TOTAL		808	47.4	41.6	23.1	23.0	17.7	13.0	11.9	10.8	5.2	13.6					
中心介護者	配偶者（夫・妻）	320	45.0	35.6	21.6	23.4	12.5	13.4	13.1	12.2	5.3	17.2					
	息子	152	49.3	40.1	21.1	30.3	20.4	19.7	17.1	13.2	2.6	12.5					
	娘	242	48.8	47.9	29.3	19.4	21.1	9.9	8.7	8.7	7.4	11.6					
	息子・娘の配偶者	97	48.5	46.4	19.6	23.7	21.6	12.4	11.3	7.2	2.1	10.3					
	孫	7	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0					
	兄弟・姉妹	18	66.7	50.0	16.7	27.8	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0	16.7					

(8) 意見、要望

問 32 介護保険制度・高齢者福祉施策に対して、御意見や御要望がございましたら、御自由にお書きください。

(以下、224 件から抜粋)

(1) 健康づくり、介護予防について

- ・高齢者が運動する施設を増やしてほしいです。場所取りが大変です。日が重なった場合、話し合いで譲りますが、話が解からない方もいらっしゃいます。(女性、75 歳～79 歳、要支援 2)
- ・82 歳、週 4 日、スポーツジムに通ってアンチ・エイジングに努力していますが、何か金銭的な補助があると助かります。(男性、80 歳～84 歳、要支援 1)

(2) 高齢者の社会参加について

- ・高齢者の経験、知識を活用して、図書館、公民館、地域包括ケアセンターを充分に利用しながら、シニア間のみならず、若い世代との交流を深めることも相互のメリットに繋がると感じます。(女性、80 歳～84 歳、要介護 5)

(3) 移動手手段の確保・交通費の補助について

- ・タクシー券などの交通費の補助があれば助かります。(女性、80 歳～84 歳、要介護 1)

(4) 災害時の避難について

- ・災害の時など手助けをしてほしいと思います。身体が不自由なので避難するのが大変です。(男性、85 歳～89 歳、要介護 3)
- ・災害時の避難方法の具体的な行動システムの確立を要望します。特に家族介護者は、高齢者が多いため避難場所まで避難するには若い人の手助けが必要です。先日の台風の時にもメールや民生委員の方からも電話を頂きましたが、どう避難したらよいかかわからず車もないので困りました。今後このような機会が多くなることが予測されますので早急にご検討頂きたいと思います。よろしくお願い致します。(女性、75 歳～79 歳、要介護 1)

(5) 医療機関との連携について

- ・わが家では、週に 3 回、透析のため、病院で看護してもらっています。家族の介護だけでは限界もあると思うし病院での完全看護が望ましいと思いました。(女性、75 歳～79 歳、要介護 5)
- ・介護施設と医療機関のさらなる連携の重要性を感じます。平塚市内、及び近隣の介護、医療機関に関して利用者(家族含む)の率直な意見や感想をこのようなアンケートで把握していくことも、介護の質の向上になっていくように思います。在宅訪問医に関して、認知症などの専門性を持ち、幅広い診察を在宅でも受けられるようになっていくと、介護軽減にもなると感じます。(女性、80 歳～84 歳、要介護 5)

(6) 介護保険制度について

- ・認知症の場合は短時間でも目を離すと危険なので、身体的な障害がなくても家庭での介護は難しい。ショートステイは日にちが限られているので、介護する負担は大きいです。また、デイサービスやショートステイの食事代は高く負担が大きい。認知症予防の効果があるとは思えないので、予算をもっと介護施設にまわしてほしい。(女性、75歳～79歳、要介護3)
- ・介護保険に疑問です。病院から退院しても、高齢かつ脳梗塞で、ほとんどベッドに寝ている状態なのにリハビリ病院に転院しなければならず、特養には入所できず、家族の負担は大きいものです。特養の入所を簡単にできるよう希望します。(男性、85歳～89歳、要介護3)

(7) 介護サービスの内容について

- ・介護をしている私にとって、デイサービスはとても助かります。安心して、ゆっくり買い物ができます。ありがたいです。(女性、90歳以上、要介護1)
- ・現在、訪問リハビリと週3回(3日)のデイサービスを受けております。非常に満足しております。ただゆくゆくは特別養護老人ホームに入所しなくてはならなくなると思いますが施設の不足で入所が困難と聞いており、施設の充実を希望します。(女性、80歳～84歳、要介護1)
- ・介護保険で助かっている部分は多く感謝しているが、ショートステイは介護保険が使えない所が多く、かなり高額になってしまう。そのため、家族に用事があり、預けないと1人になってしまう場合でも、ショートステイの利用を控えてしまう。ショートステイの援助を考えてもらえればと思います。また、安いがなかなか入れない施設と、高いがすぐ入れる施設のどちらかを選べと言われても高い施設は選べない。安くて介護の充実したあまり待たなくて良い施設を望みたい。(女性、90歳以上、要介護3)
- ・母が通所介護に週5日通っていますが、身内の急な不幸などで遠方に行くことになった時に突然でも数日預かってもらえるサービスがあると助かります。このようなことは突然のことなのでスムーズに対応できる施設があると良いと思います。(女性、80歳～84歳、要介護2)
- ・ヘルパーさんの訪問時間は1時間で駆け足のようなようです。できることなら2時間くらいにして頂きたいです。(女性、85歳～89歳、要支援2)
- ・老々介護になるので、家事援助的サービスが必要だと感じています。まだ、現在は、在宅で過すことができますが、いずれ病状が進行したら、介護施設に入居できると良いと思います。(男性、80歳～84歳、要介護1)

(8) 介護保険料について

- ・現在、デイサービスを利用しています。週1利用で回数を増やしたいと思うのですが、結局は経済的負担になるので増やさずにいます。介護保険料も払っているのに、利用料をもっと低くしないと利用する側は我慢して利用を控えることになってしまうので、利用料の見直しをしてほしいと思う。(性別、年齢、介護度不明)
- ・利用料金が安くなると、いろいろなことが頼めるのに、頼むと、お金が加算されるため、いろいろなことを頼むことが出来ません。(女性、75歳～79歳、介護度不明)
- ・介護保険は1～3割と所得に合わせて料金が変わっているが、一日に支払う金額は雑費や食事代の方が高いので通所であっても結構な金額になる。何年も支払っているが、もうすぐ合計で500万円くらい使ったことになる。在宅であってもこの金額なので、何となく空しくなる。施設に入ればもっと金額が上がるから、頑張って在宅介護をしているが、自分自身も、体力的に疲れてくる。もうすぐ10年。いつの日か、自分だけの時間を持てる日を持ちたい。(男性、65歳～69歳、要介護3)

第5章 要介護認定者調査結果

- ・収入に応じた介護保険料、負担割合を今一度見直して頂きたい。高収入の高齢者の負担をもっと増やすべきではないか。低収入の高齢者の負担はこれ以上増やさないで頂きたい。生活に影響します。(女性、80歳～84歳、要介護2)
- ・介護保険は、40才からではなく年齢をもう少し引き下げてもらいたい。年金が少ないので保険料が高すぎると思います。(女性、85歳～89歳、要介護2)
- ・有料老人ホームをはじめ、介護サービス料金が低くなることを要望、期待しております。(男性、85歳～89歳、要介護1)

(9) 介護施設について

- ・特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、高齢者向けの住宅の整備を県や市で早くお願いしたい。家族の負担が大きく、毎日の生活でストレスを感じている。1日も早く特別養護老人ホームまたは有料老人ホームで生活したい。(男性、80歳～84歳、要支援1)
- ・麻痺を軽減させるロボットを利用できる施設があると良いのではないかと思います。装具の修理場所が近くにあると助かります。(男性、65歳～69歳、要介護2)
- ・介護する私が病気を患っており、宛名の本人は現在デイサービスに週5回通所しております。先のことを考えると老々介護は必至です。有料老人ホームは金銭的に無理なので特別養護老人ホームの窓口を広げてもらいたい。(女性、90歳以上、要介護1)
- ・誰もが入れる老人ホームを増設していただきたい。(女性、70歳～74歳、要介護1)
- ・急なショートステイの対応をしてもらえない時があります。施設の充実(増設)をしてほしいです。(女性、85歳～89歳、要介護3)
- ・特別養護老人ホームを増やして欲しい。生活保護者などの現状を調査し直し、介護者等の待遇をもう少し良くして欲しい。介護者等の人材の増員もしてほしい。(男性、80歳～84歳、要介護2)
- ・特養施設を整備してほしい。順番待ちが多い。短期間でも入所したい。(男性、80歳～84歳、要介護3)
- ・デイサービスなどの介護施設は80才以上の高齢者が多く、65才～70才の若い者は、利用しにくい。年令にあった施設を利用したい。(男性、65歳～69歳、要介護2)
- ・仕事を持って寝たきりの介護をするのは無理だと思います。安く、24時間過ごせる施設を多く作っていただきたいと思っています。(女性、90歳以上、要介護2)
- ・高齢社会になり介護施設を必要とする人達が増えて行くことになるでしょう。なるべく金額的な負担の少ない介護施設を増やして欲しいと思います。(女性、80歳～84歳、要介護3)

(10) 介護スタッフについて

- ・老人ホーム等で働く人の技術の向上、人数の増員により、利用者に目が届くようにしてほしい。(男性、90歳以上、要介護3)
- ・デイサービス、ショートステイ等々に従事されている方達の労働の状況が改善されると良い。(重労働や長時間勤務の改善など)介護する人が仕事をしながら楽しく生きていくことができる状況なら介護される老人も楽しく過ごすことが多くなると思う。(男性、80歳～84歳、要介護4)
- ・デイサービス等で大変お世話になっています。従事されている方々が、安心して働ける、家庭を持って生活していける労働環境が整備されることを切に願っています。(女性、85歳～89歳、要介護1)
- ・毎月、ケアマネジャーが来訪する居宅介護支援は、2か月先の短期入所の日程を決める程度であるから必要がない。(女性、90歳以上、要介護2)
- ・介護認定を受けて3年弱ですが、ケアマネジャーがたびたび変り既に3人目です。定着しない制度に問題はないのでしょうか。現在の介護保険事業は過剰すぎるように感じる。特に通所サービスはケアマネジャーのチェックが必要だと思います。要支援を少し超えた程度の方が

通所サービスを受けているようです。通所サービスの送迎車が入りみだれて走行し、交通上、支障が生じるケースがみられます。(女性、80歳～84歳、要介護2)

- ・ケアマネジャーの必要性について疑問に思います。忙しいのに、1か月に1度、時間を取られて、本人がいないとダメだという。本人がいるためには、デイサービスなどを休ませなくてはならず、仕事をしている介護者としては大変です。ケアマネジャーも人によると聞いていますが、こちらが聞けば答えてくれるというのではなく、相手にとって何が必要なのかを考えてくれる人でないと、こちらは聞くこともわからないこともありますので、お世話になっているデイサービスの方やヘルパーさんで仕事ができ、思いやりのある方のほうが、困った時には、よほど役に立ってくれました。(女性、90歳以上、要介護2)

(11) 介助する家族への心身のケアについて

- ・高齢による性格の激変、介護拒否、不潔行為、介助者に対する暴言、干渉、つきまといなど毎日、ストレスにさらされています。たまに来る親せき、ケアマネジャー、かかりつけ医に訴えても波があるため愚痴や嫁のひがみとしか理解してもらえませんが、いっそ録音か動画でも撮ろうかと思う程です。介助者の精神安定にもご配慮いただければと思います。安定剤を飲んでしのぐ日々です。(女性、85歳～89歳、要介護1)

(12) 情報提供、相談について

- ・一般病院を退院して、次の施設を希望している場合に、介護保険利用、または、医療保険利用に分けて、それぞれの施設の違いや利用料等の詳しい説明が必要です。乏しい知識での選択は困難でした。(男性、70歳～74歳、要介護5)
- ・入口がよろず相談センターでも、使いたい、あるいは、知りたい制度の窓口がバラバラで、その度あちこちに出向かないと知ることができない。手続きも大変で、仕事、育児・家事を一人で行いながら、介護も抱えているので、寝る時間もなかなか作れない。このままでは、こちらが倒れてしまうと日々思う。(男性、75歳～79歳、要介護1)
- ・認知症や介護に関する知識、情報源の周知、悩み相談、介護技術を学ぶ機会、介護者のためのサポートの機会が全くといっていいほど感じられないので、改善を希望します。(男性、85歳～89歳、要支援1)
- ・介護保険ガイドブックに記載されているケアプランについて、これが頂けるかどうか記載されてないので明確に記載してほしいです。4か月ほどたったが「これが、ケアプランです」という形では見てもいないし、頂いていません。介護保険ガイドブックでは介護支援専門員(ケアマネジャー)が「家族の相談に応じ、アドバイスする」とある。3か月ほど前に「認知症の人の髪を自宅で切ってもらえるところがあれば教えてほしい」とお願いしたが、返答がないので、認知症の人の髪を自宅で切ってもらえる、または、対応に慣れているところを紹介してほしいです。以前に一度、高齢者よろず相談センターの方にも相談し、美容室等のリストを見せてもらったが、「自宅の近く」とか「料金が高い」等と言われたので、できれば認知症(要介護3)なら「こちらが慣れてますよ」みたいな推薦みたいなことをしてほしいです。リストのみだと介護している人は探している余裕がないので困ります。(女性、80歳～84歳、要介護3)
- ・病気ごとに特化した相談窓口があると心強い。いろいろな事柄を誰にどこに聞けばいいのかわからない。民生委員の役割がよくわからないし、民生委員と会う機会がない。(男性、70歳～74歳、要介護5)

